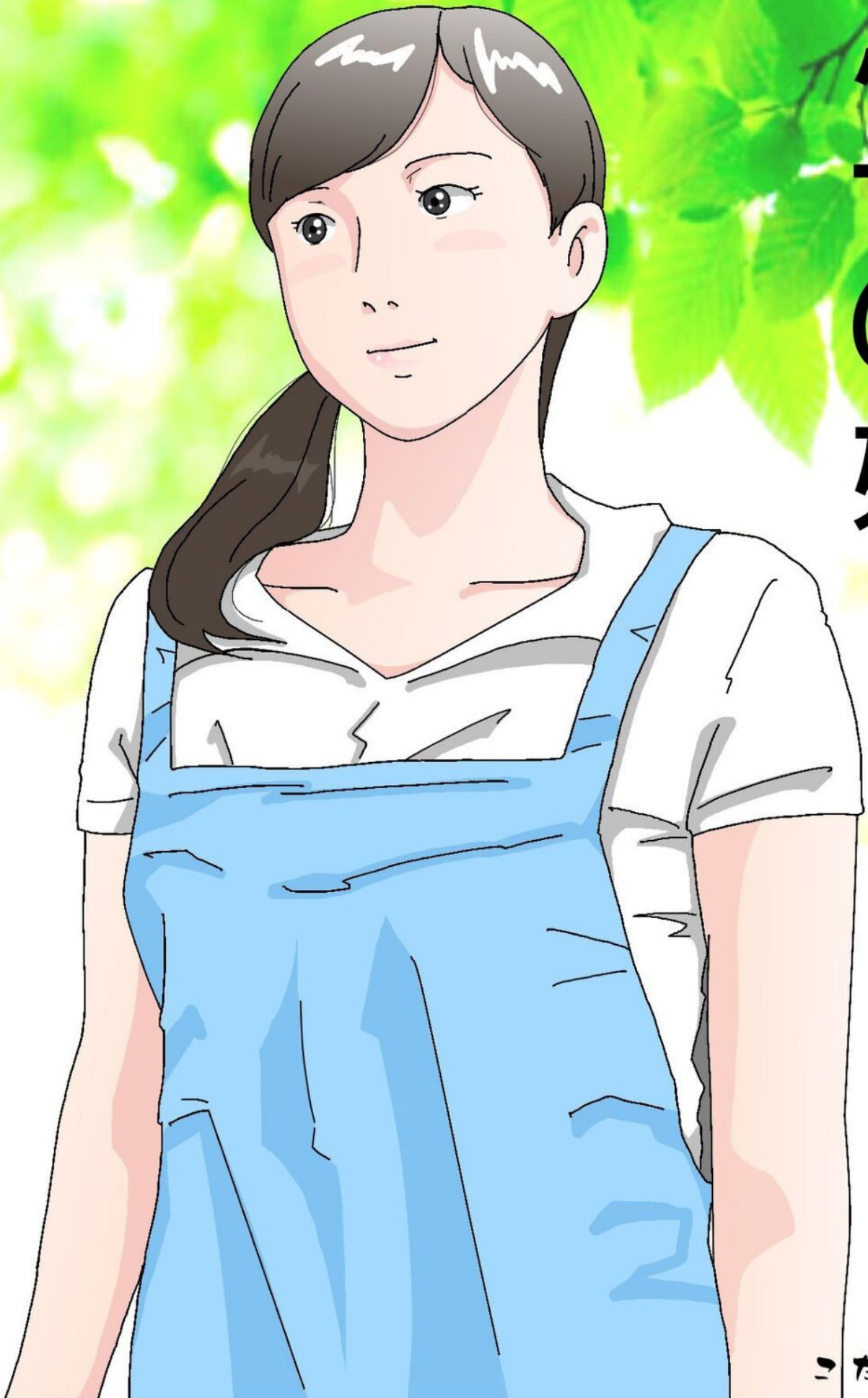


息子の嫁









…それでね、いつも来る
宅急便屋が馴れ馴れしくて
困ってるの……。

じゃあ、親父に
代わってもらえば
良いじゃないか。

そうなんだけど、大体
お義父さんが散歩に
行ってる時に来るのよ。

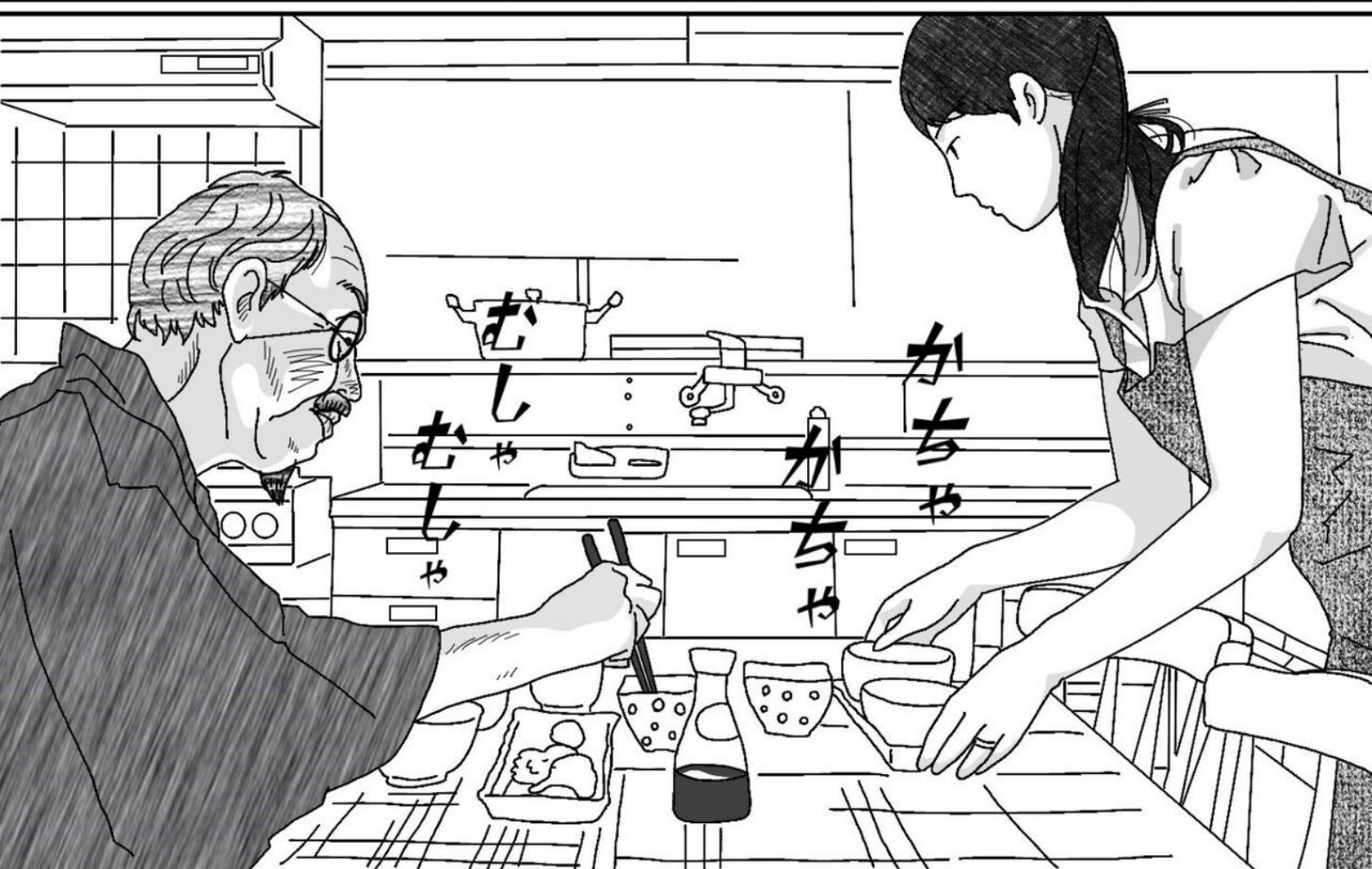


しゅわしゅわしゅわ。



また、同じような事
したら会社に文句言って
やれよ。じゃあ、行ってくる。

うん。



麗子さんがこの家に来て三年が
過ぎた……。こんなに気立てが
良い美人の嫁を連れて来るとは、
我が息子ながら感謝している。

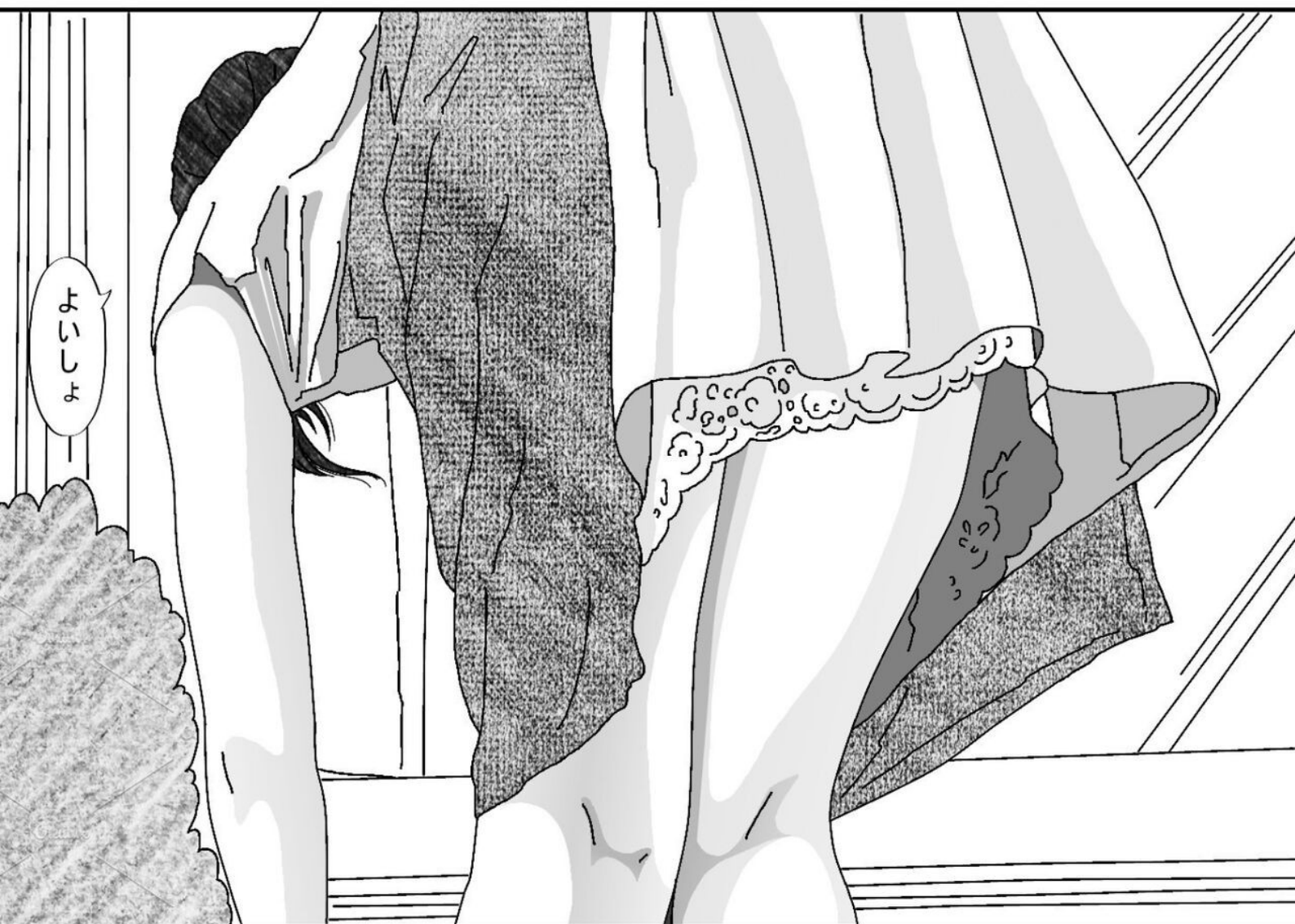
何時も愛らしく、まるで
我が家に咲く花のような
麗子さん……。

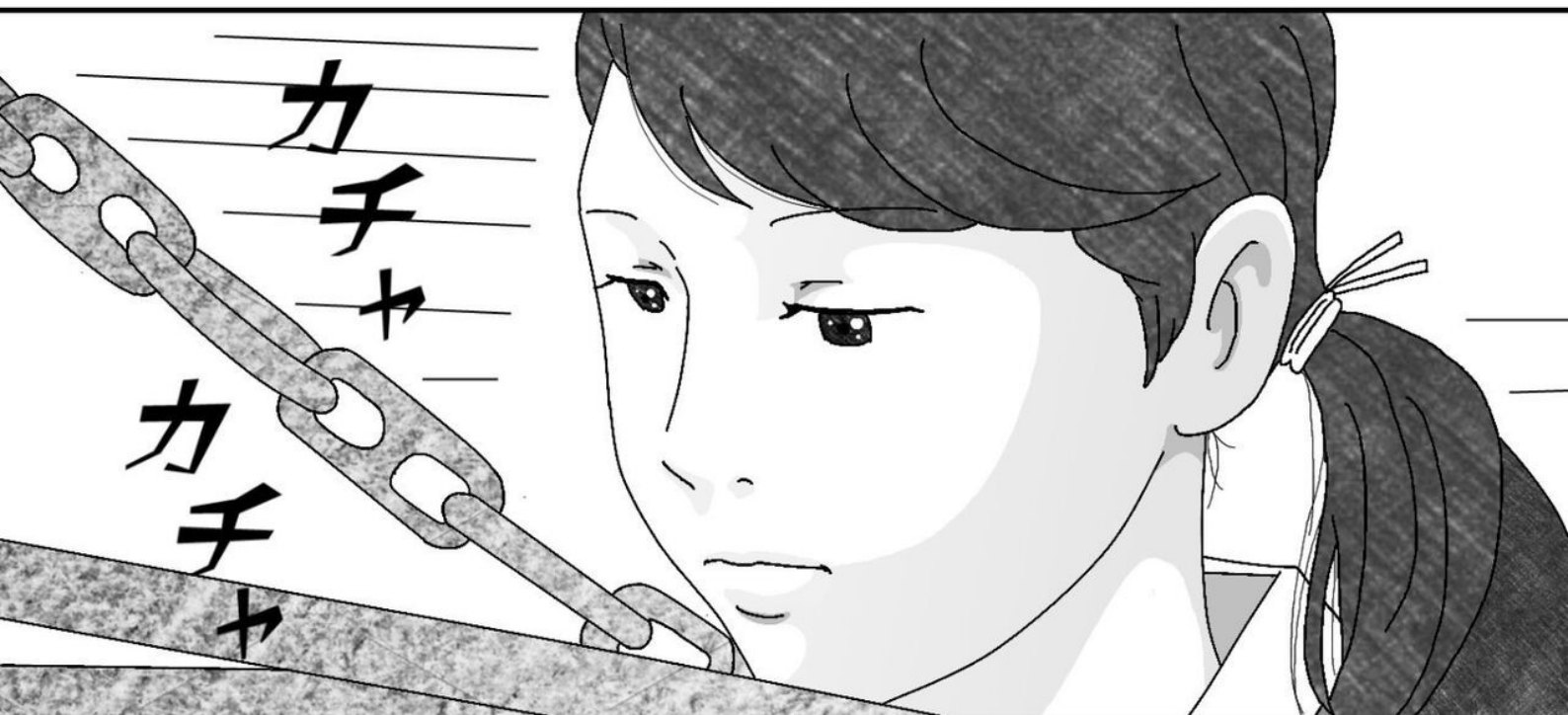
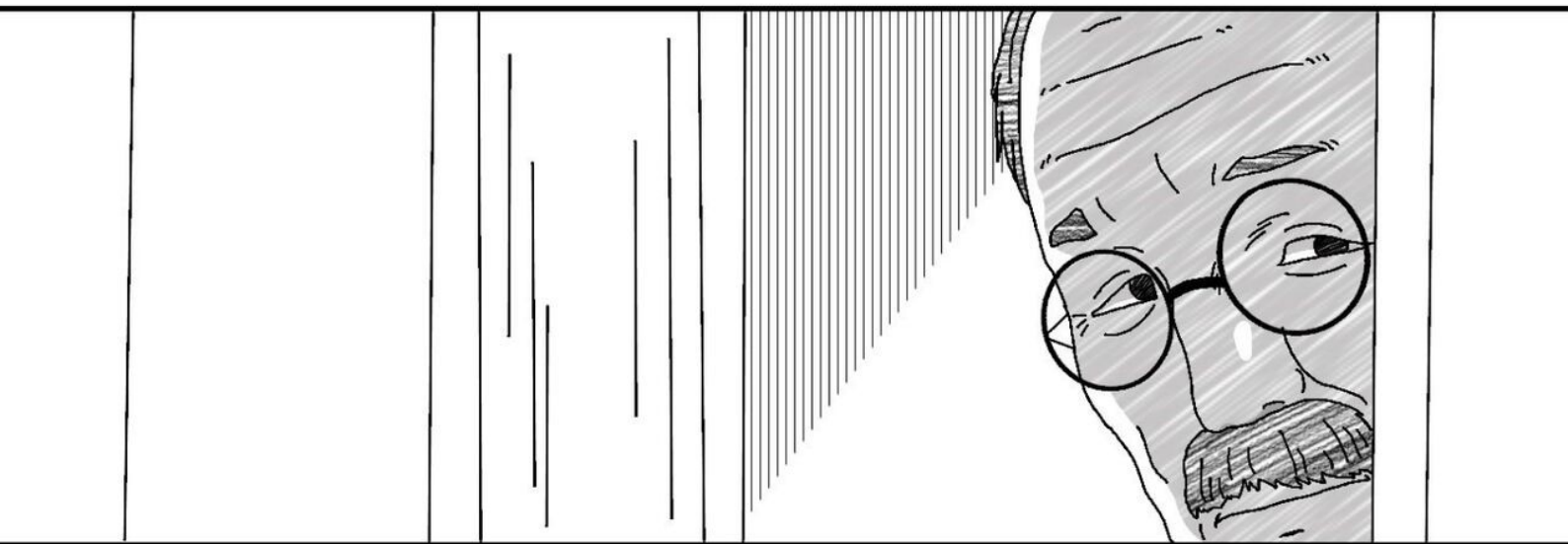
わしは花が枯れぬよう
毎日観察し、日記を
付けている……。

グー

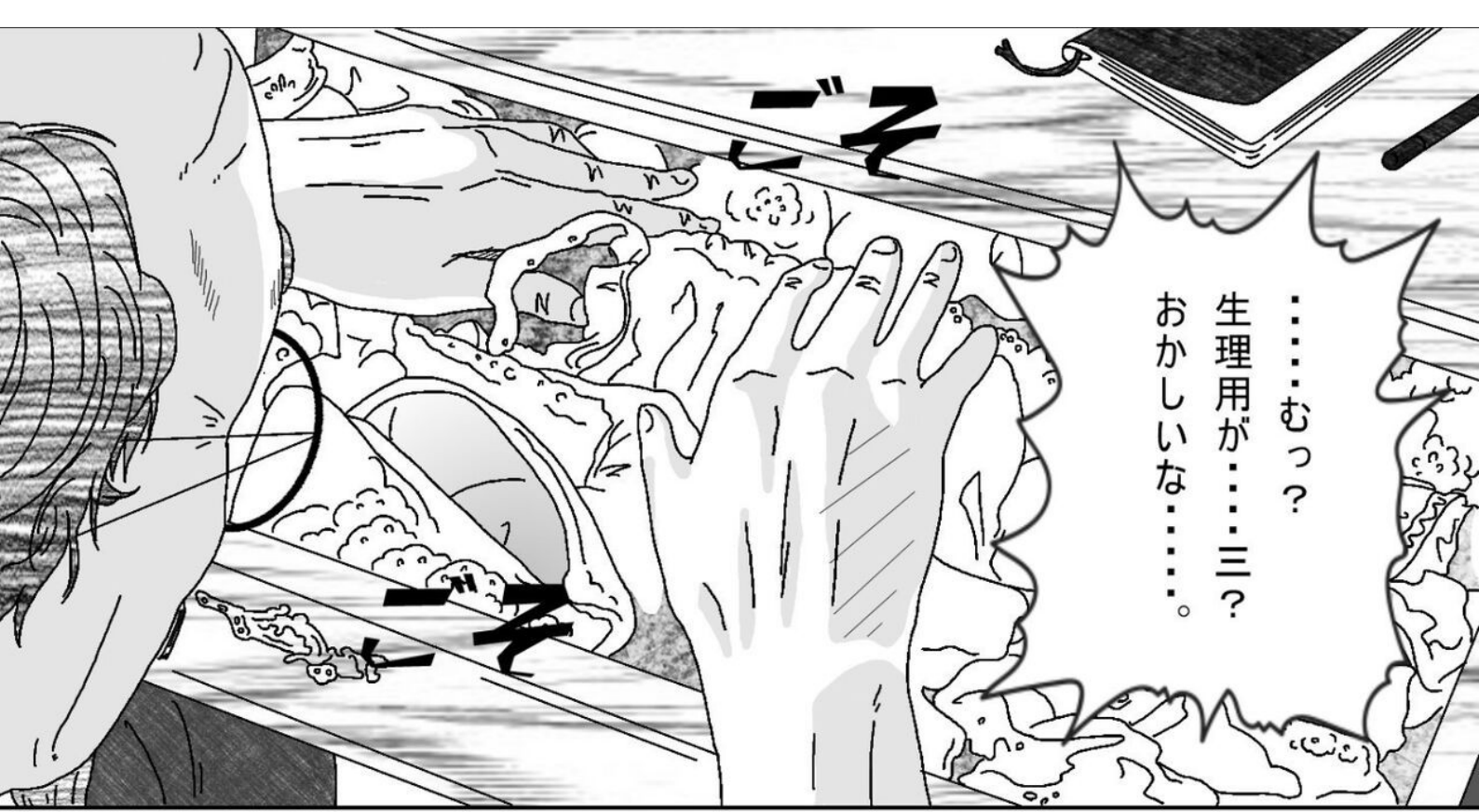












……むっ？
生理用が……三？
おかしいな……。



一枚足りない
なあ……。

うーん

計算だと生理は、
来週の木、金の
はずなんだがなあ。



昨日は白い日
だったのに……、
おかしいじゃないか。



あつ、お義父さん。

たんたん

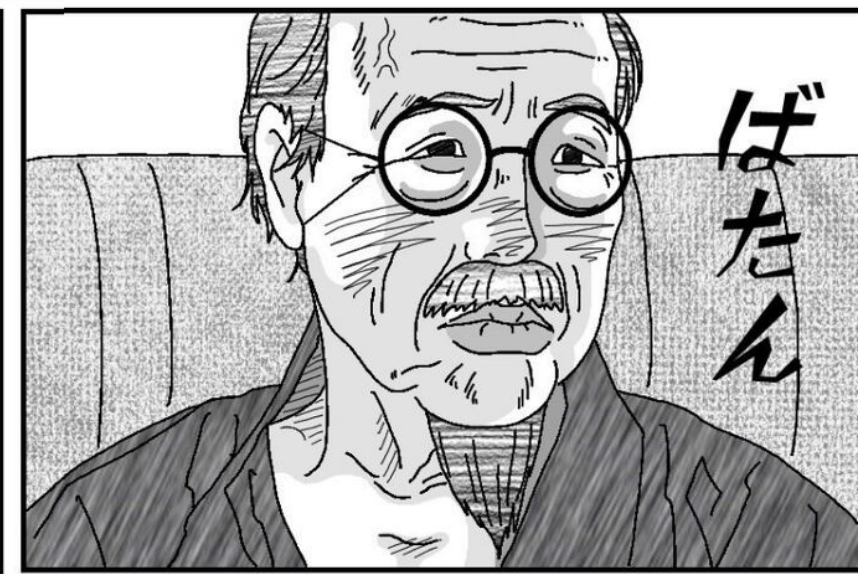
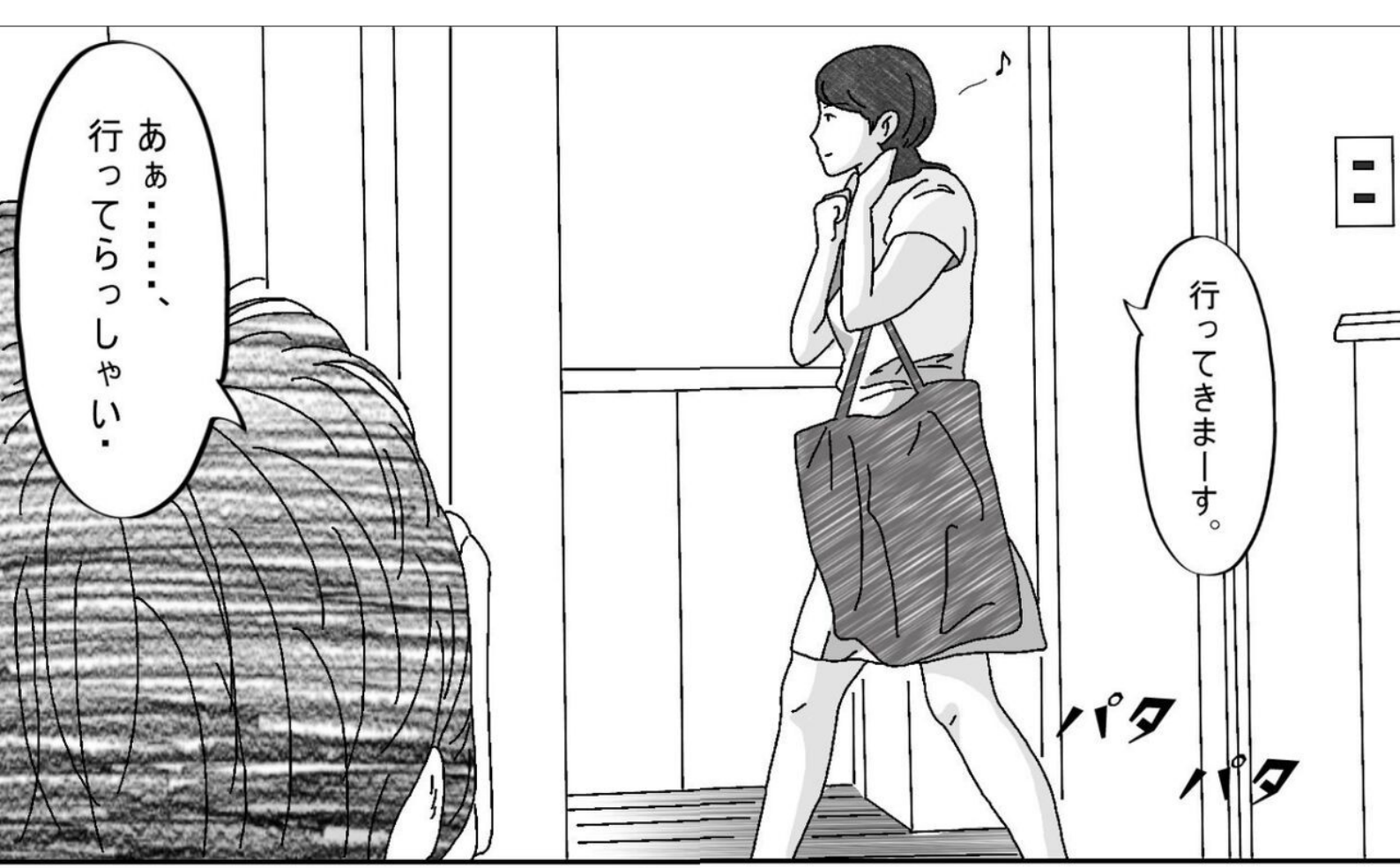


に かいもの ところ へ 来ますね。

そうか。



ぎん





と、いう事は……



ばっ

あつた……!
やっぱりか……っ。



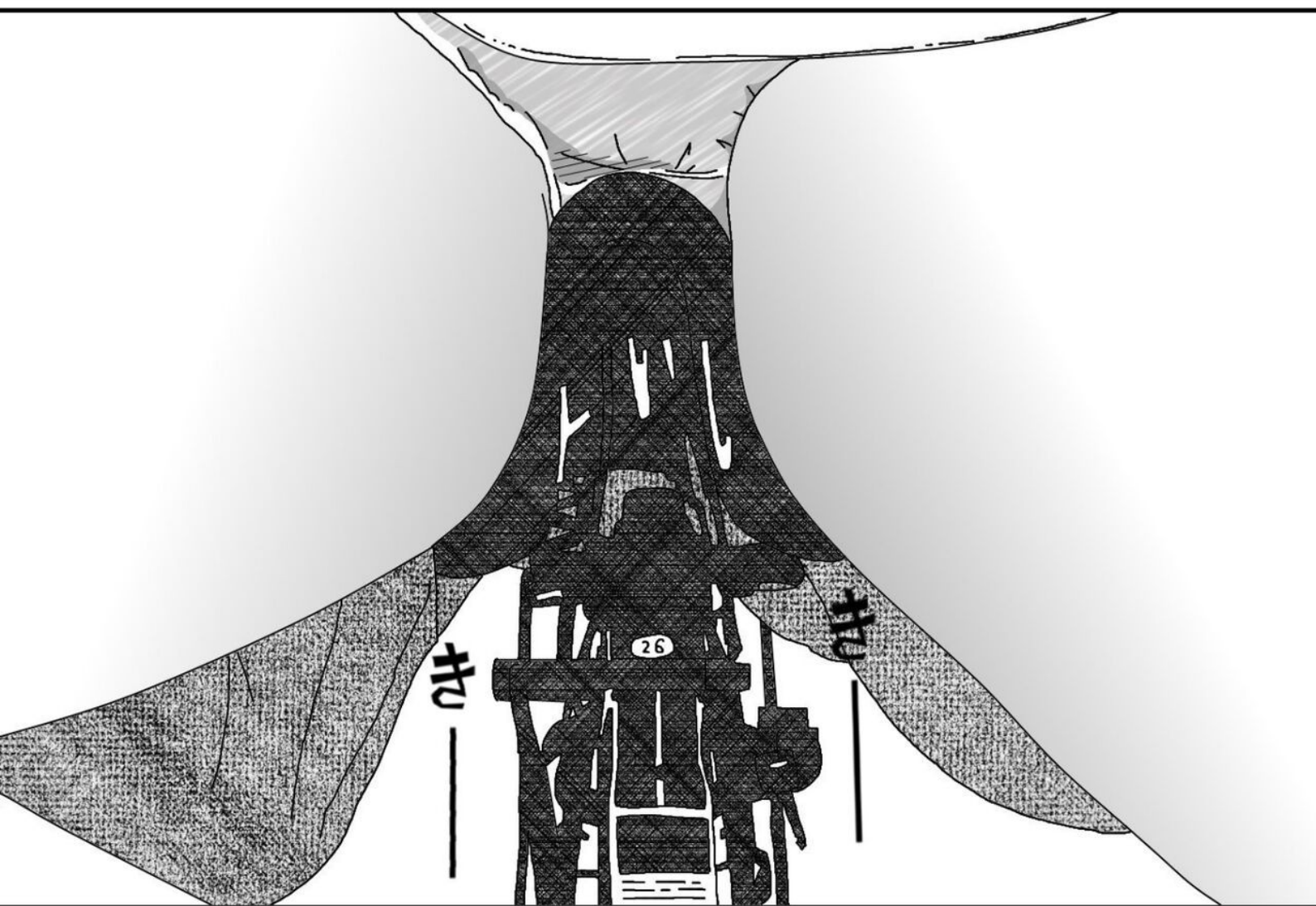
がさ

ゴッ



さらさら

生理用……、マイナス一と……。良しっ!



麗子さんと
一体となる。

さあ

はあ



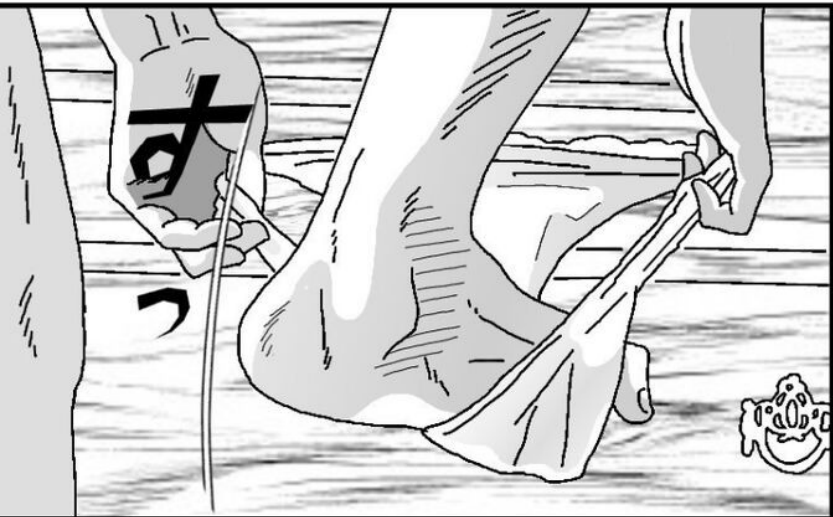
はあ

ほろん

はあ



はあ



さあ

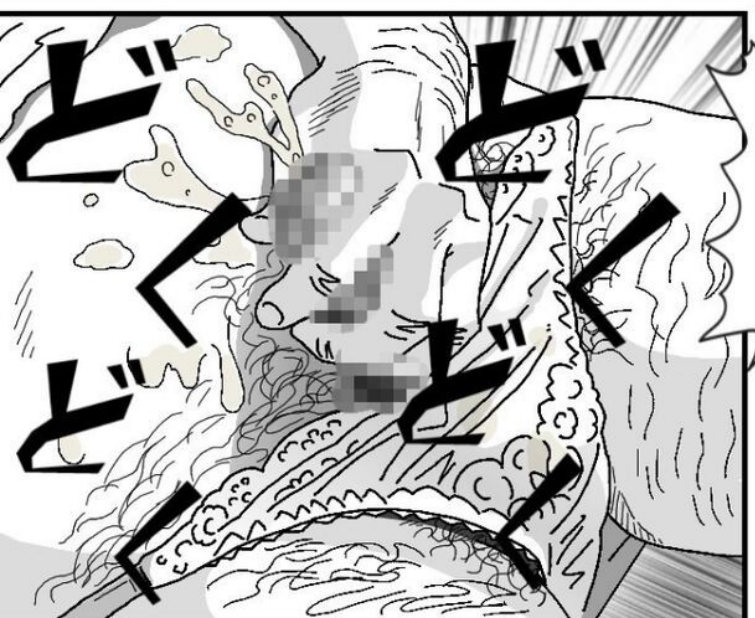


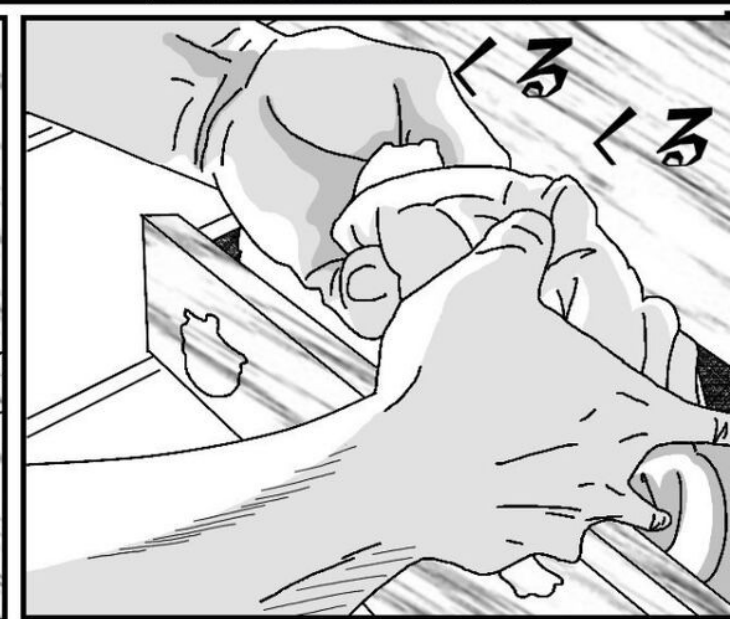
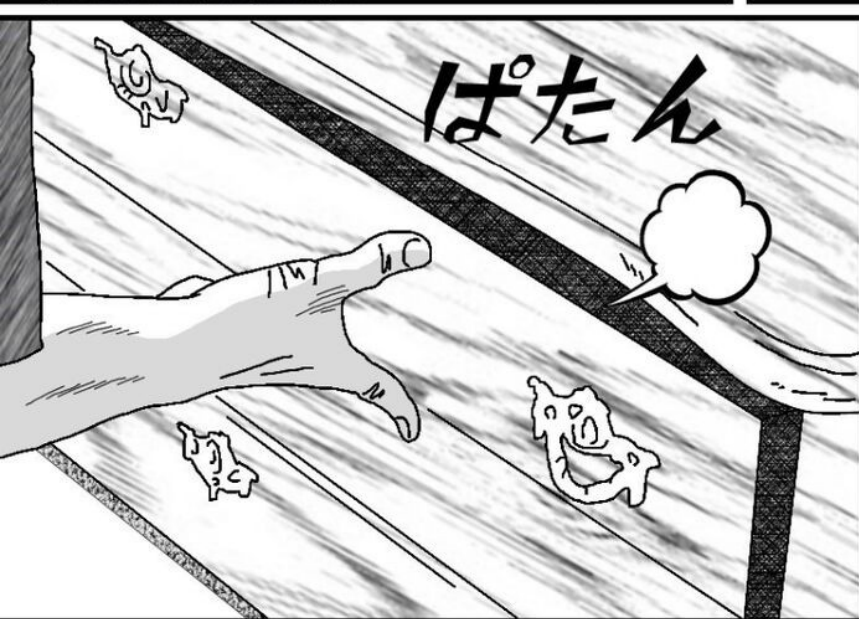
はあ

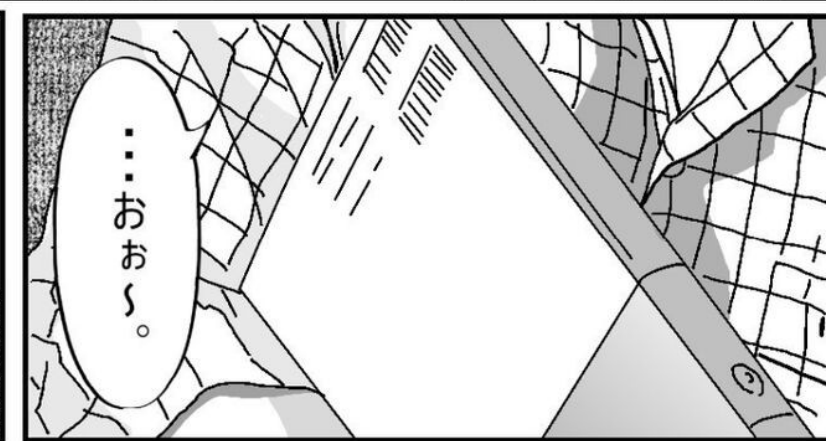
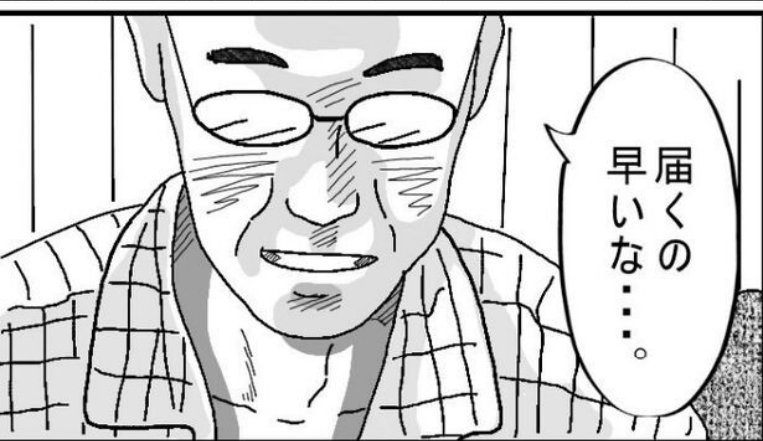
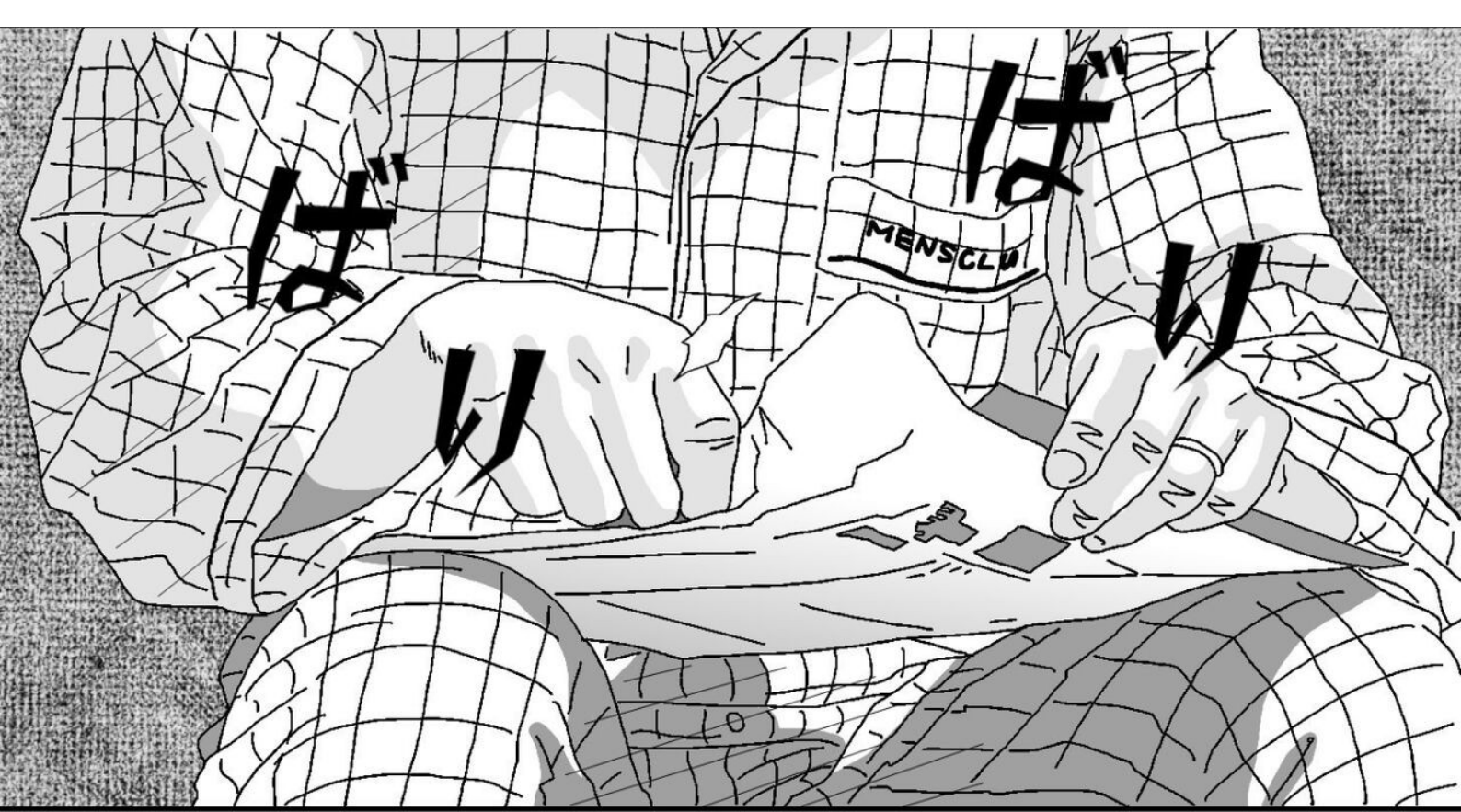
はあ



麗子さんの
アソコが触れ
ていた場所に
私のイチモツ
が触れる……。









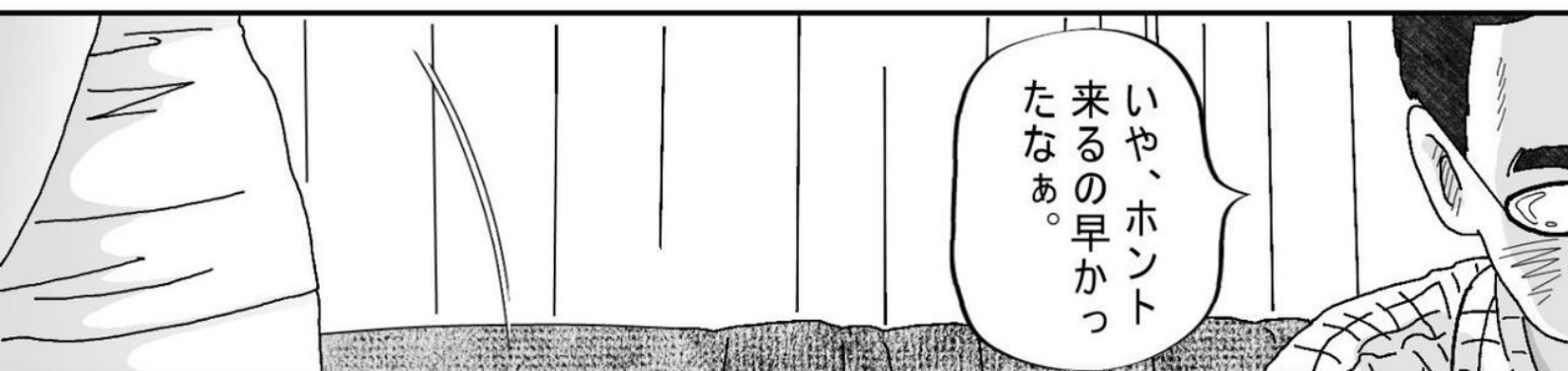
もう、そういうの
苦手だから頼んで
るんじゃない…。

そんなの自分で
出来るだろ。

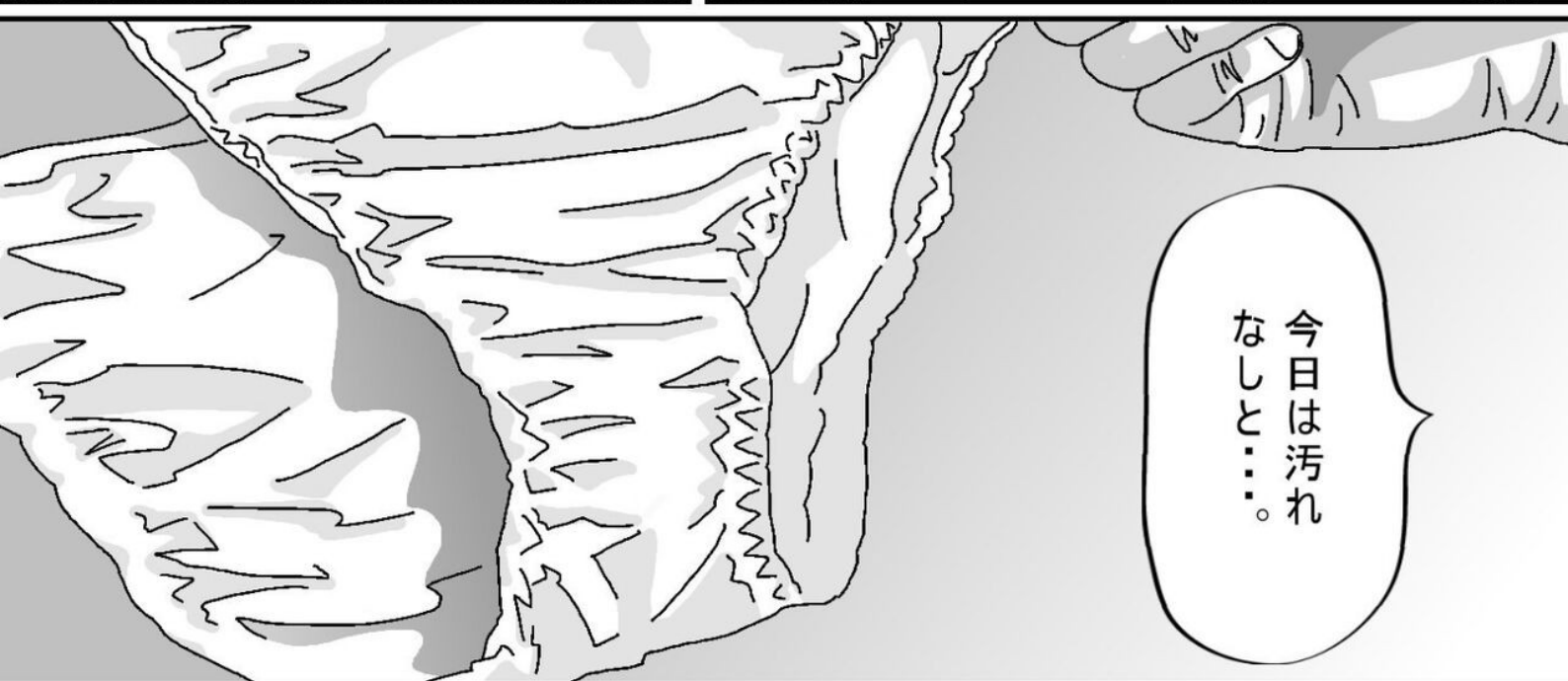
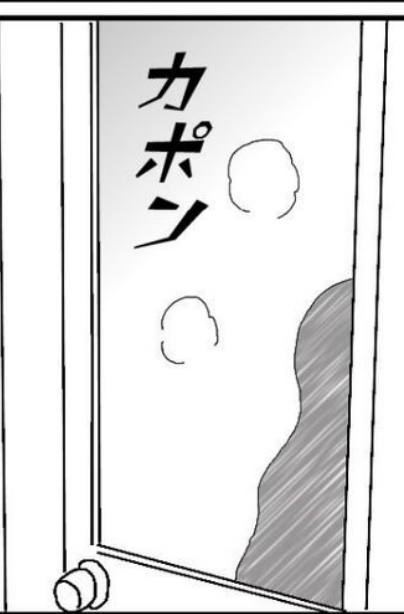
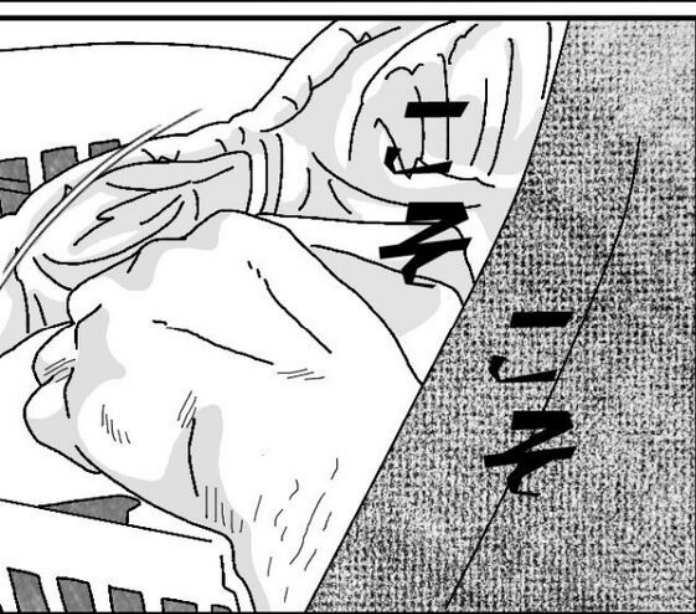


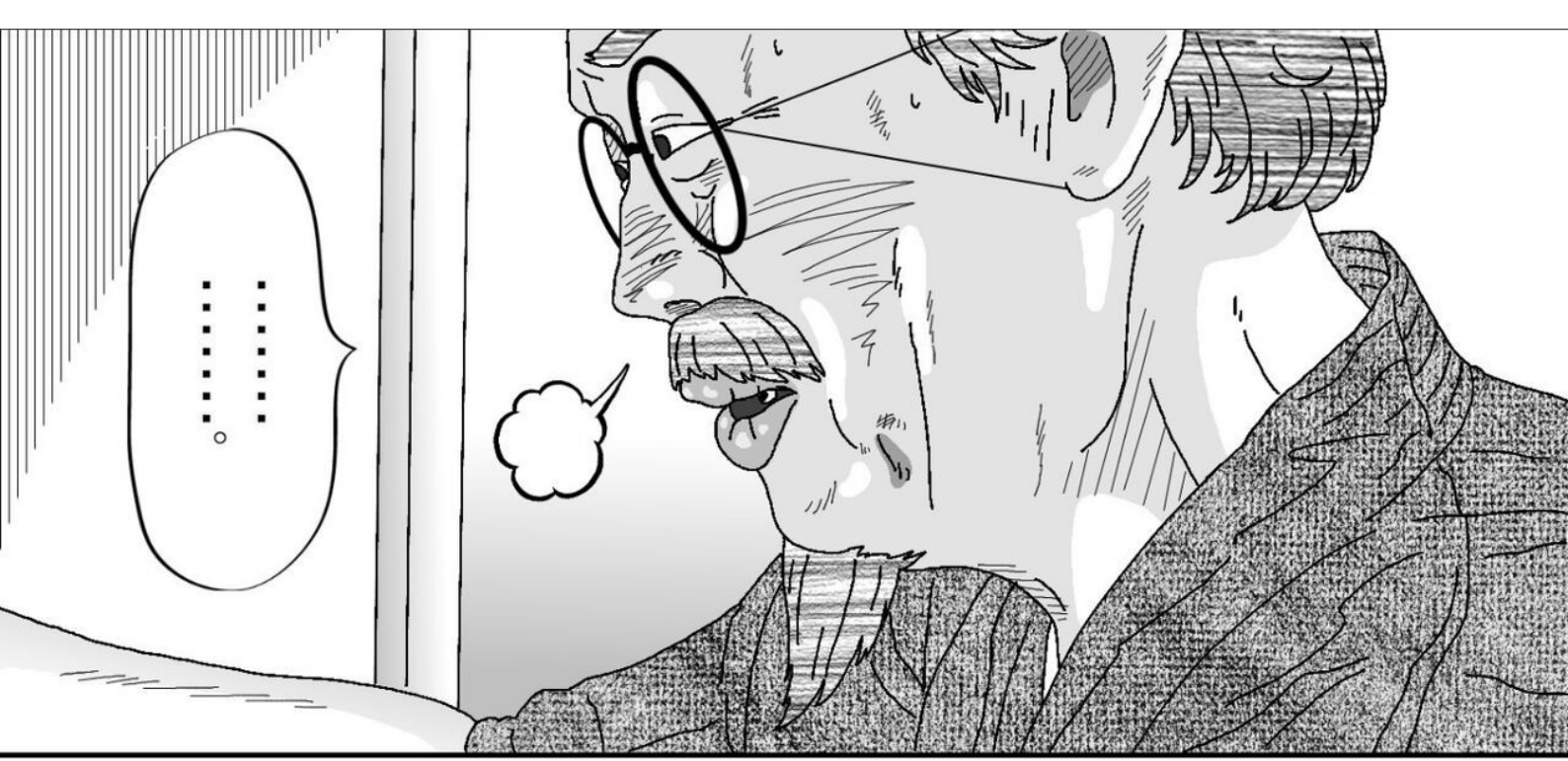
お風呂、入ります。

すっ



いや、ホント
来るの早かつ
たなあ。





○月×日水曜日。



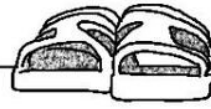
白のパンツ、汚れなし
快晴……と。



そんな何時もの
変わらぬ日……

たん

たん



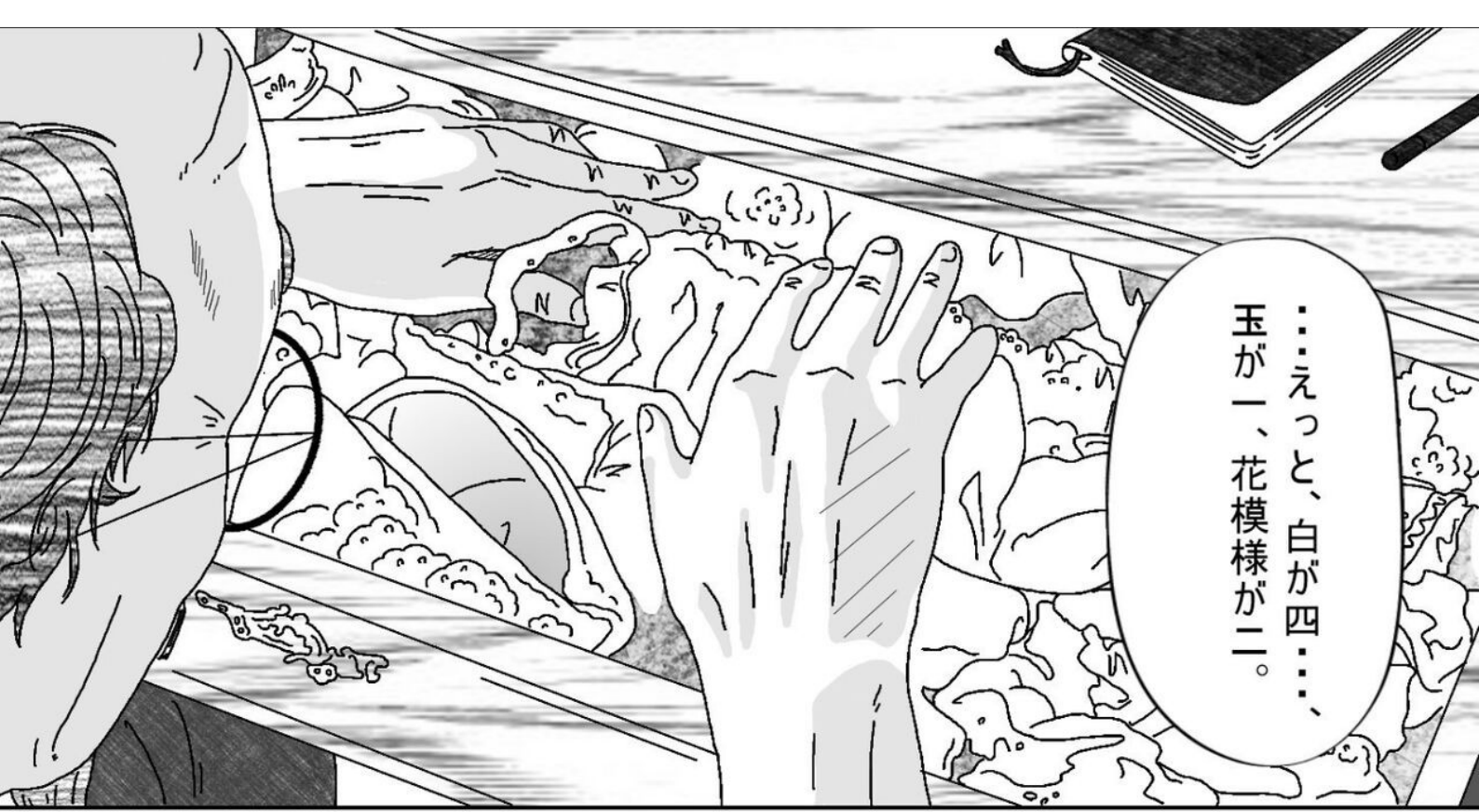
わしは……

じや



……してしまった。

痛恨のミス、





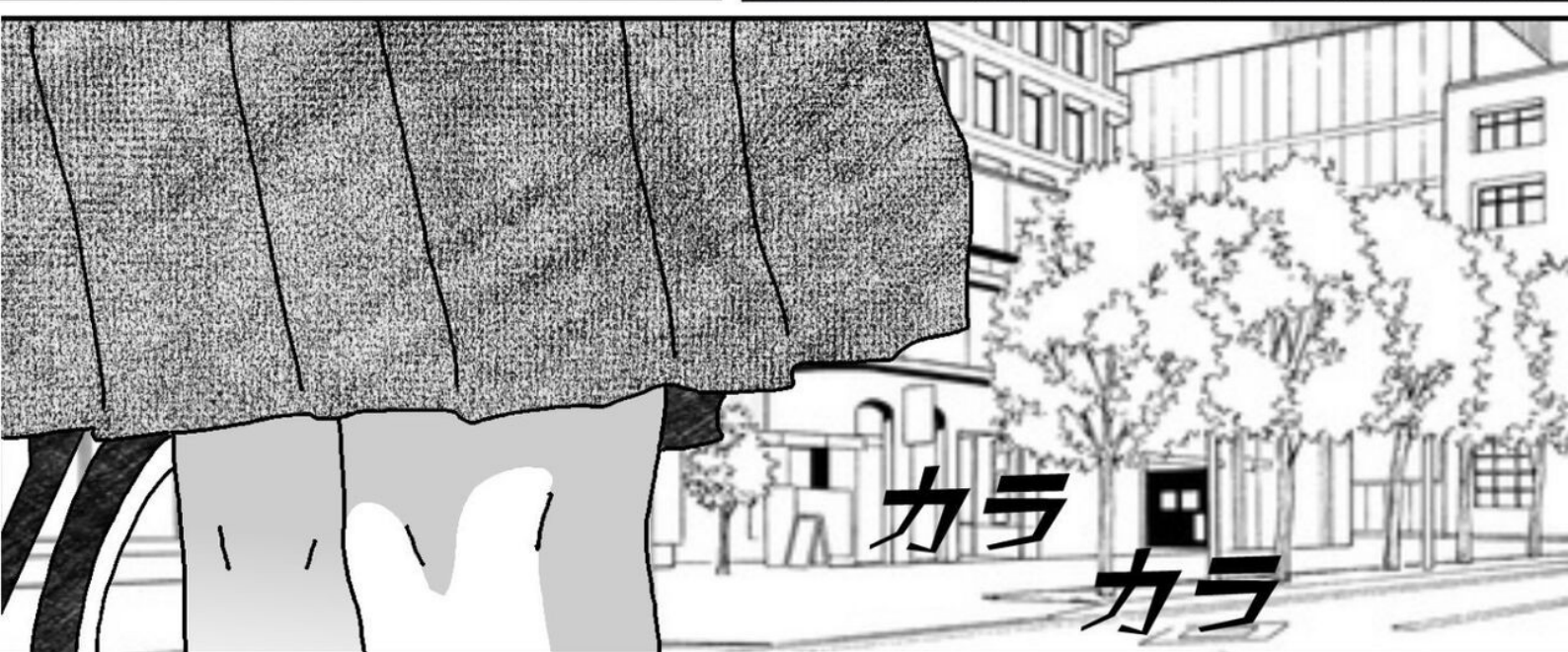
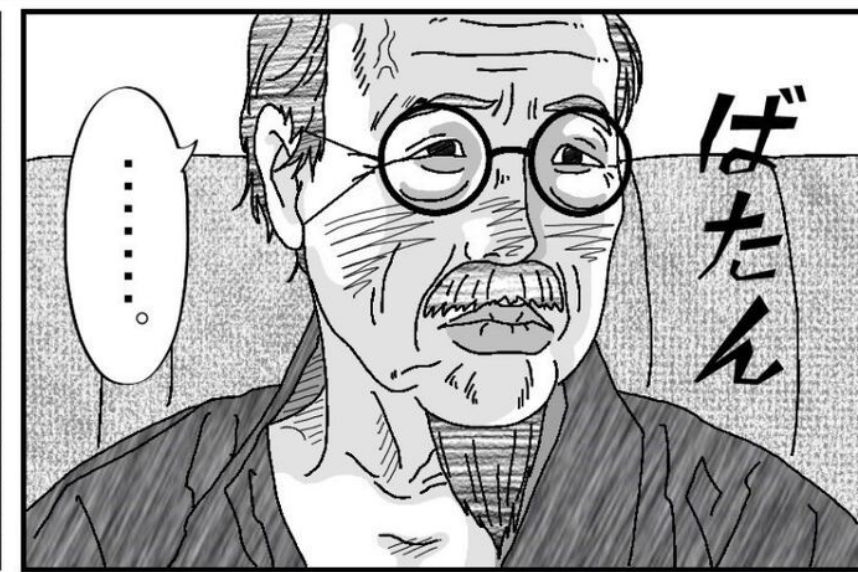
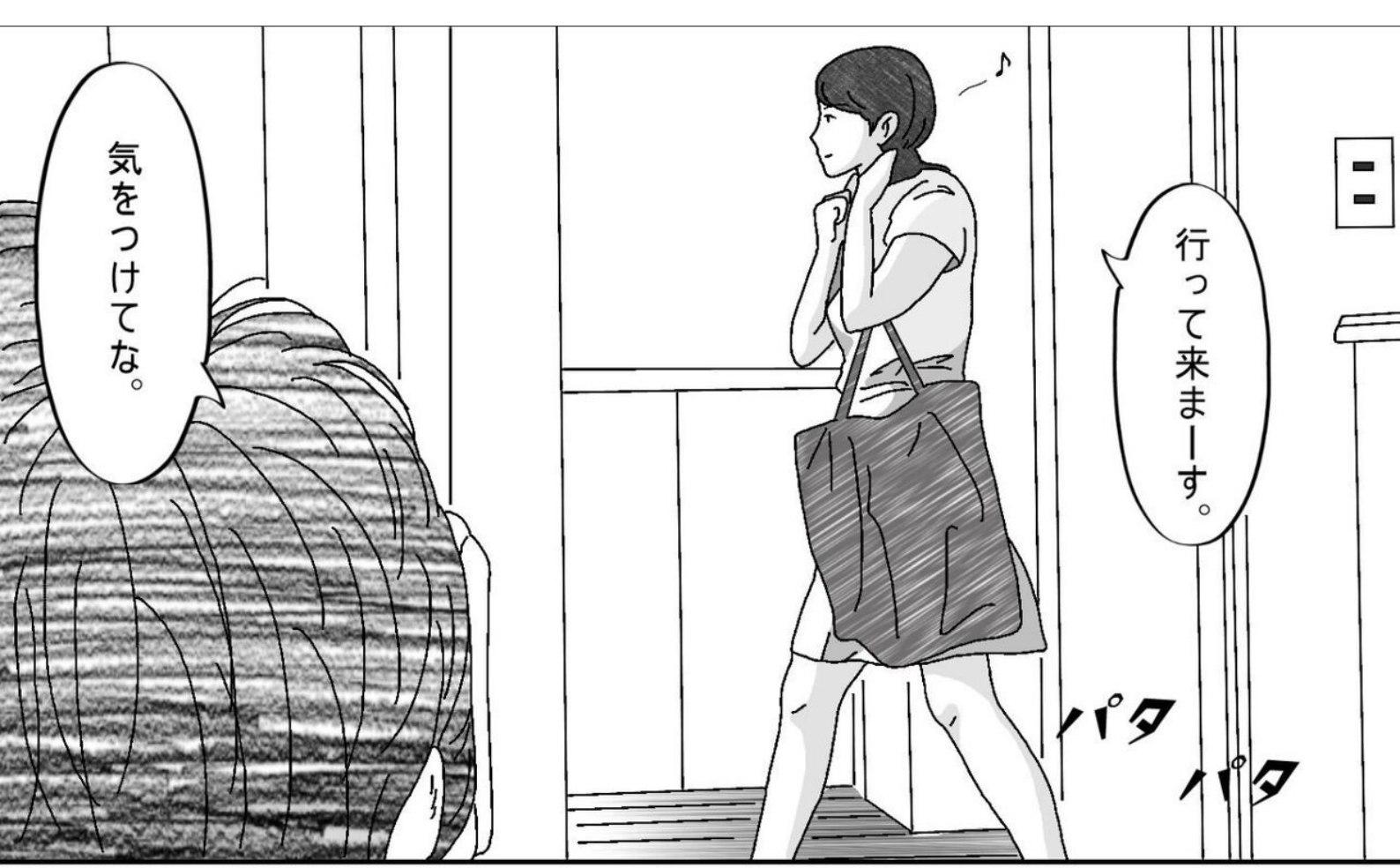
たん
たん

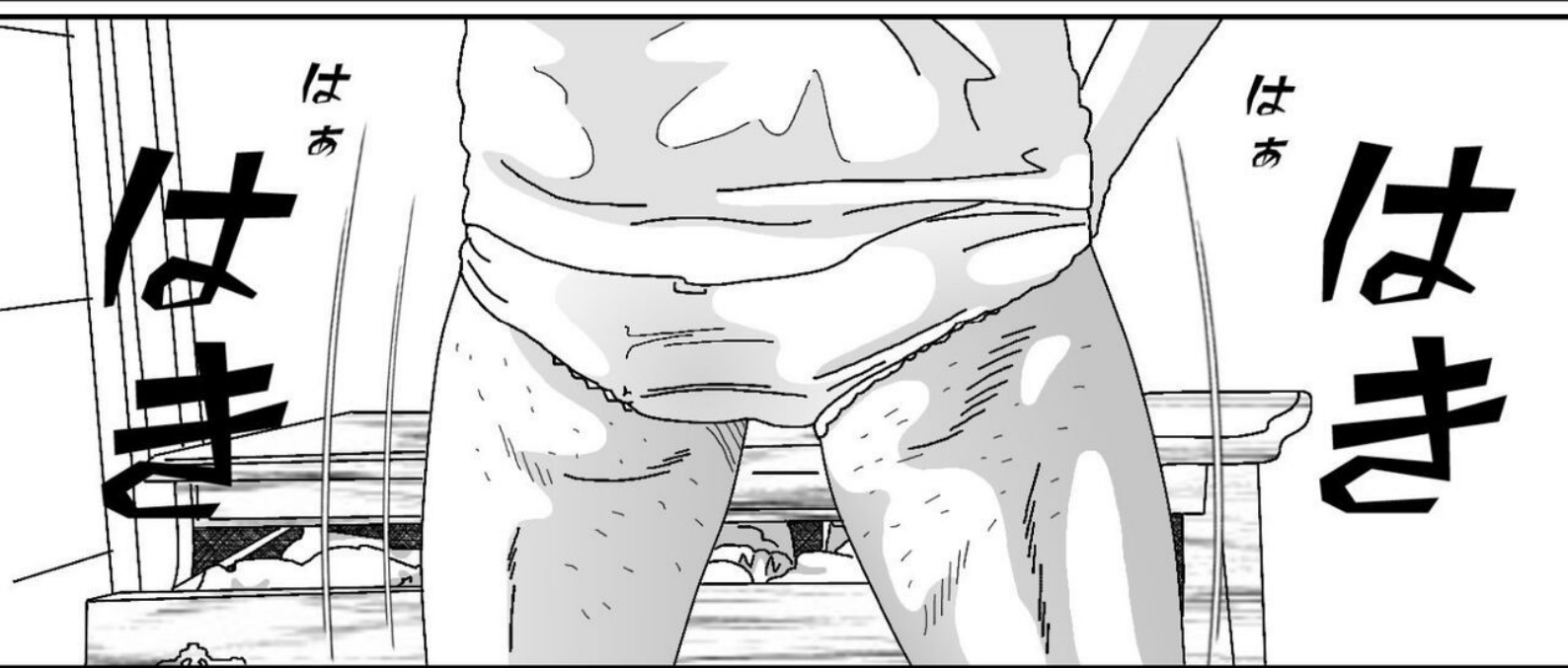
カラ
カラ

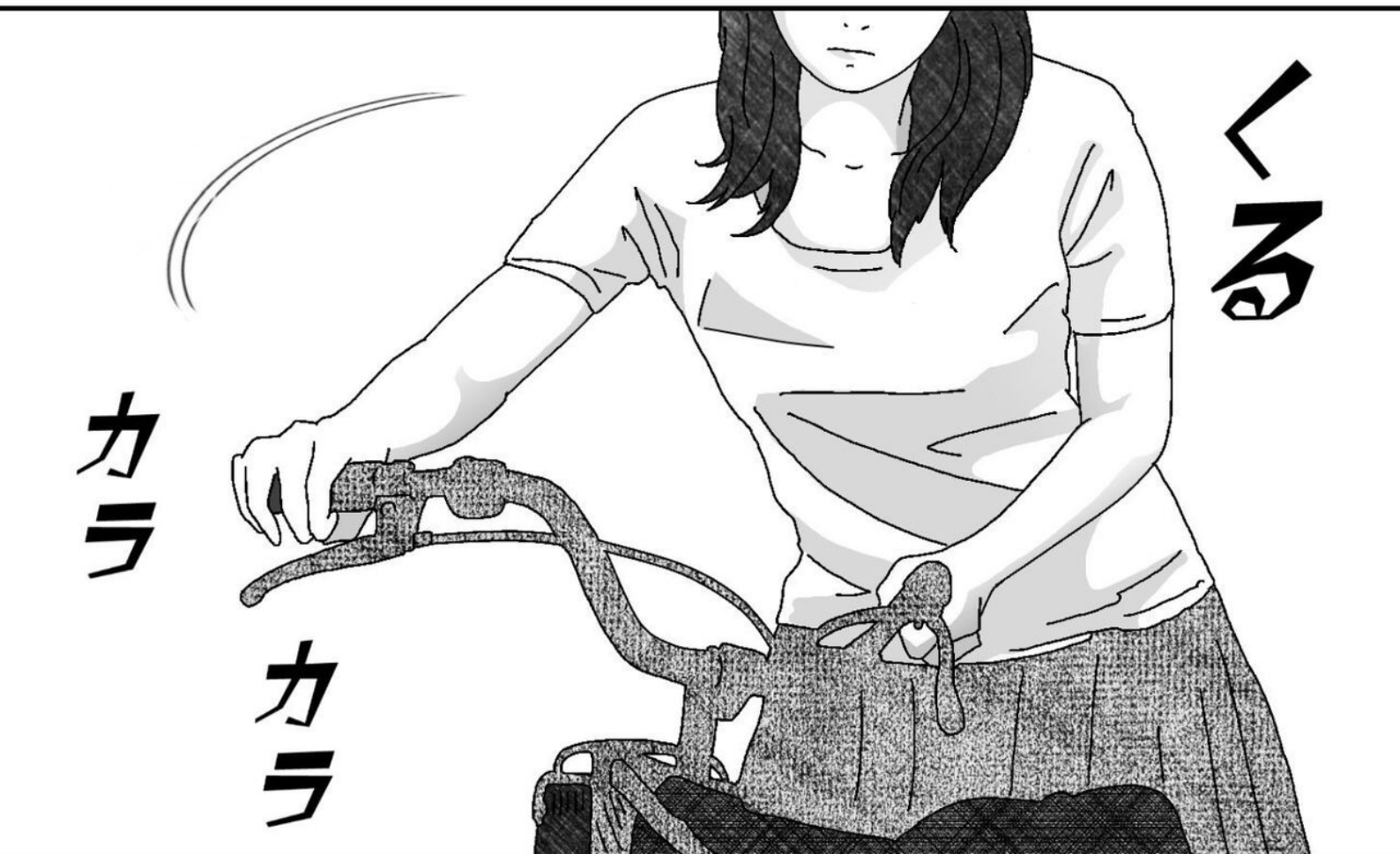
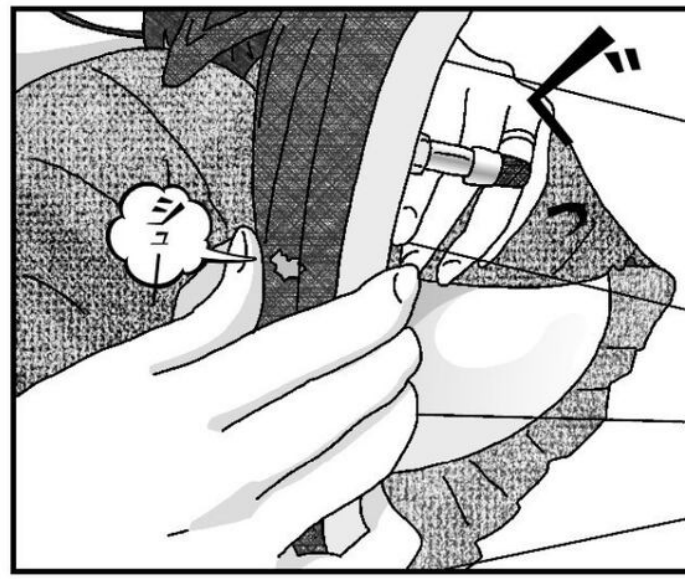
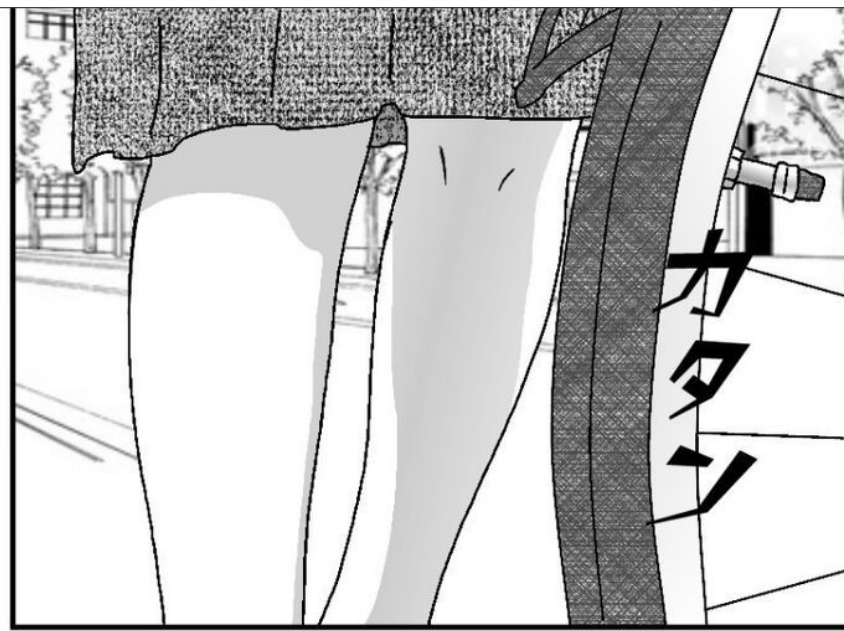
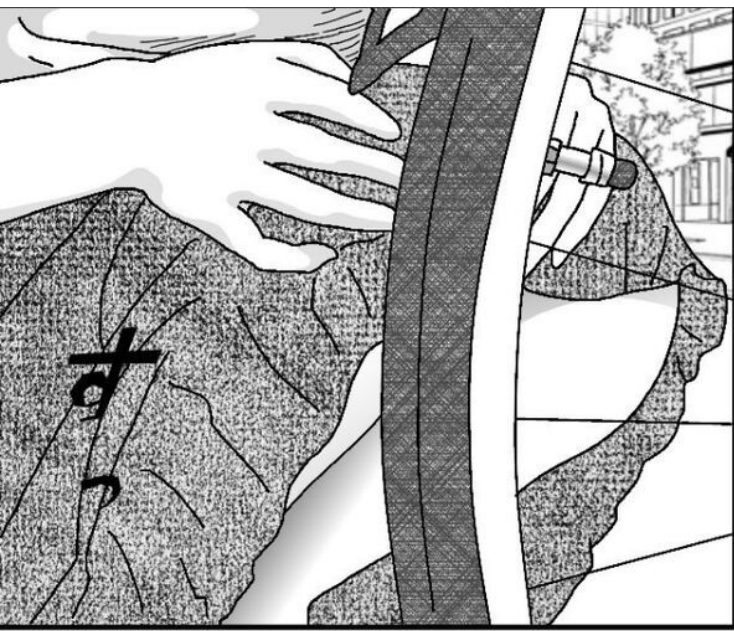


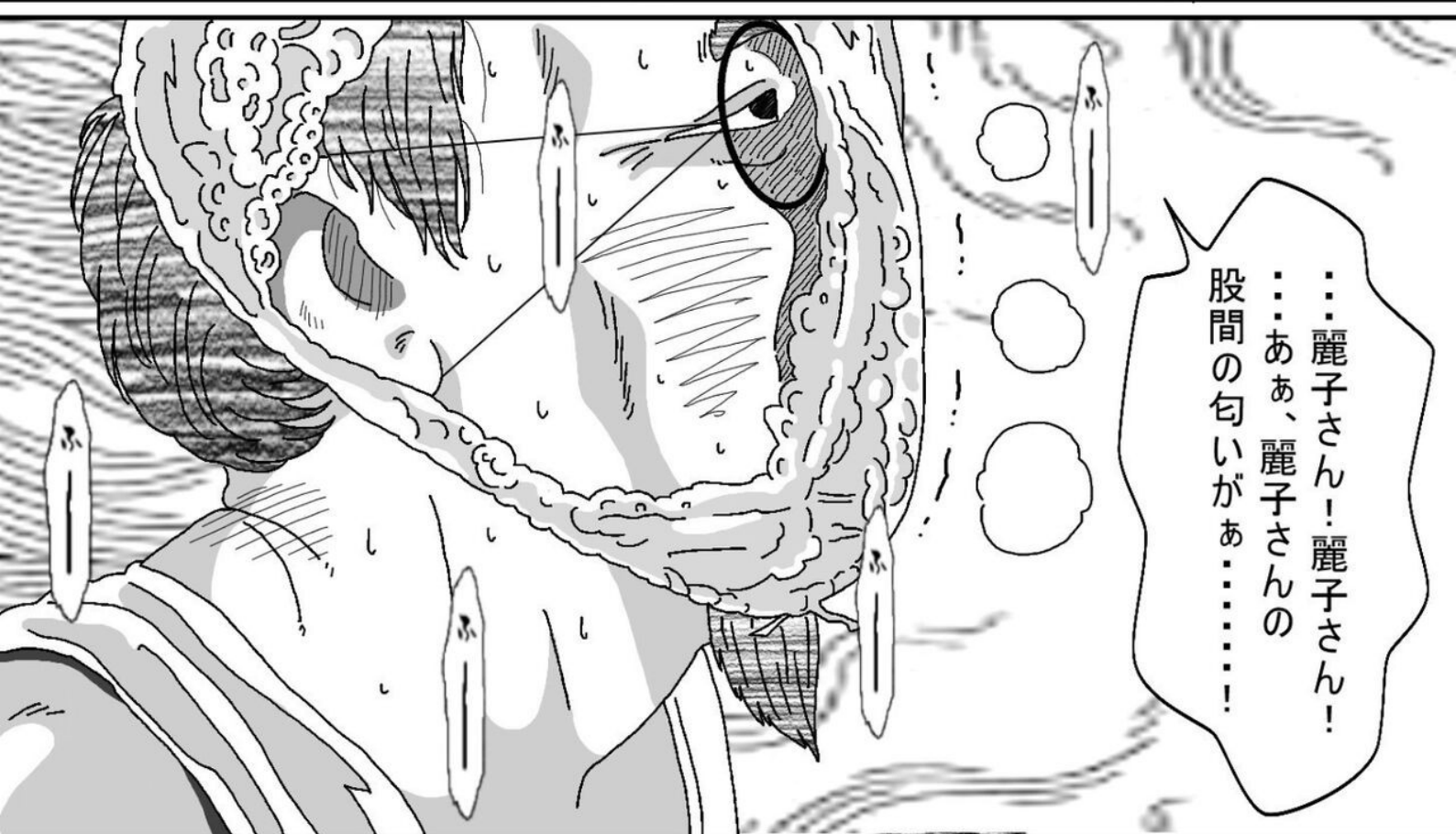
あ、お義父さん。
ちよっと、買い物に
行って来ますね。

ああ……行って
らっしゃい。

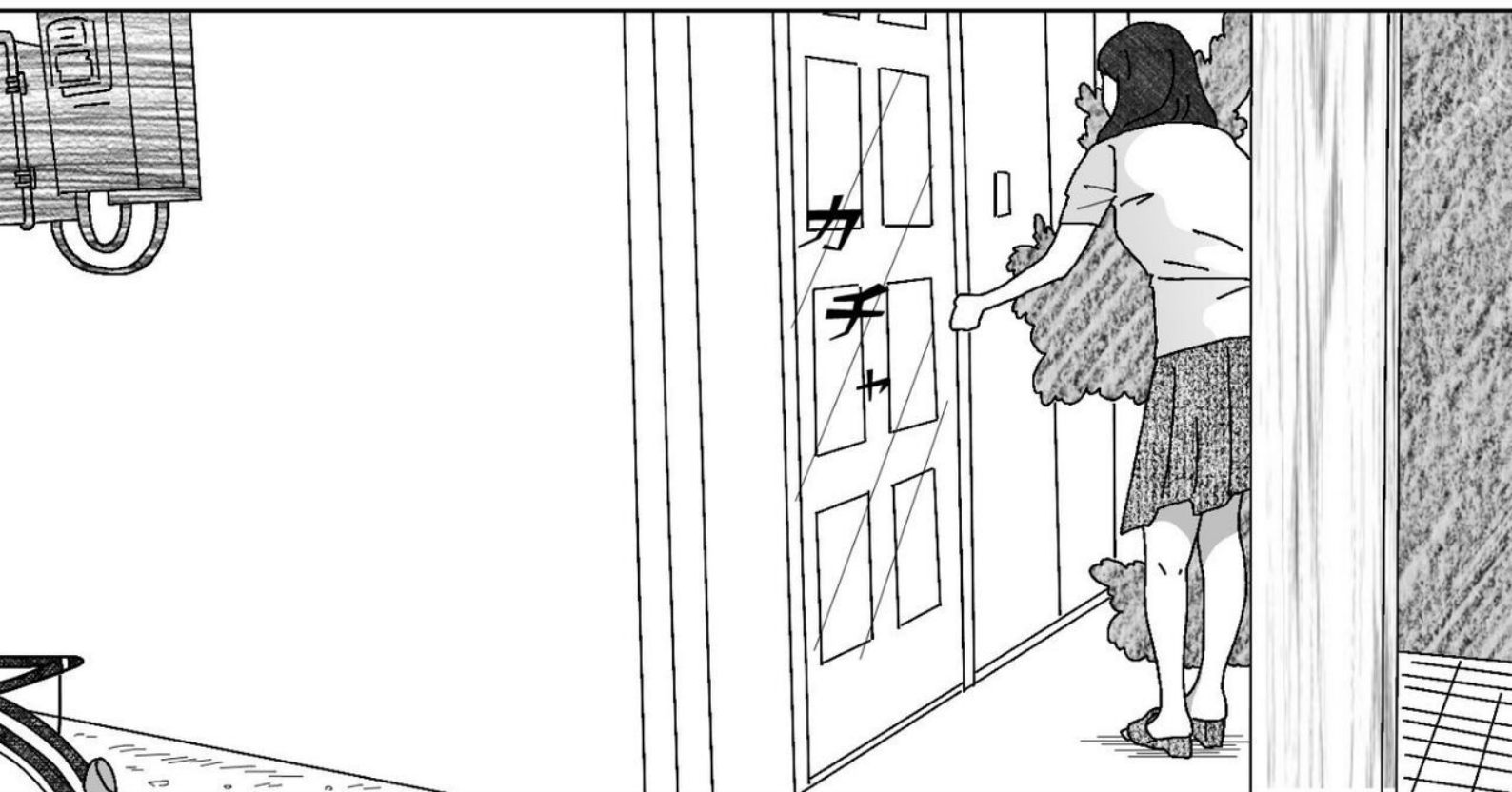








…麗子さん…麗子さん…
…ああ、麗子さんの
股間の匂いがある………!!







はっ はっ

麗子
さっさん!

くちくち

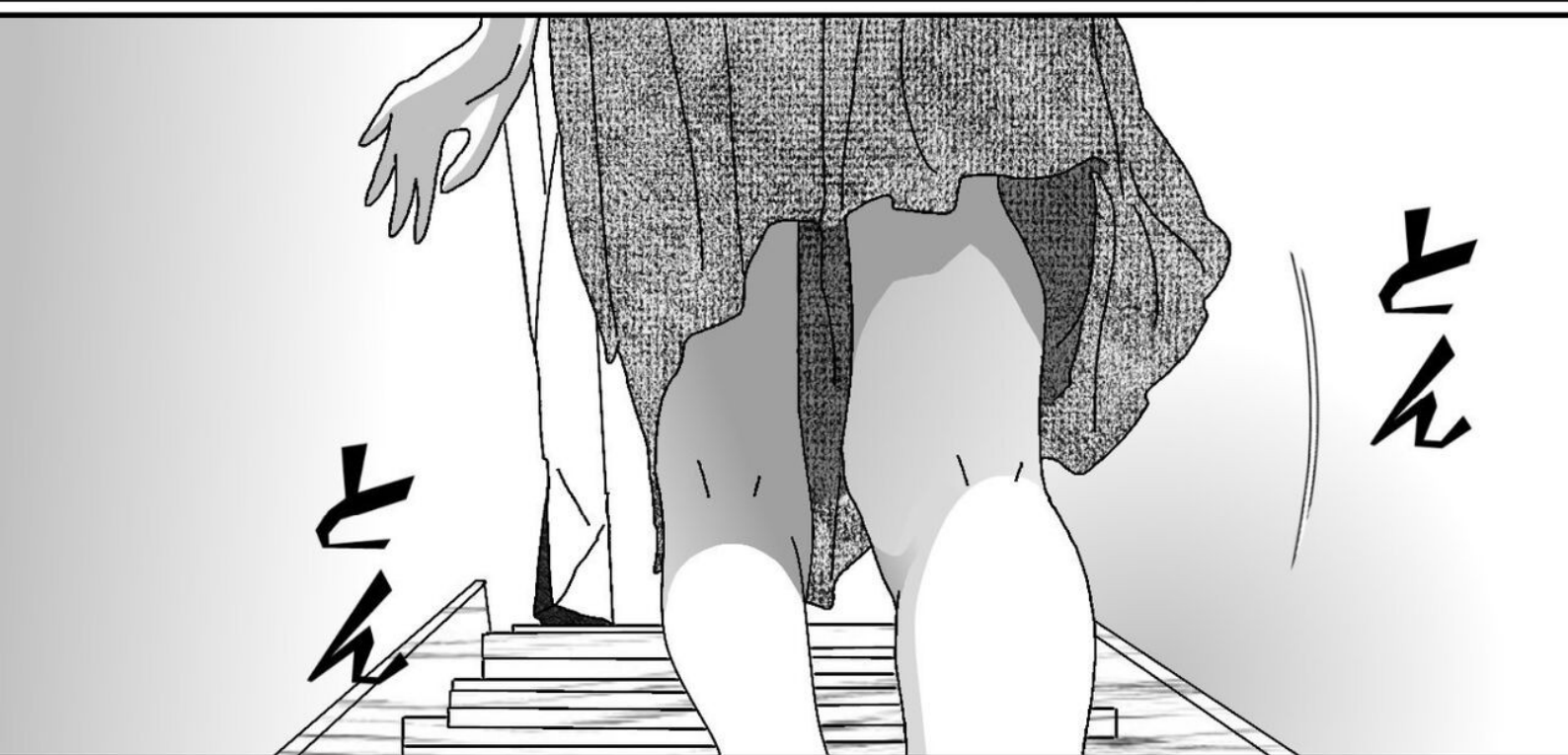
くちくち

くちくち

くちくち

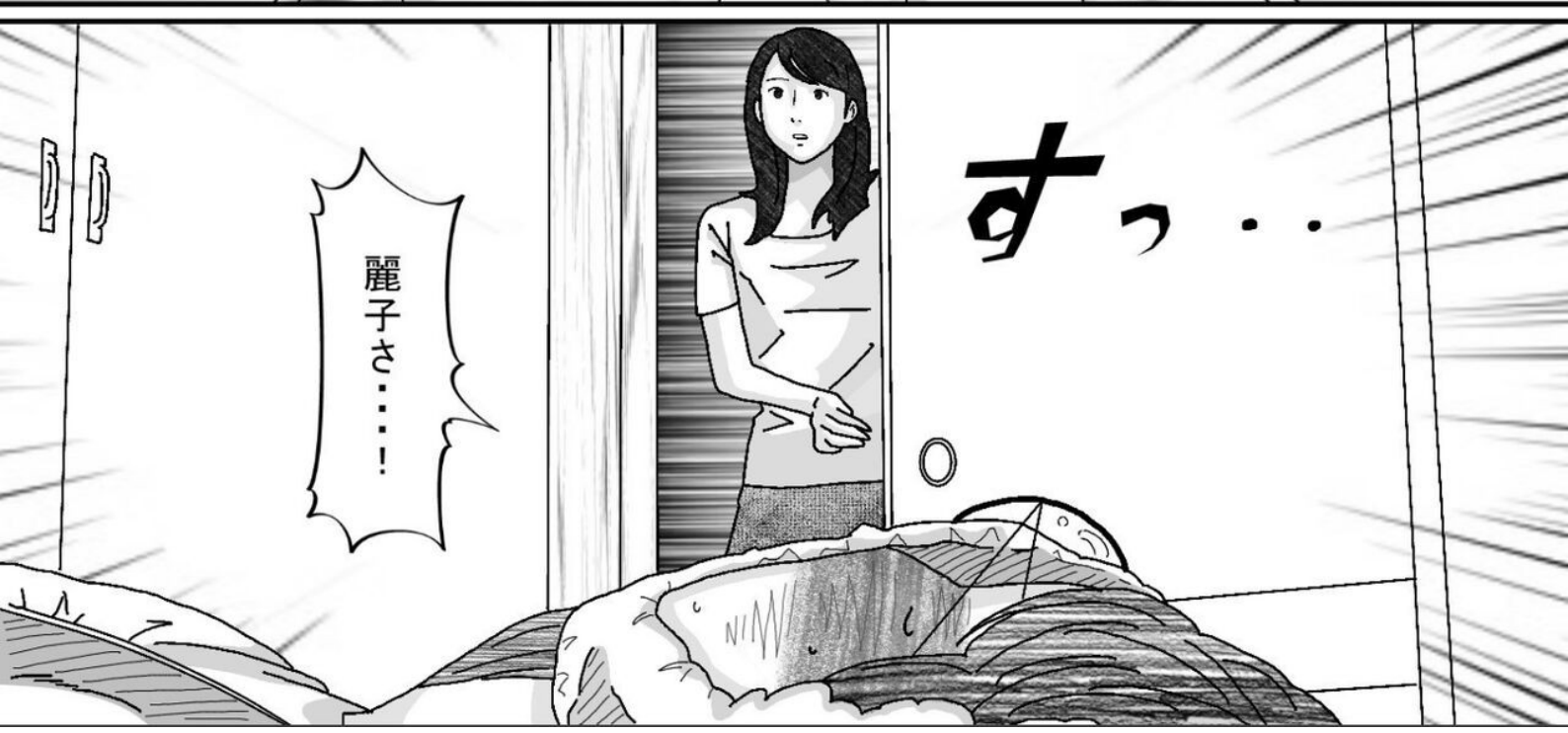
はっ はっ

麗子
さっさん!



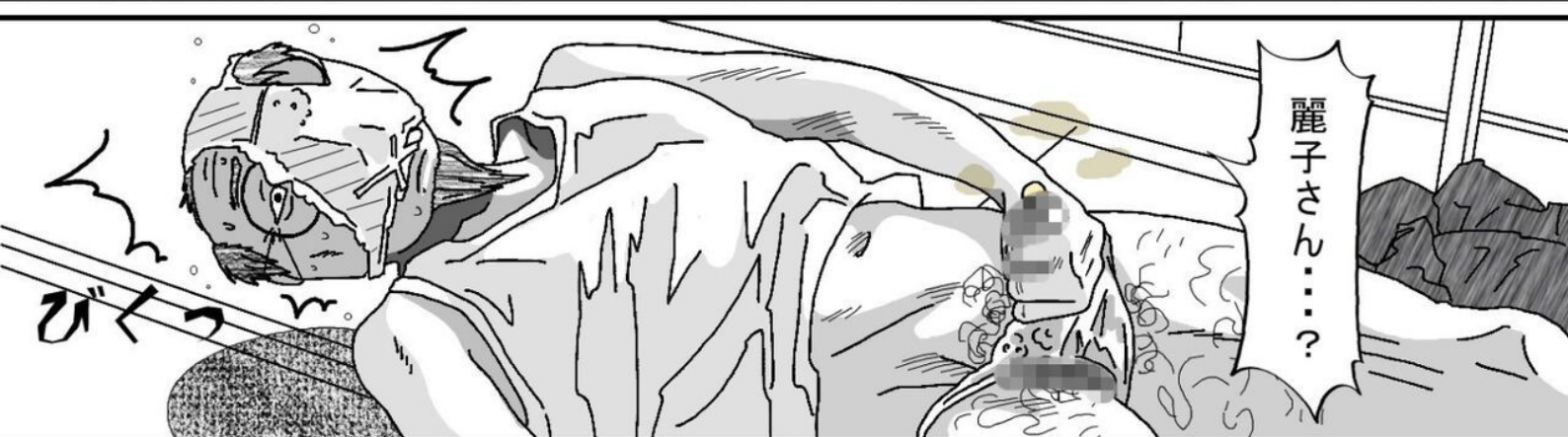
とん

とん



麗子さ...!!

すっ...





いやあ

さっ!!



まっ、待ってくれ!
麗子さん……!!

はあ
はあ

ばばっ



どき

どき

……っ!!



だ

だ

麗子さん! 大丈夫だ
開けてくれ!
もう普通の格好に
なっっている!



が

が

本当だよ
麗子さん!
開けてくれ!

本当ですか!?

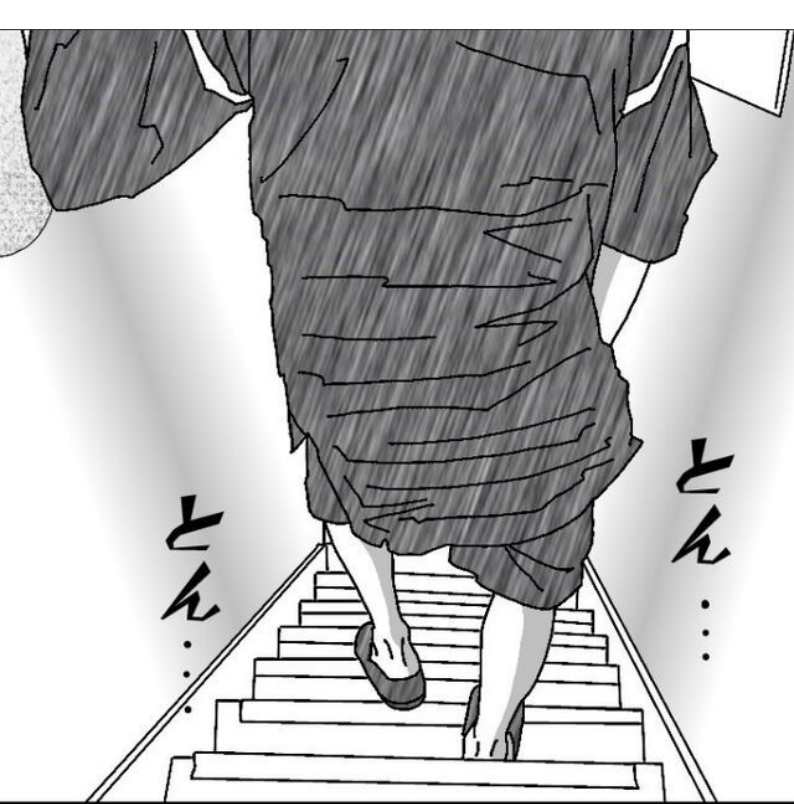


はあ
はあ

びく

.....

.....

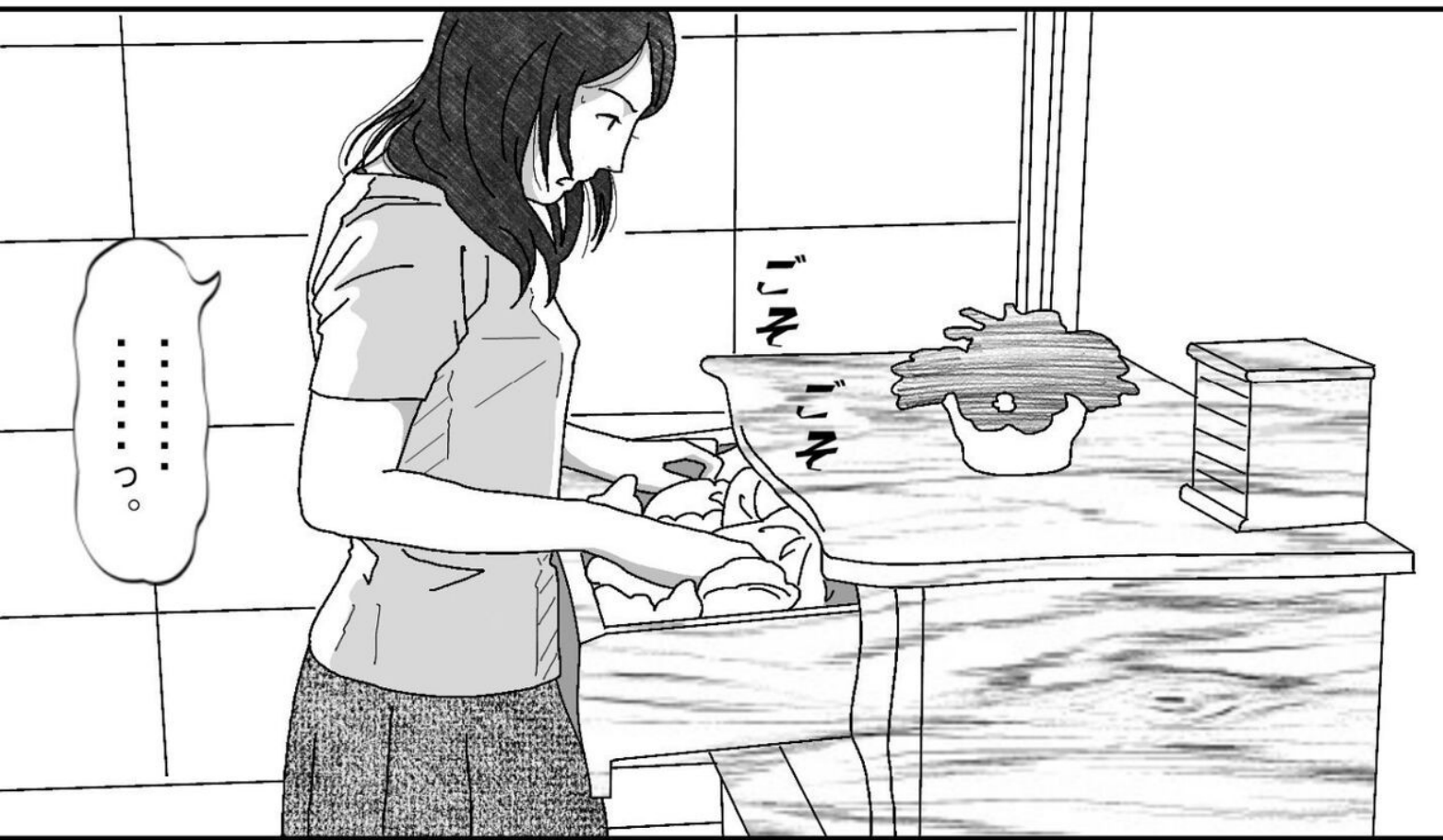




すっ



はっ



……
っ。

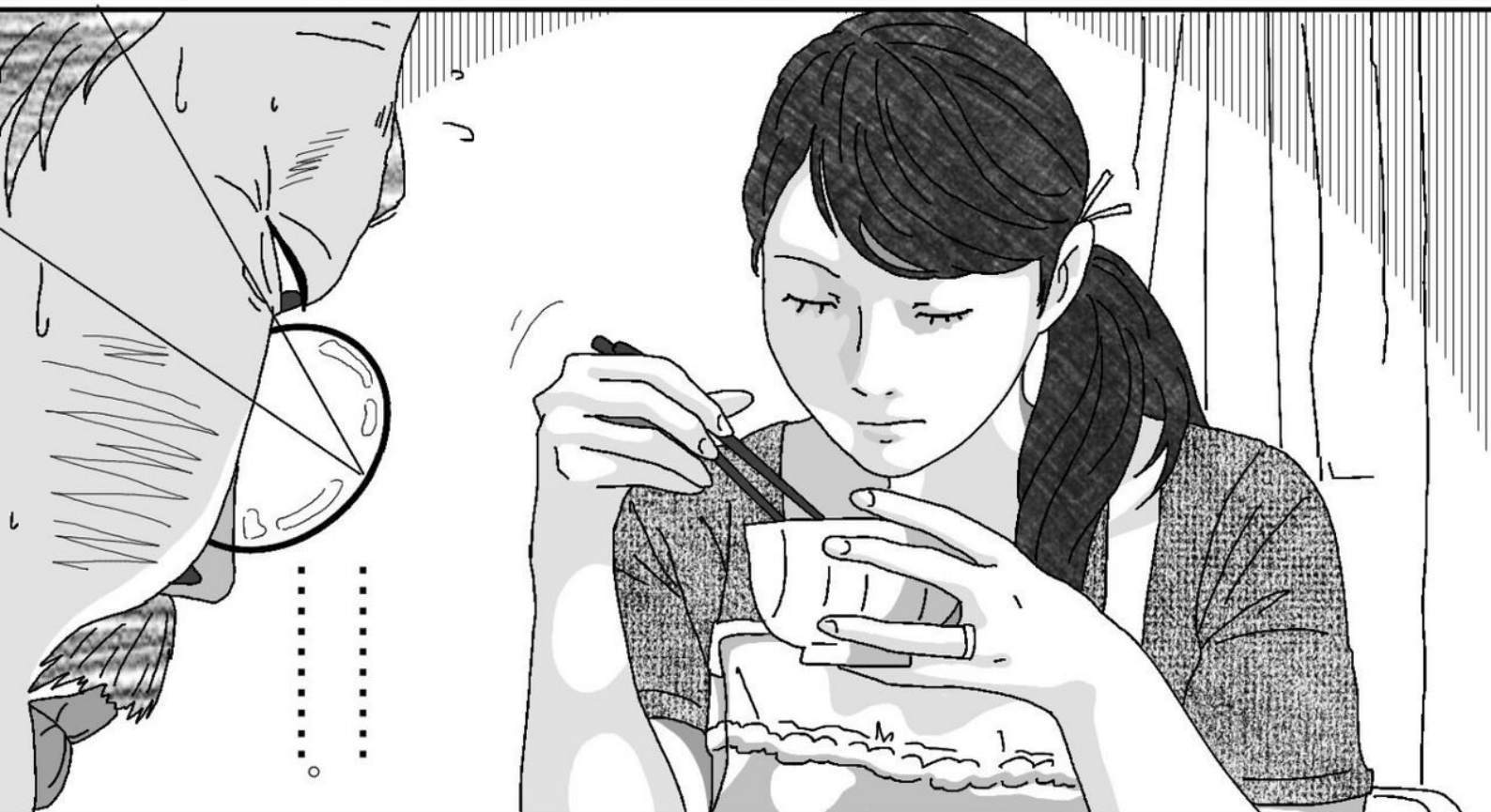
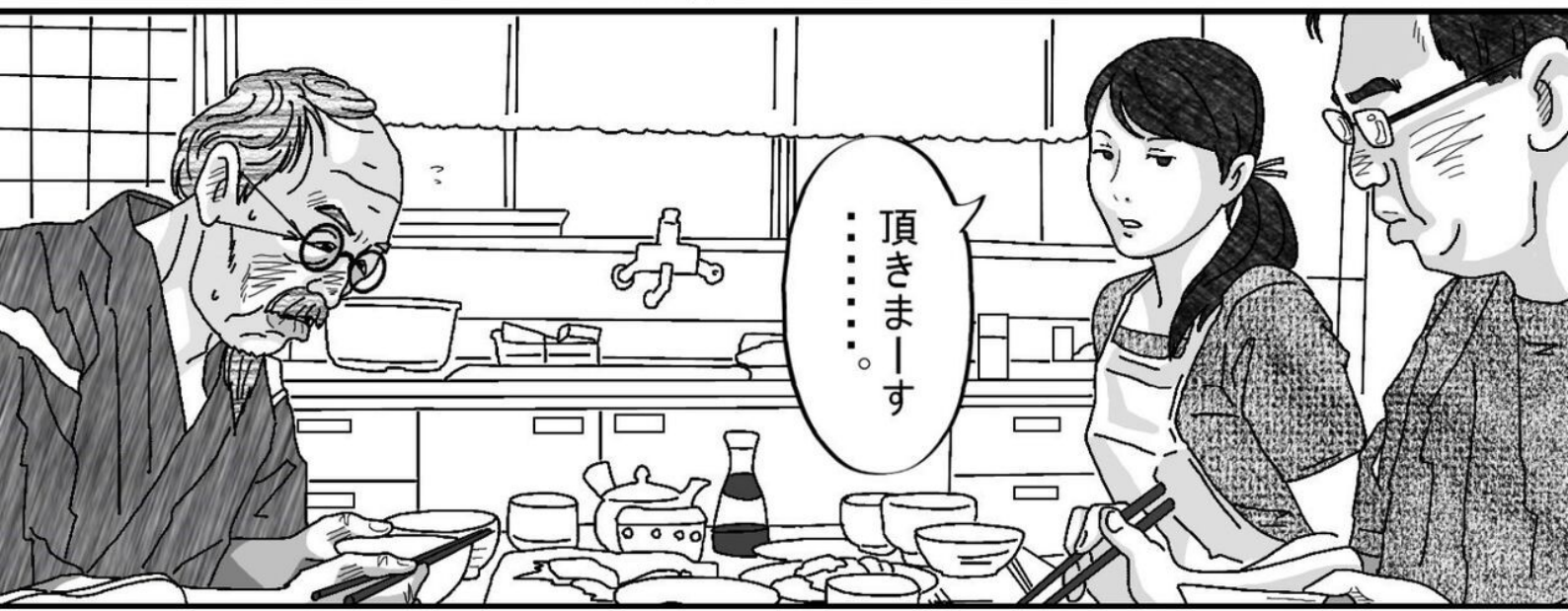
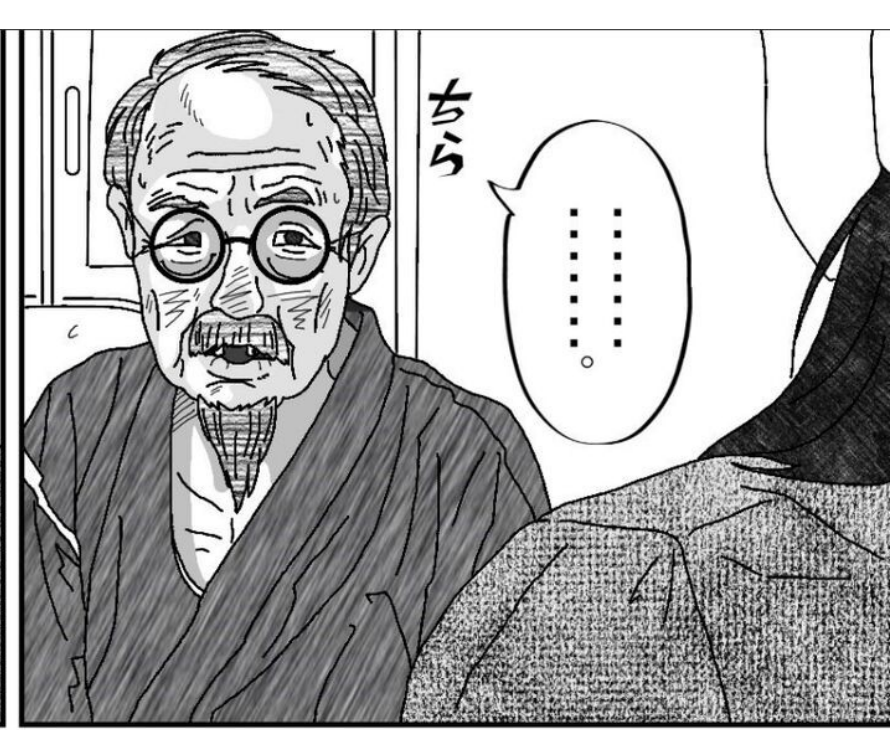
ジュン
ジュン

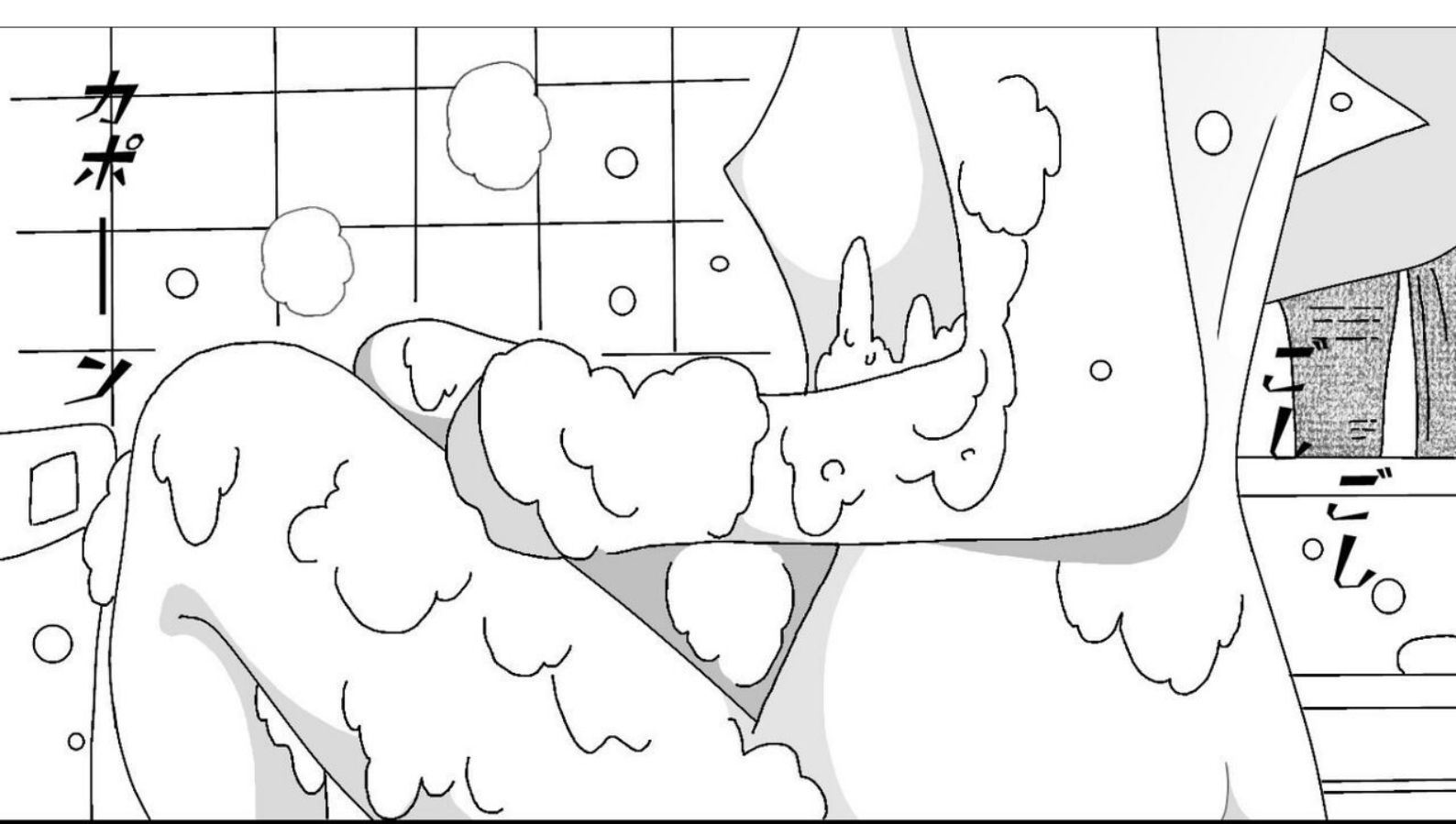


……もうっ!!
どういっ事
なのよ……。

はあ







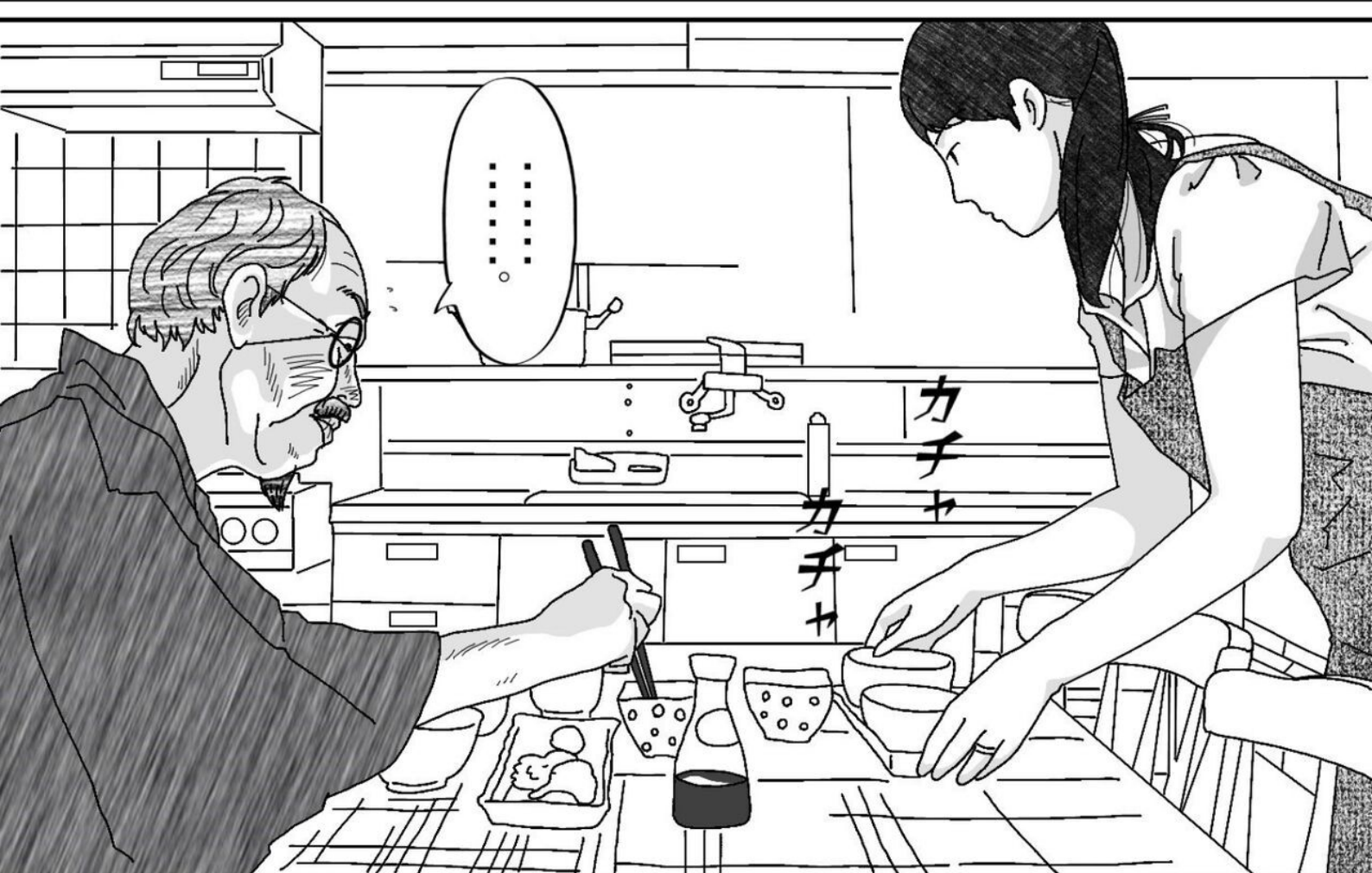
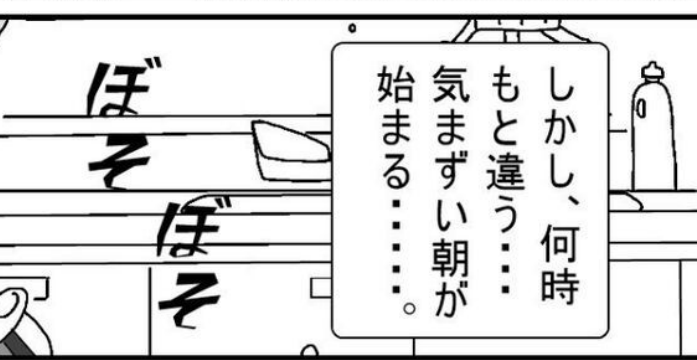
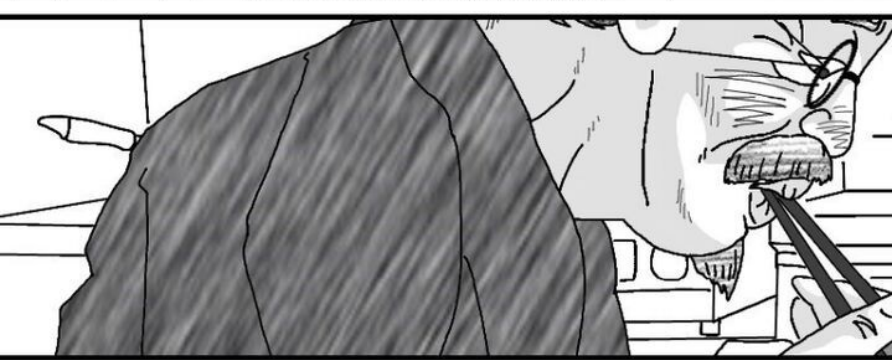
○月×日……。

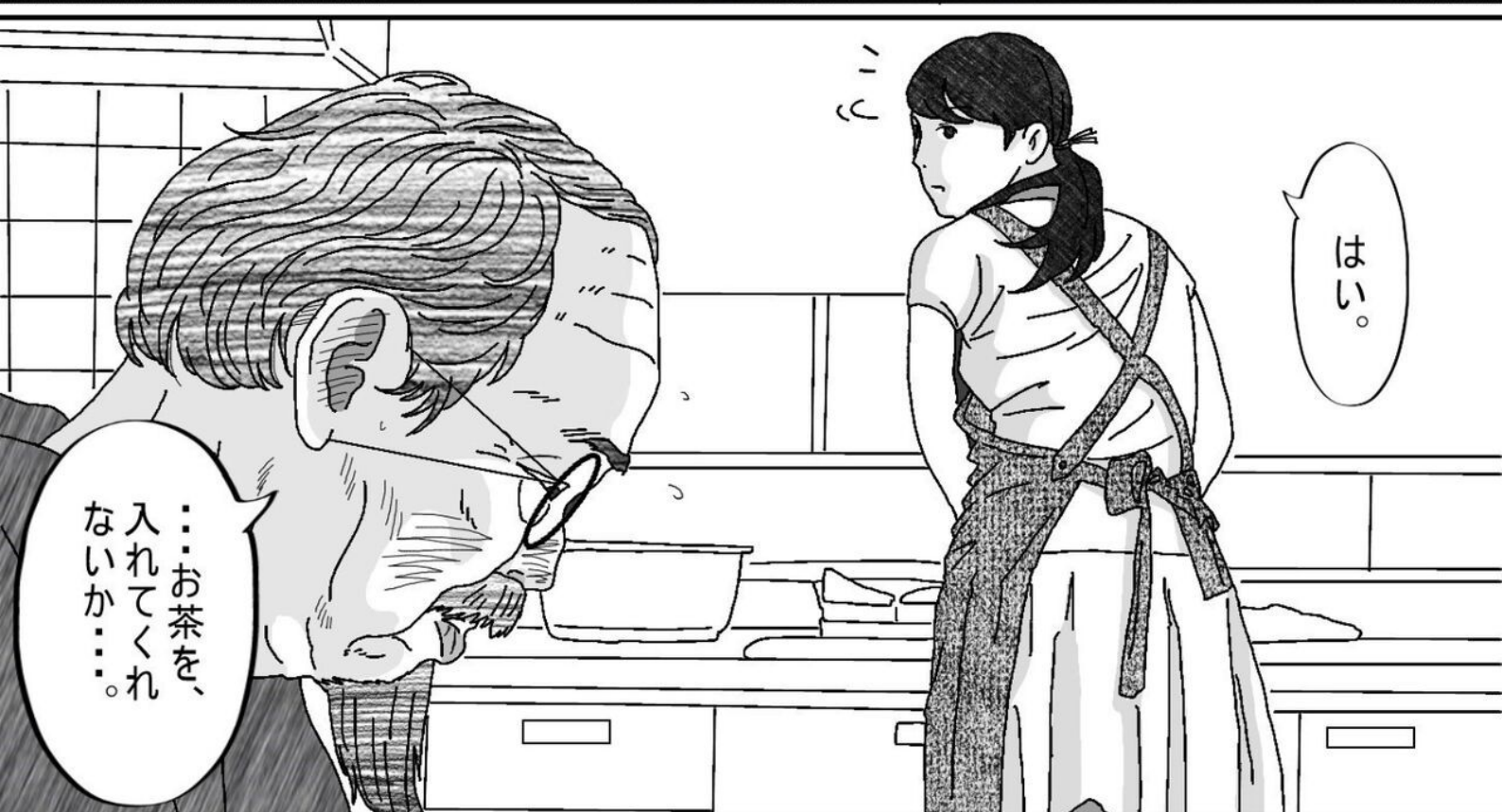
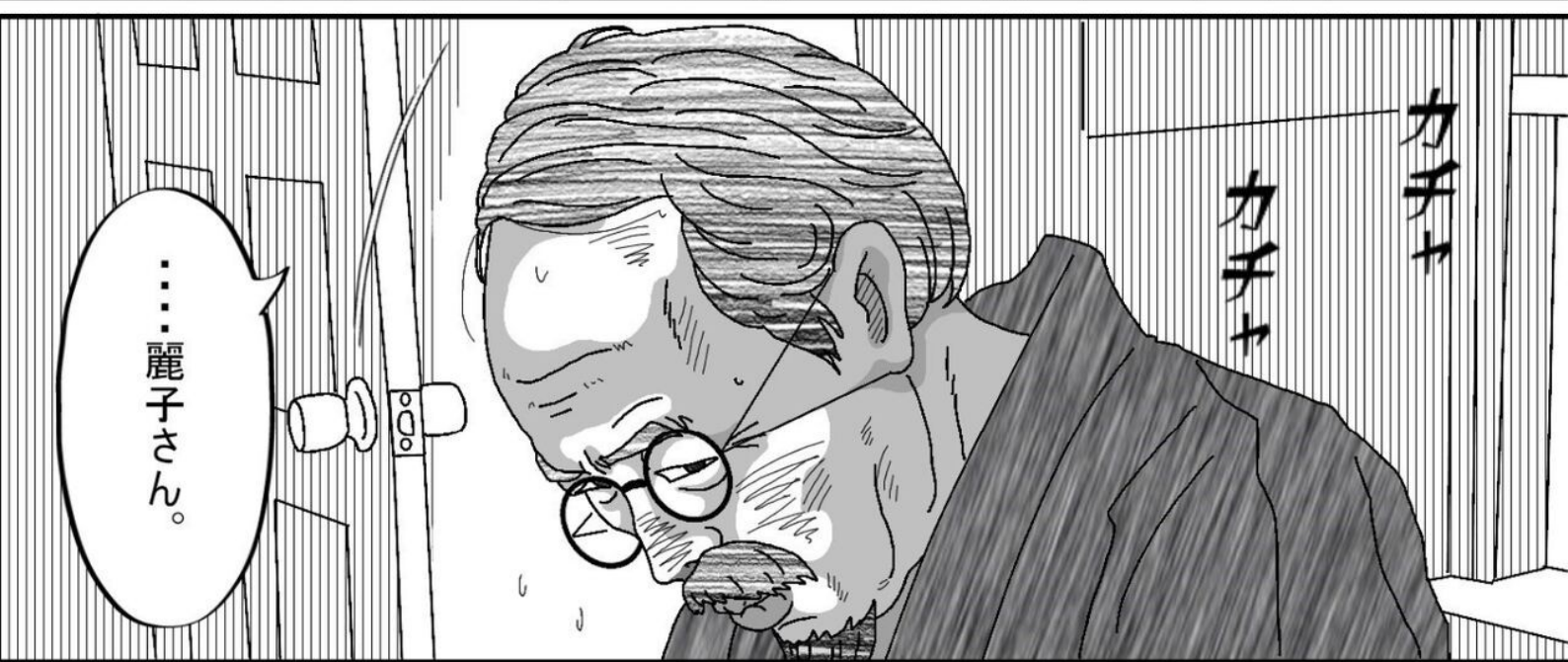
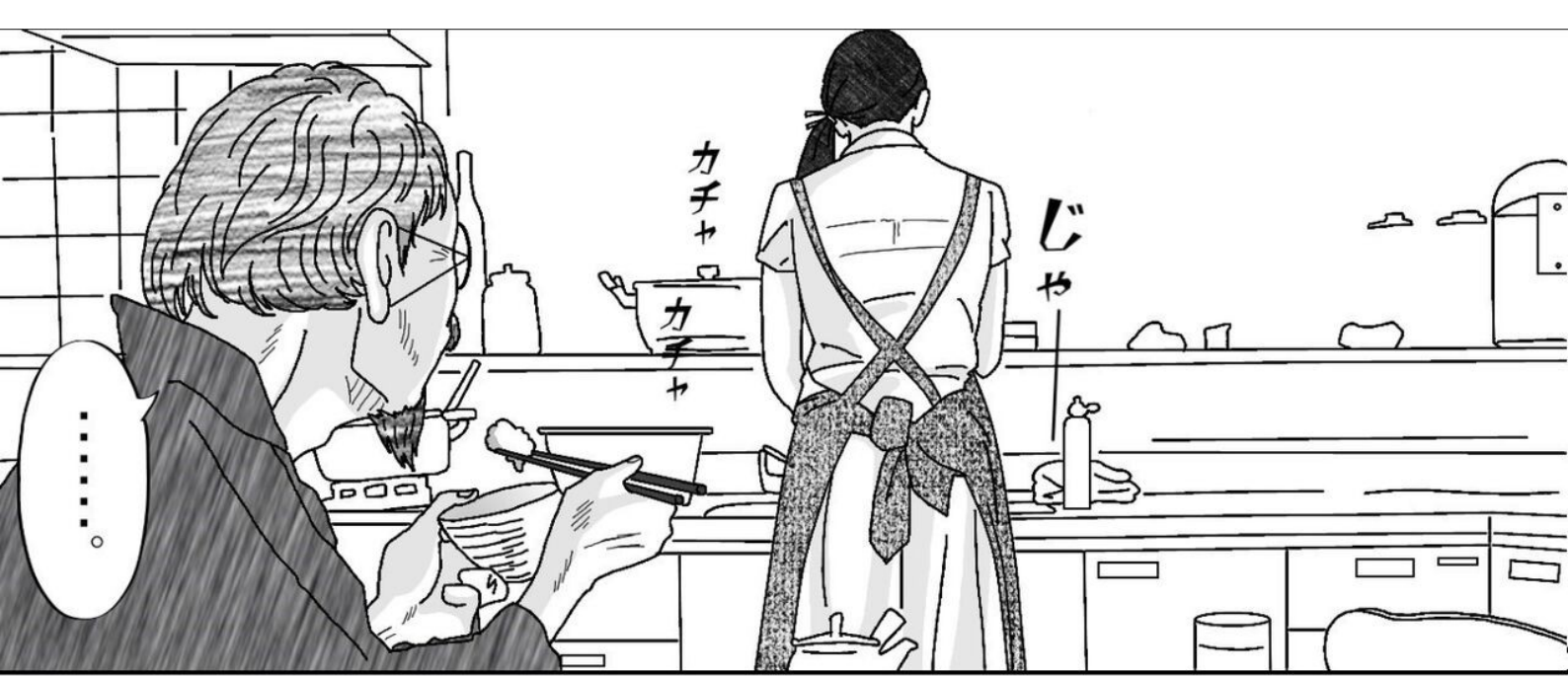
木曜日、パンツは
白の日……。

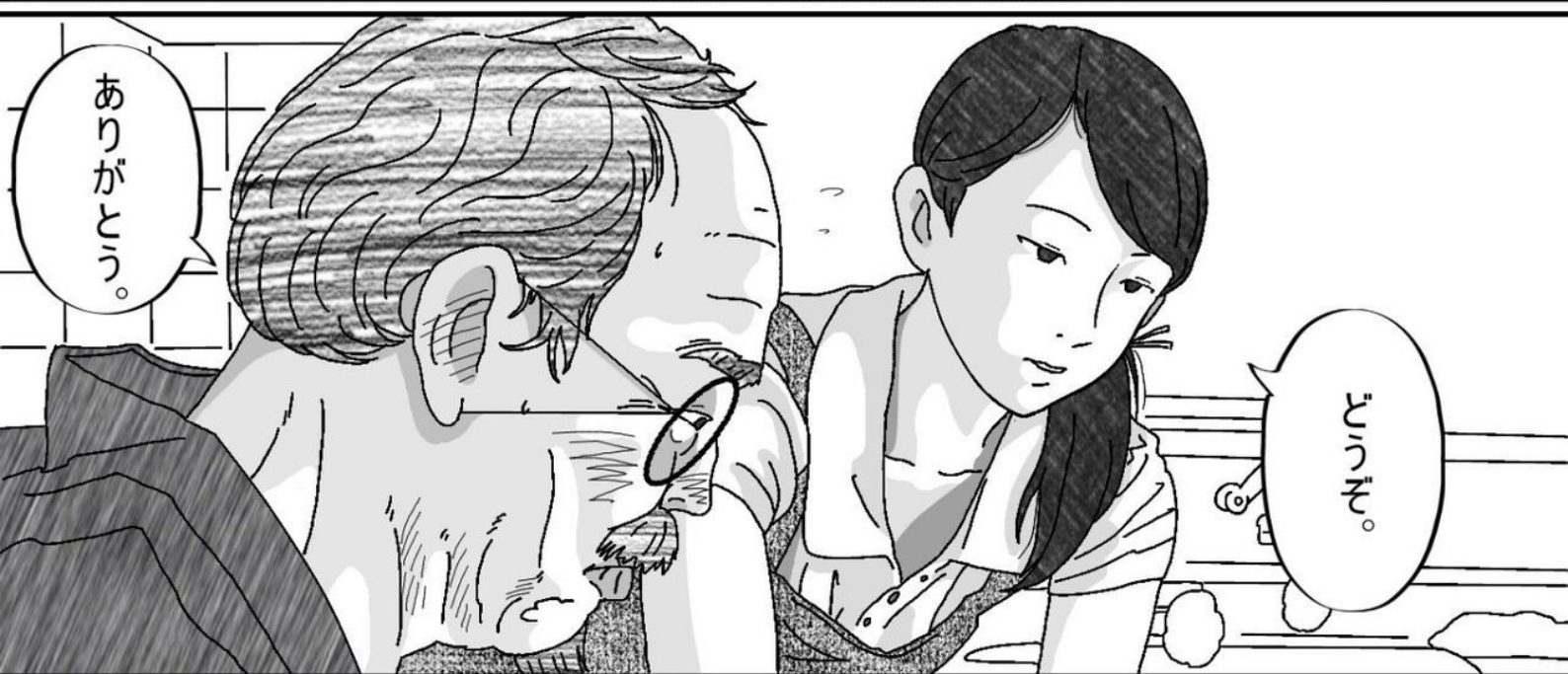
今日は大変な
一日だった……。

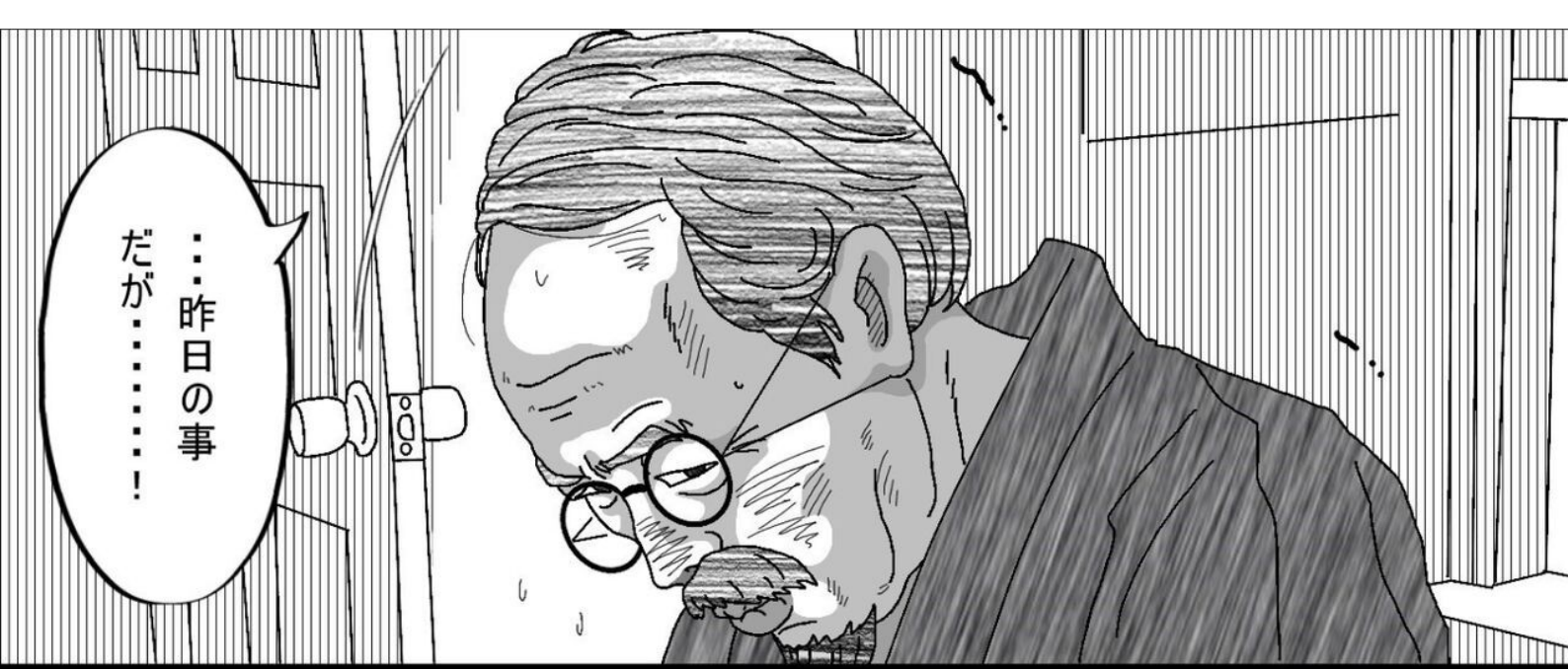
気まずくて
晩御飯も
喉を通らな
かった……。











……昨日の事
だが……!!



昨日は自転車が
パンクして……、

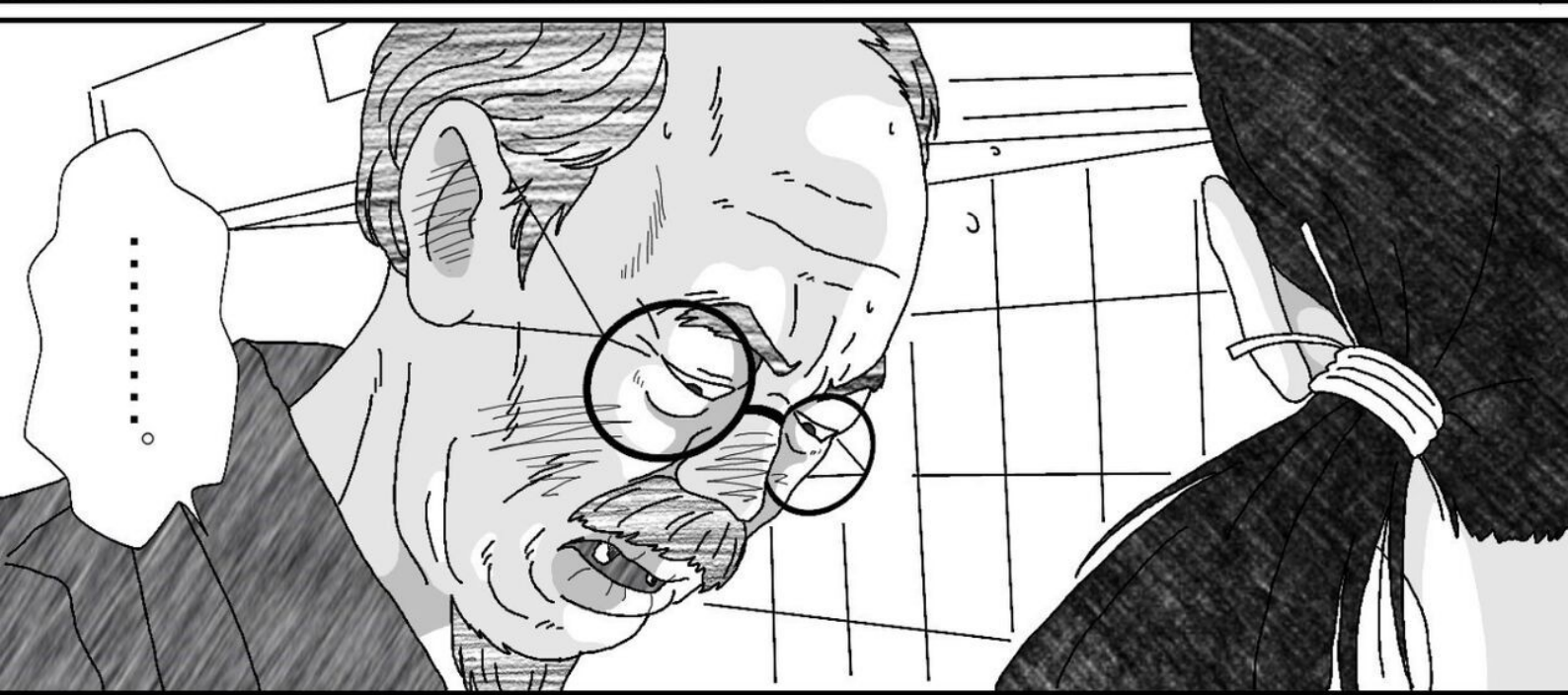
工具箱を探して
いただけです
から……。

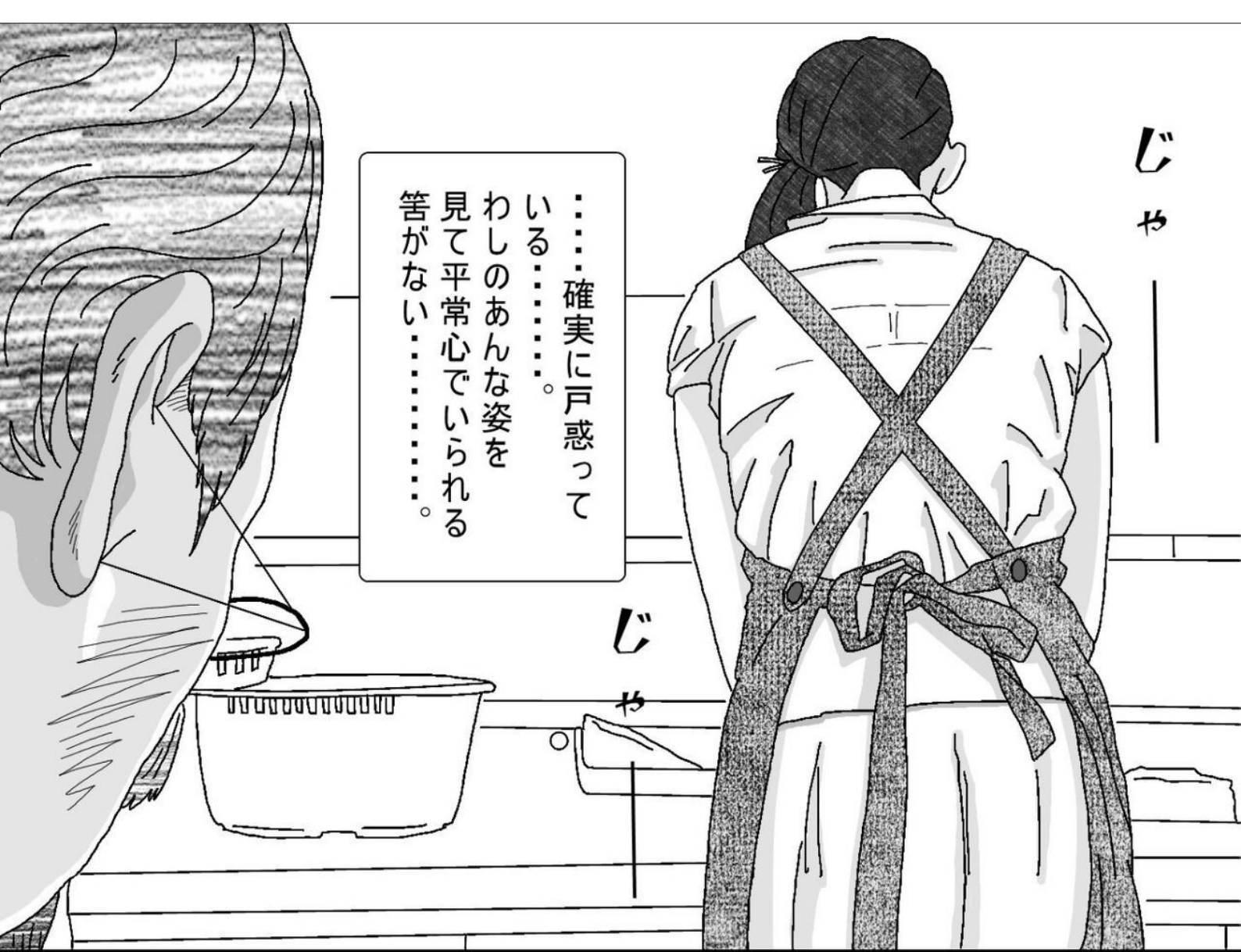


麗子さん!

心配しないでください。
何とも思ってませんし、
他の家でもよくある
んじゃないですか?
そういう事……。

じゃー

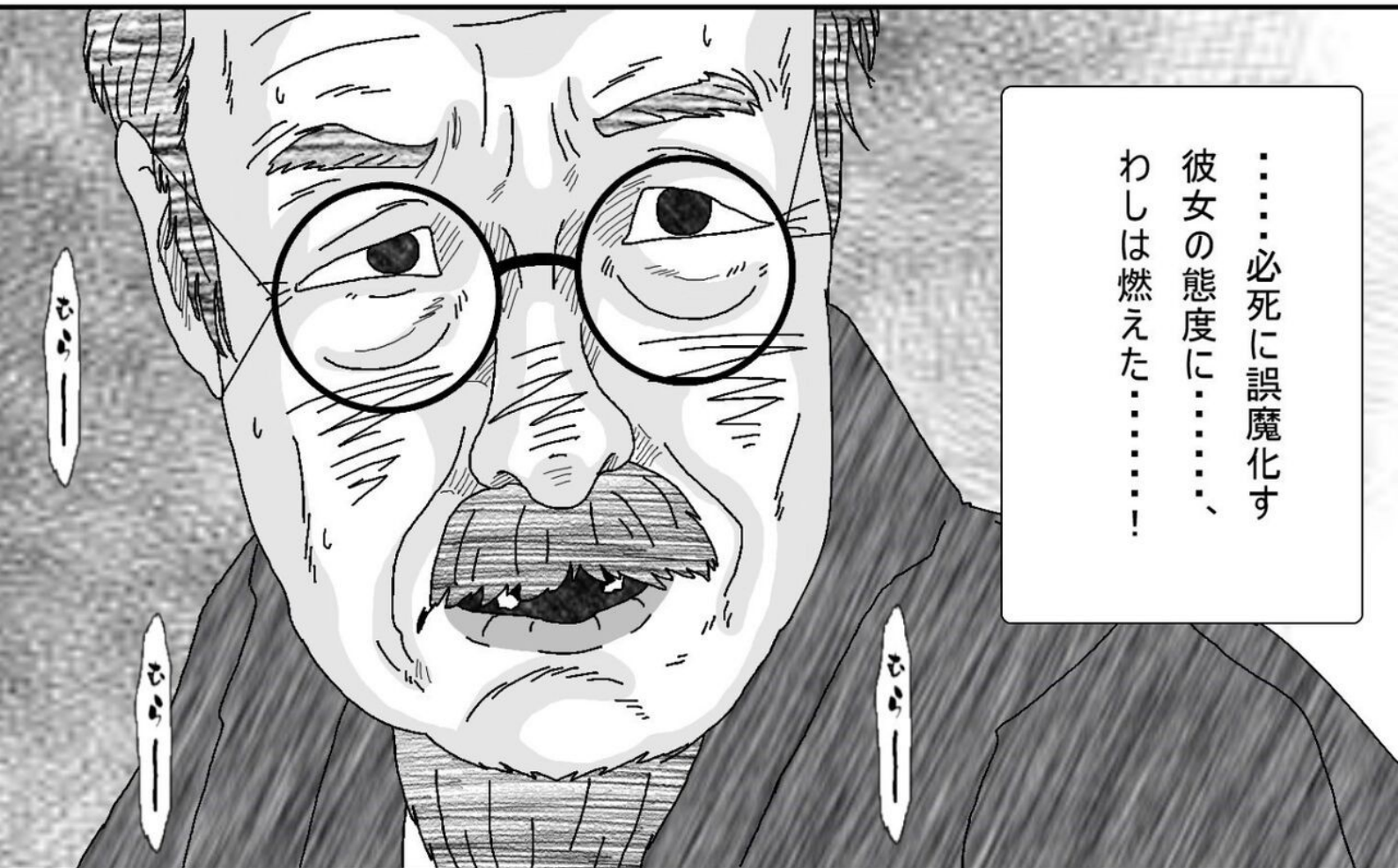




じや

……確実に戸惑って
いる……。
わしのおんな姿を
見て平常心でいられる
筈がない……。

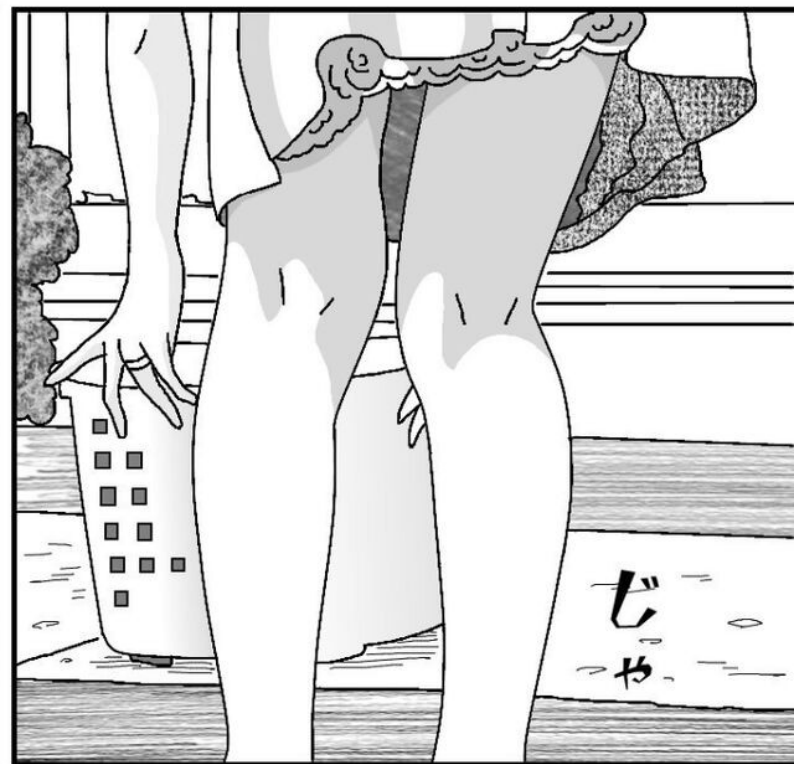
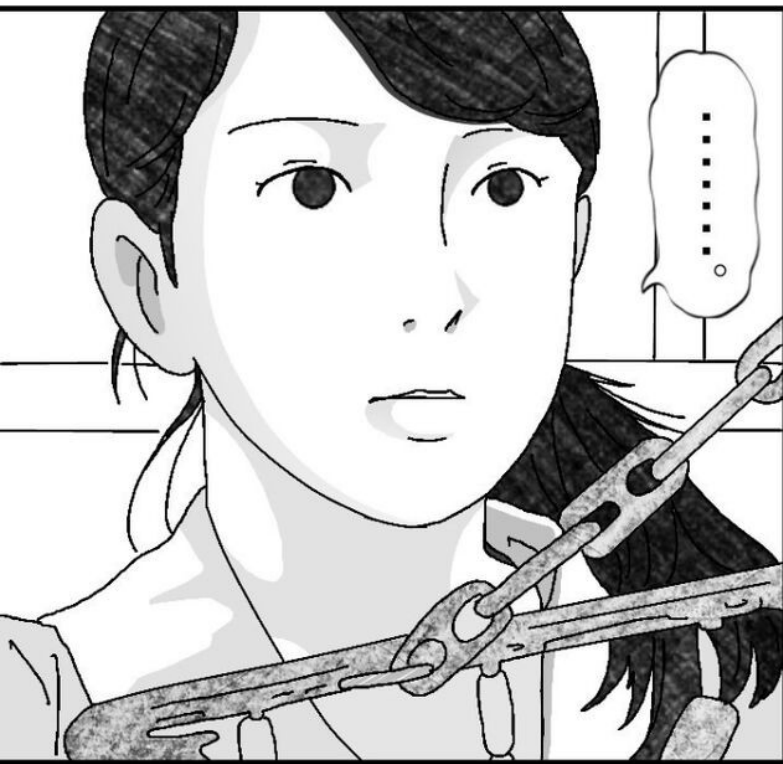
じや



……必死に誤魔化す
彼女の態度に……、
わしは燃えた……！



たん



ぢゃ

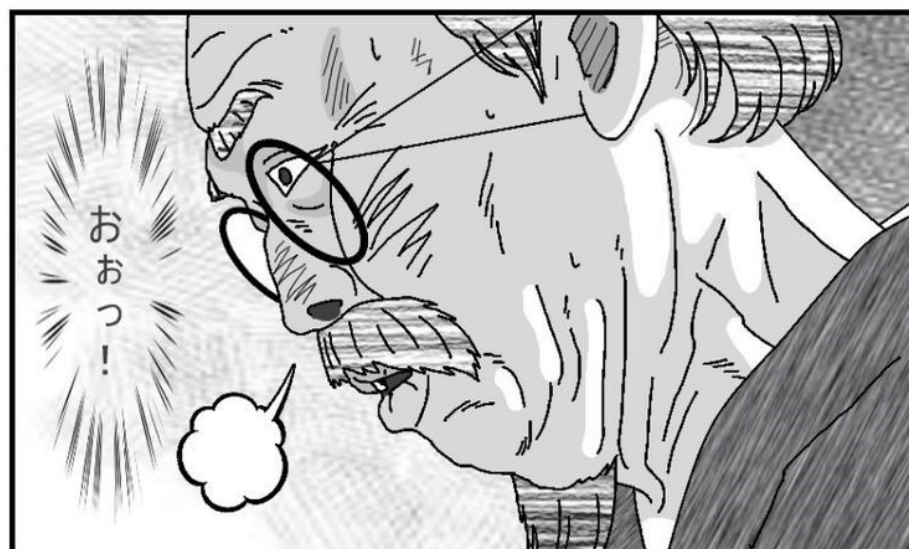
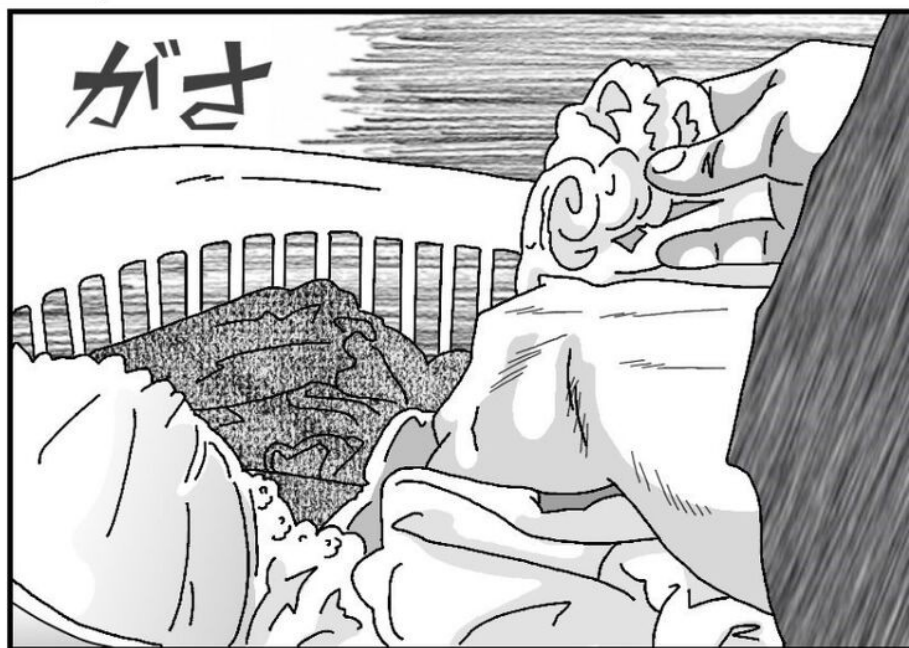


はあ はあ

はあ はあ

：：はあ……
もう、お義父さん
たら……

数日後……





○月×日金曜日。



白いパンツの日。
今日は甘い酸味
がかったシミが
付いていた……。



……うむ、これは。



お泊りが続いて大変ね、
靴用意しておいたから。
……疲れてる……？

……ああ、
ちよっとな……。

……そう、
今日も無理？



……無理、
すまないな……。

さっ

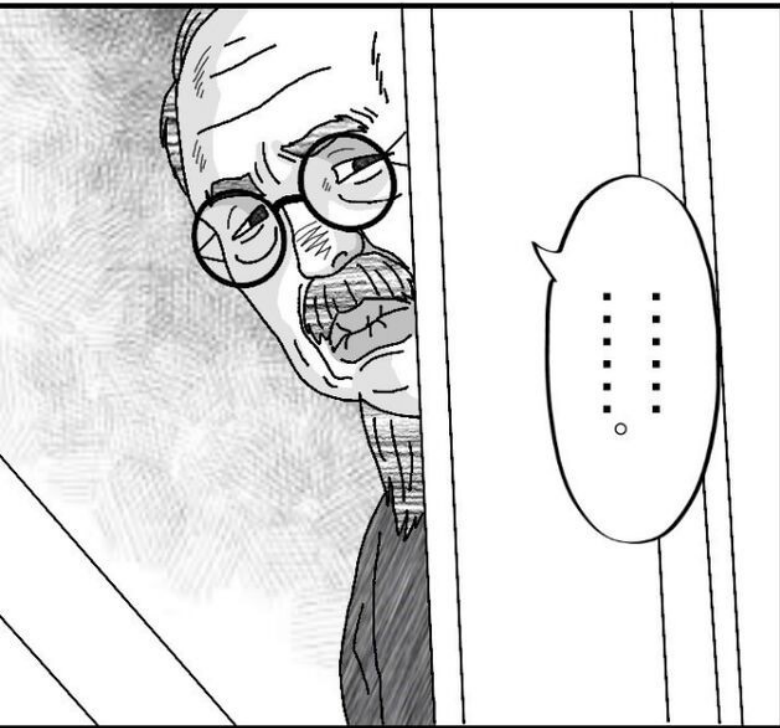


……



必要なもの全部入れて
おいたから、行って
らっしゃい。

じゃあ、出張に
行ってくるわ。



.....

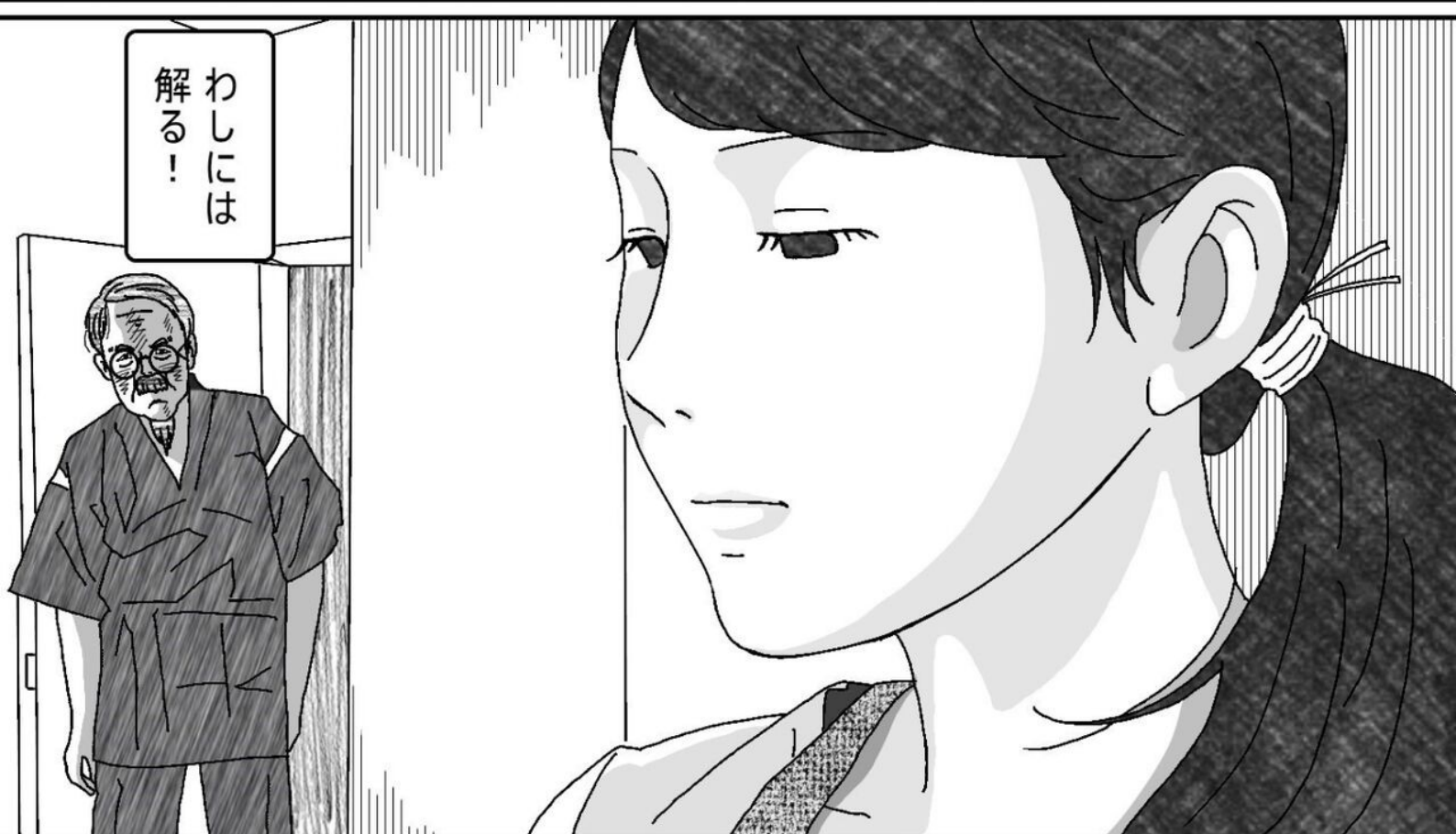
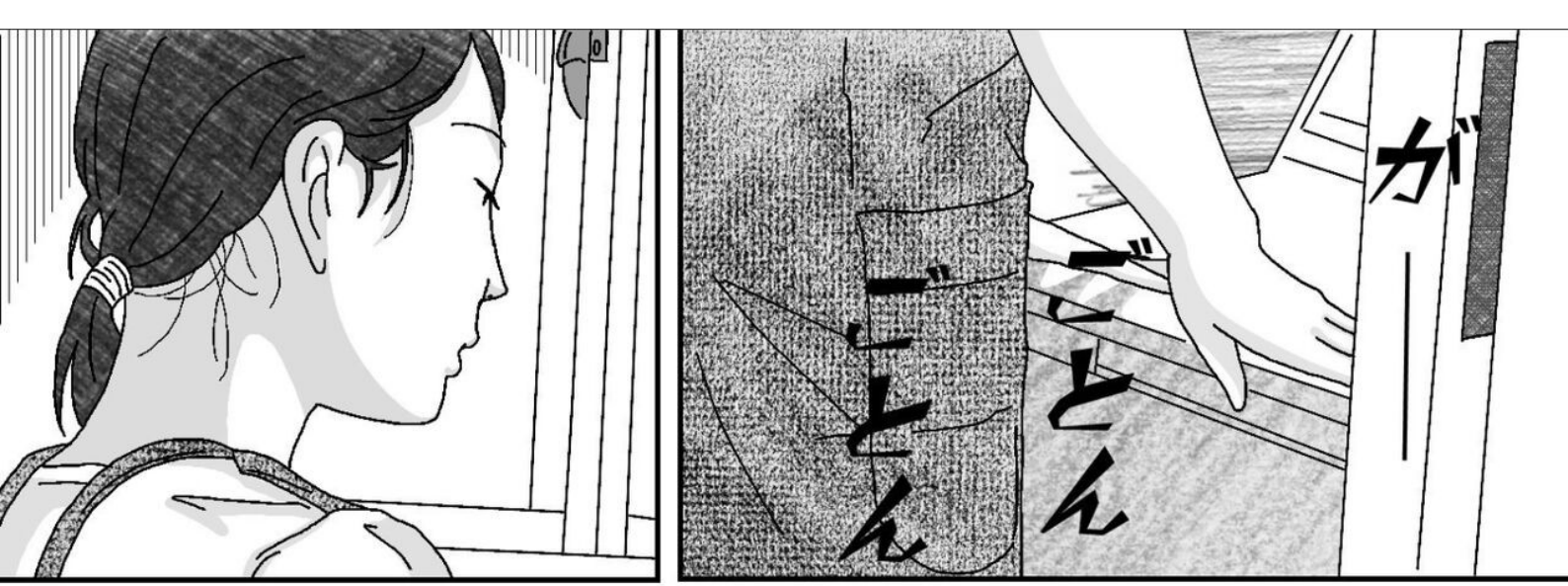


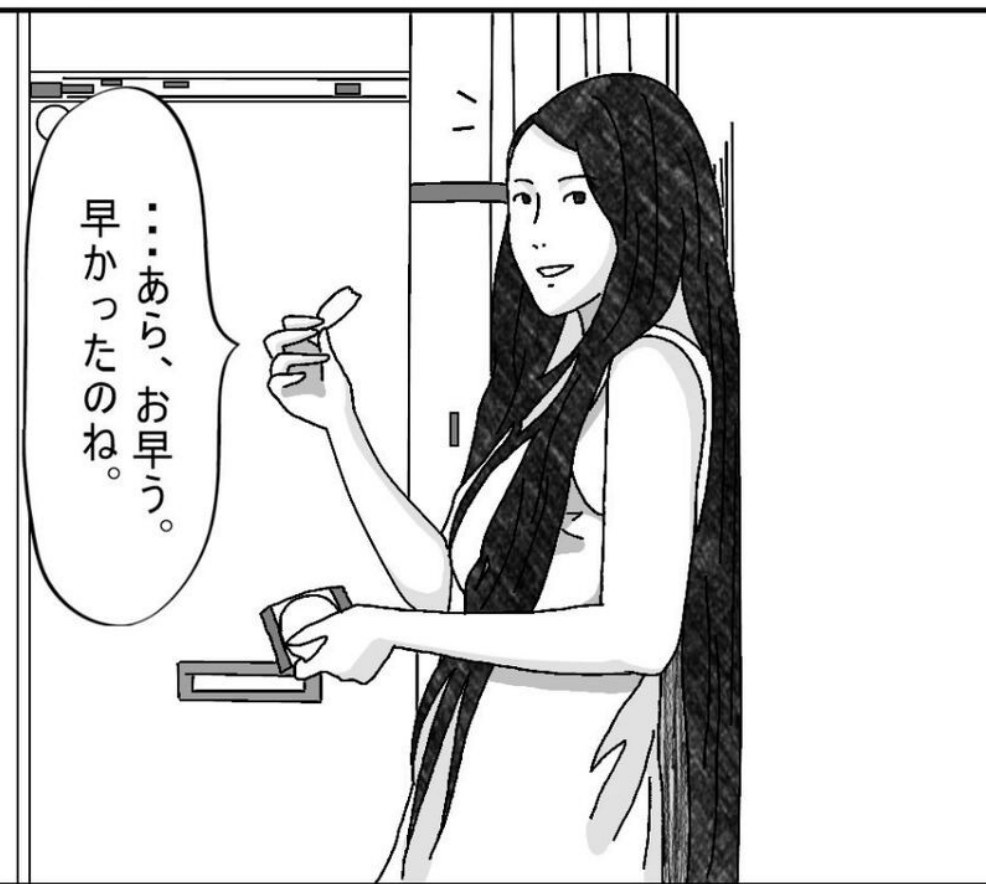
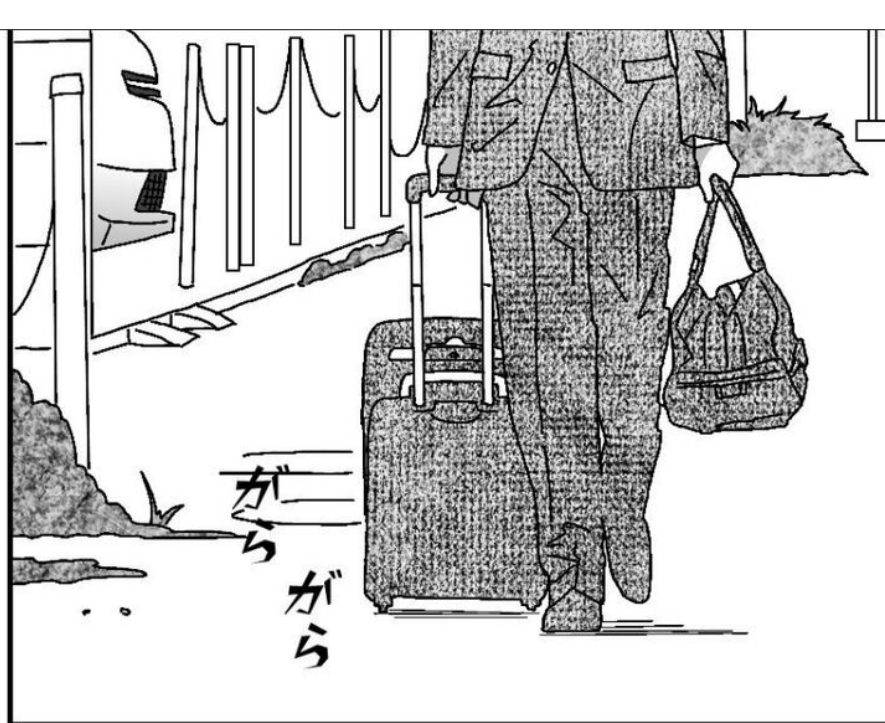
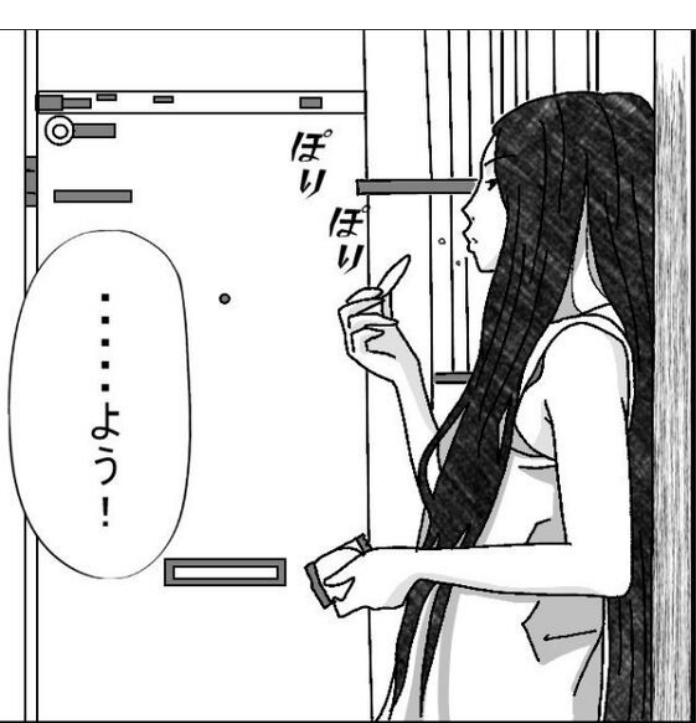
ばたん



欲求不満。

あの顔は、
間違いなく





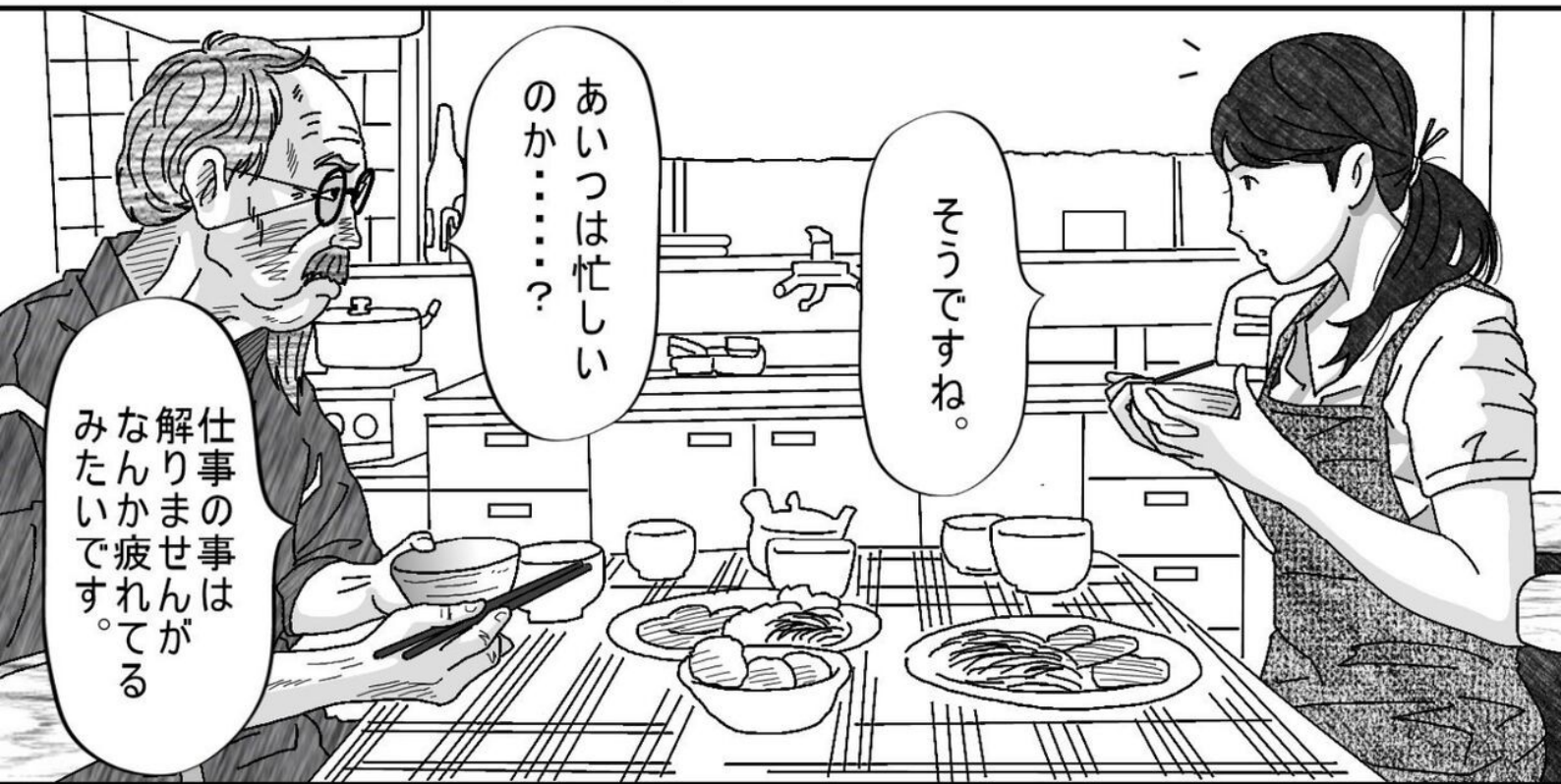


また、
二人きり
だねえ。



もぐ
もぐ

ゴト



あいつは忙しい
のか……？

そうですね。

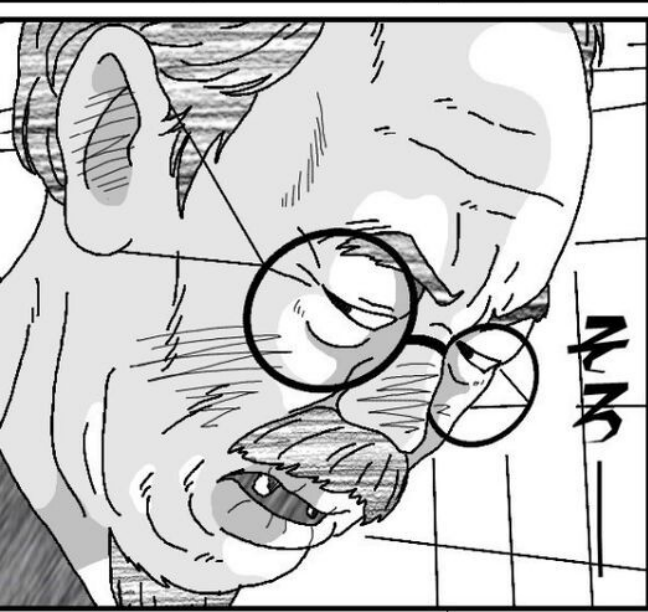
仕事の事は
解りませんが
なにか疲れてる
みたいで



ご馳走様でした、
お風呂入りますね。

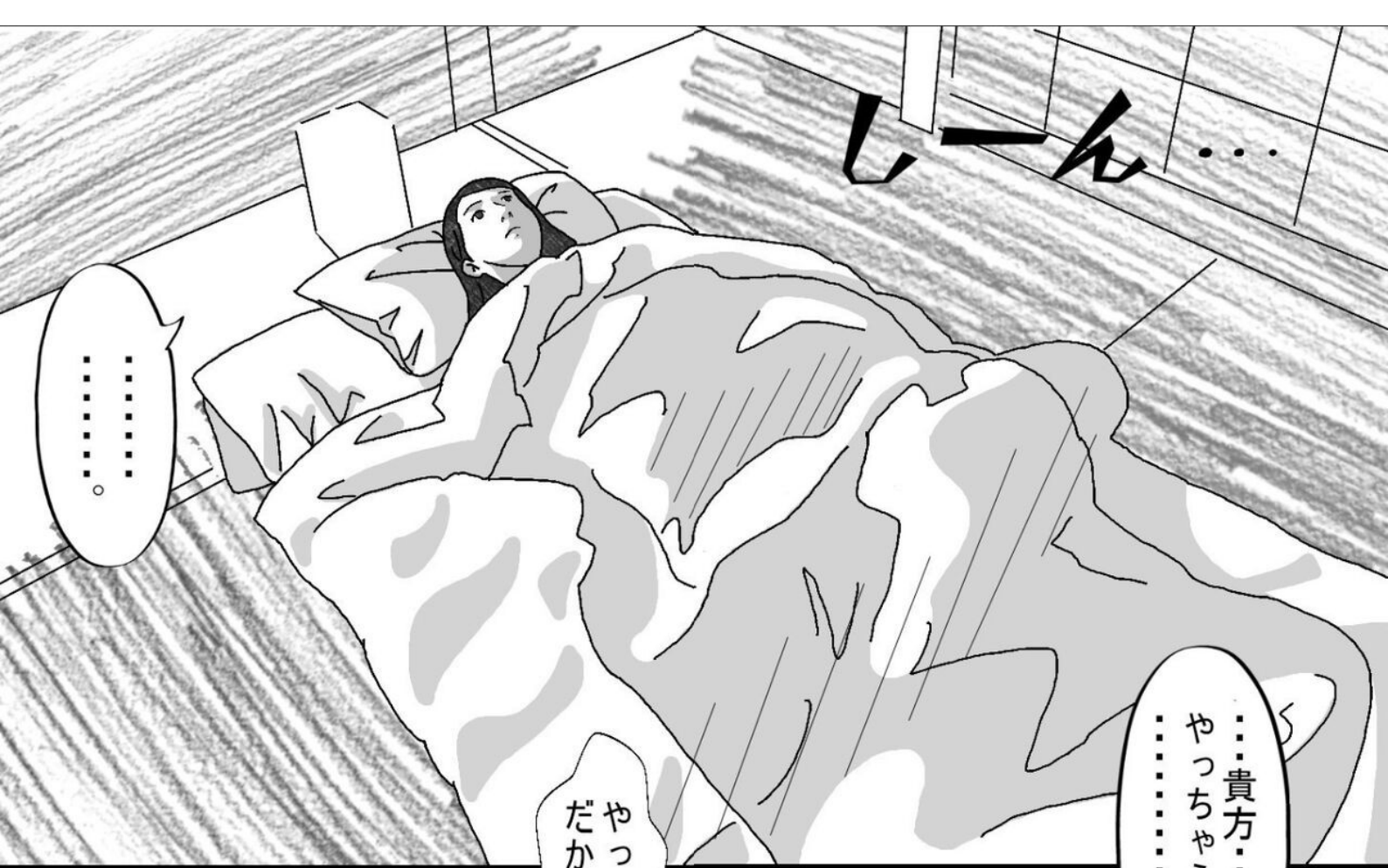
食器はそのままに
しておいてください。

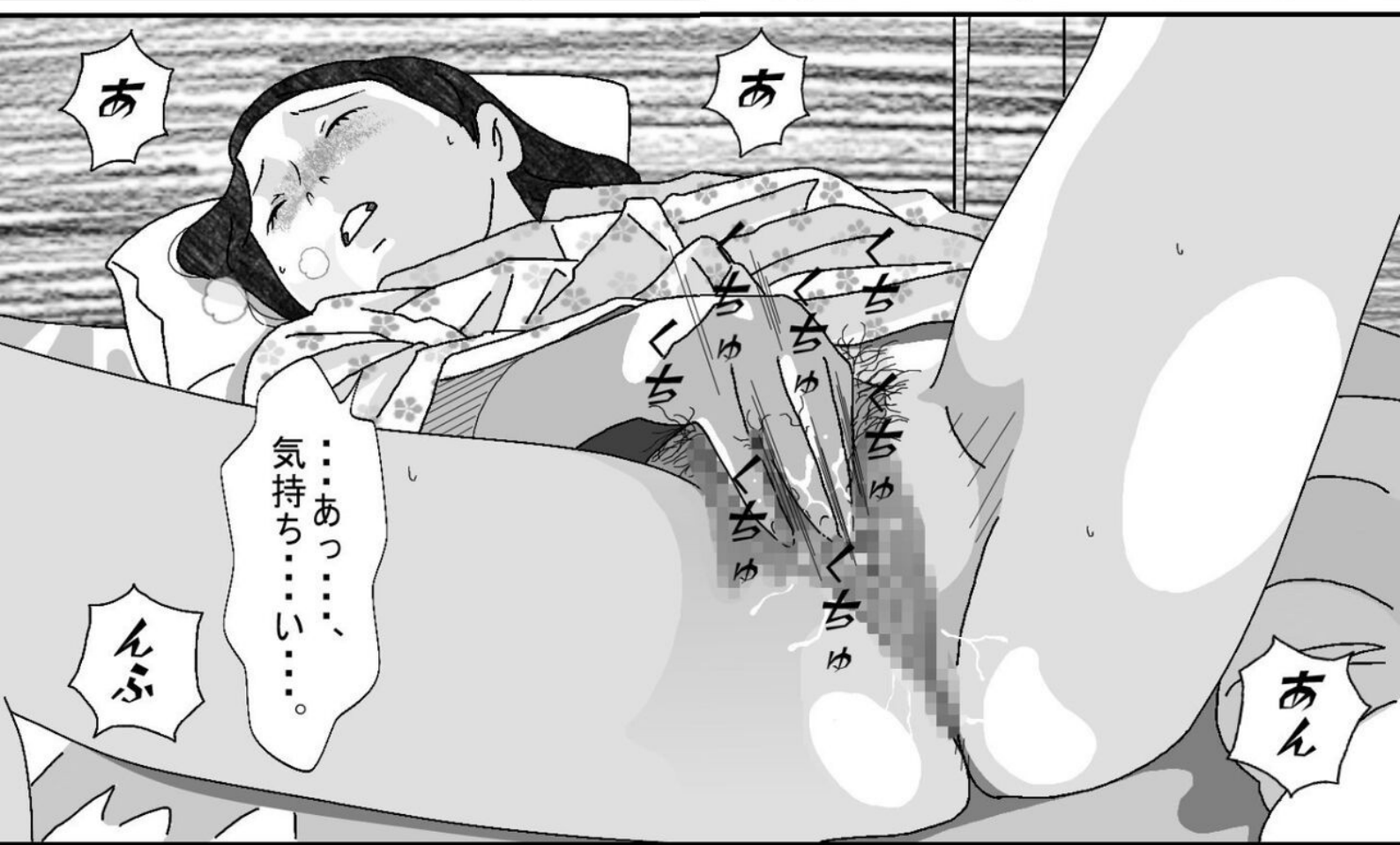
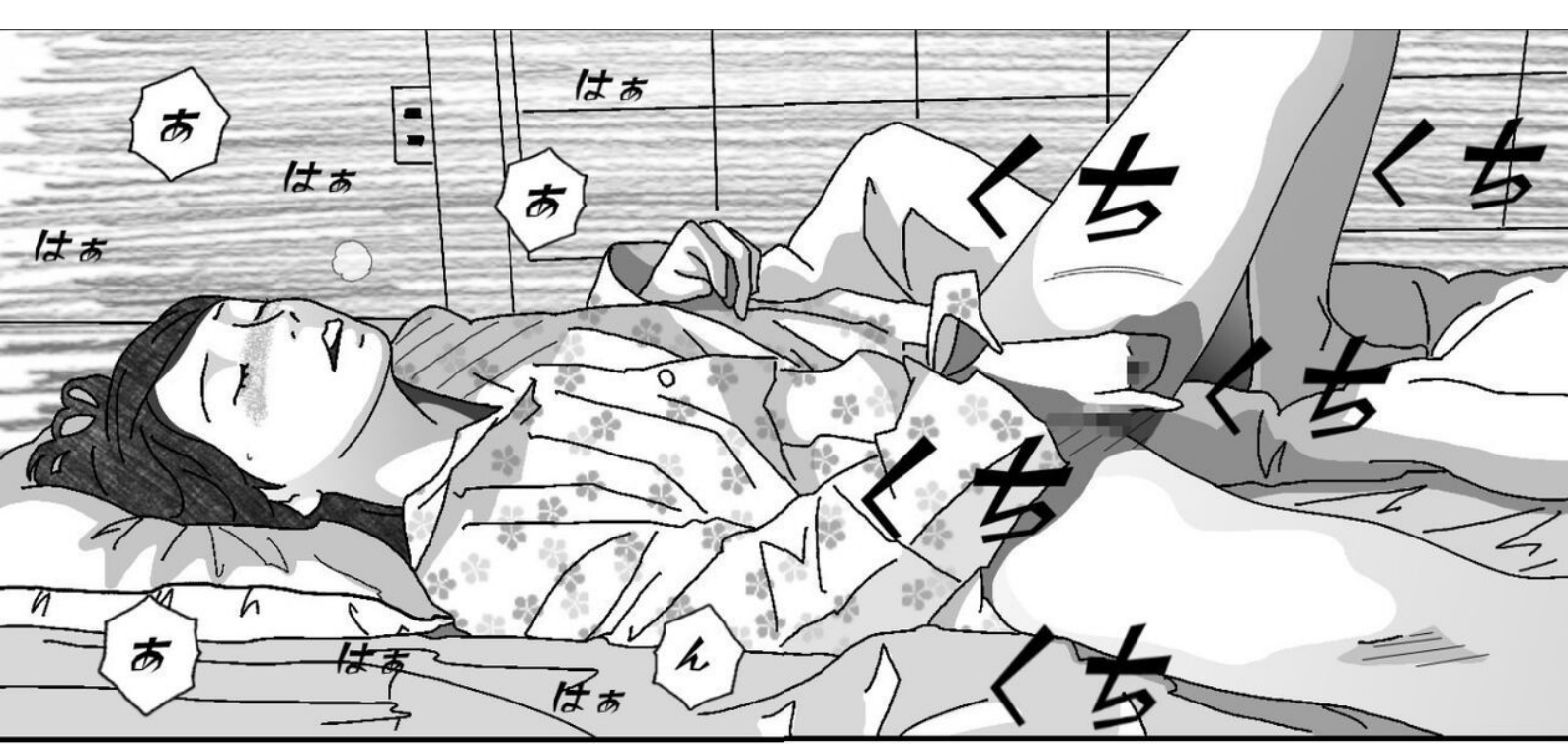
ああ……



.....せっぴりか.....









そうか、
分かった！
あんたが心配
なんじゃ！

はあ！
チクショウ！
お休み……！！

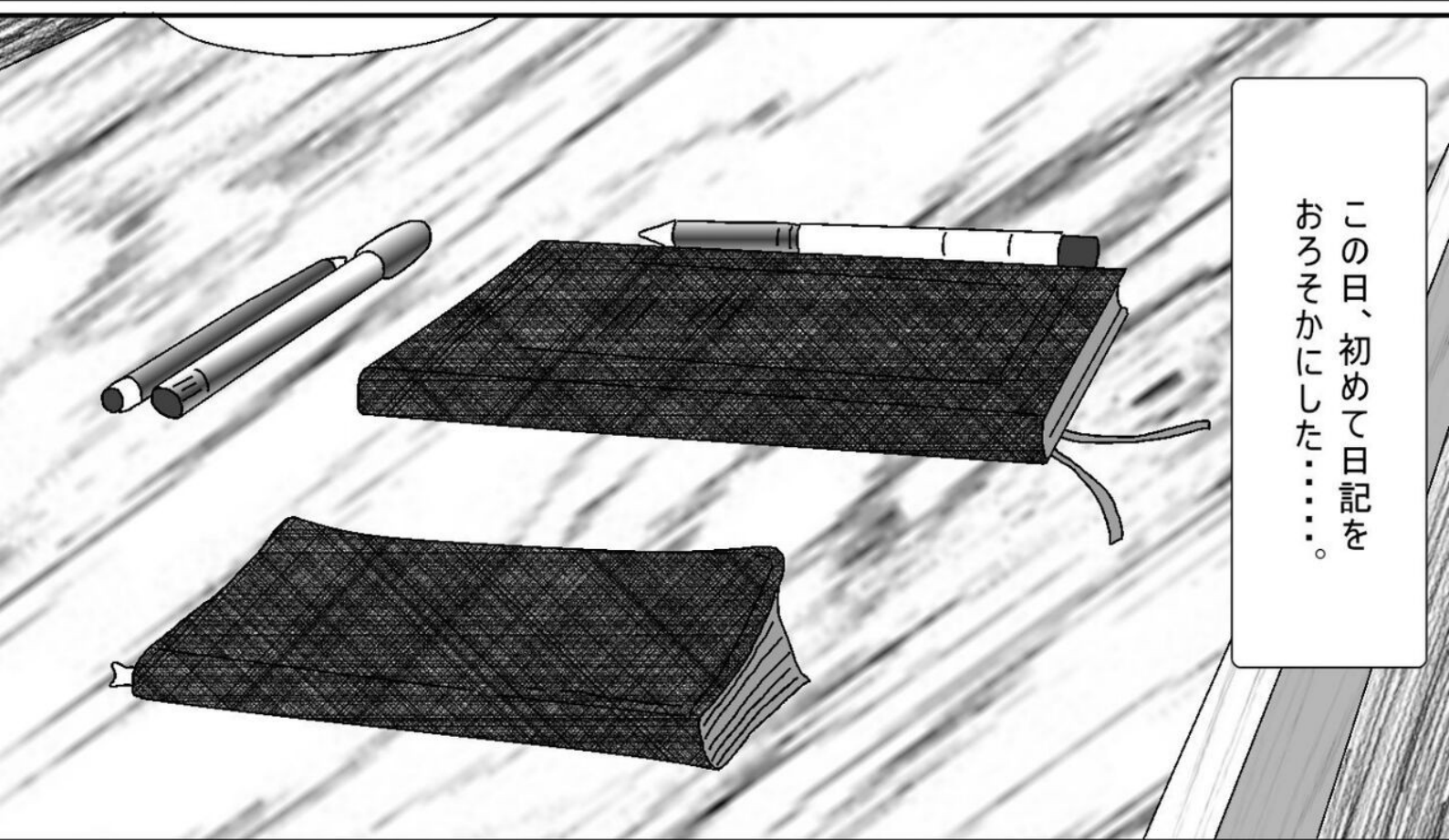
はあ

はあ

……
。

……
うう……。

あ
あ
あ
……



そして翌週……



ああ...、悪いな。

鞆に下着入れといたから。



もう少し経てば、
仕事楽になるん
だけども...

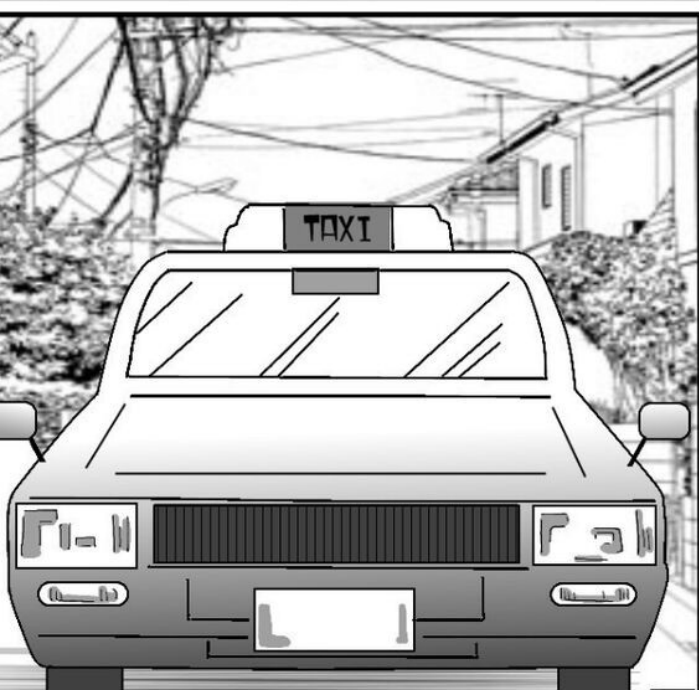
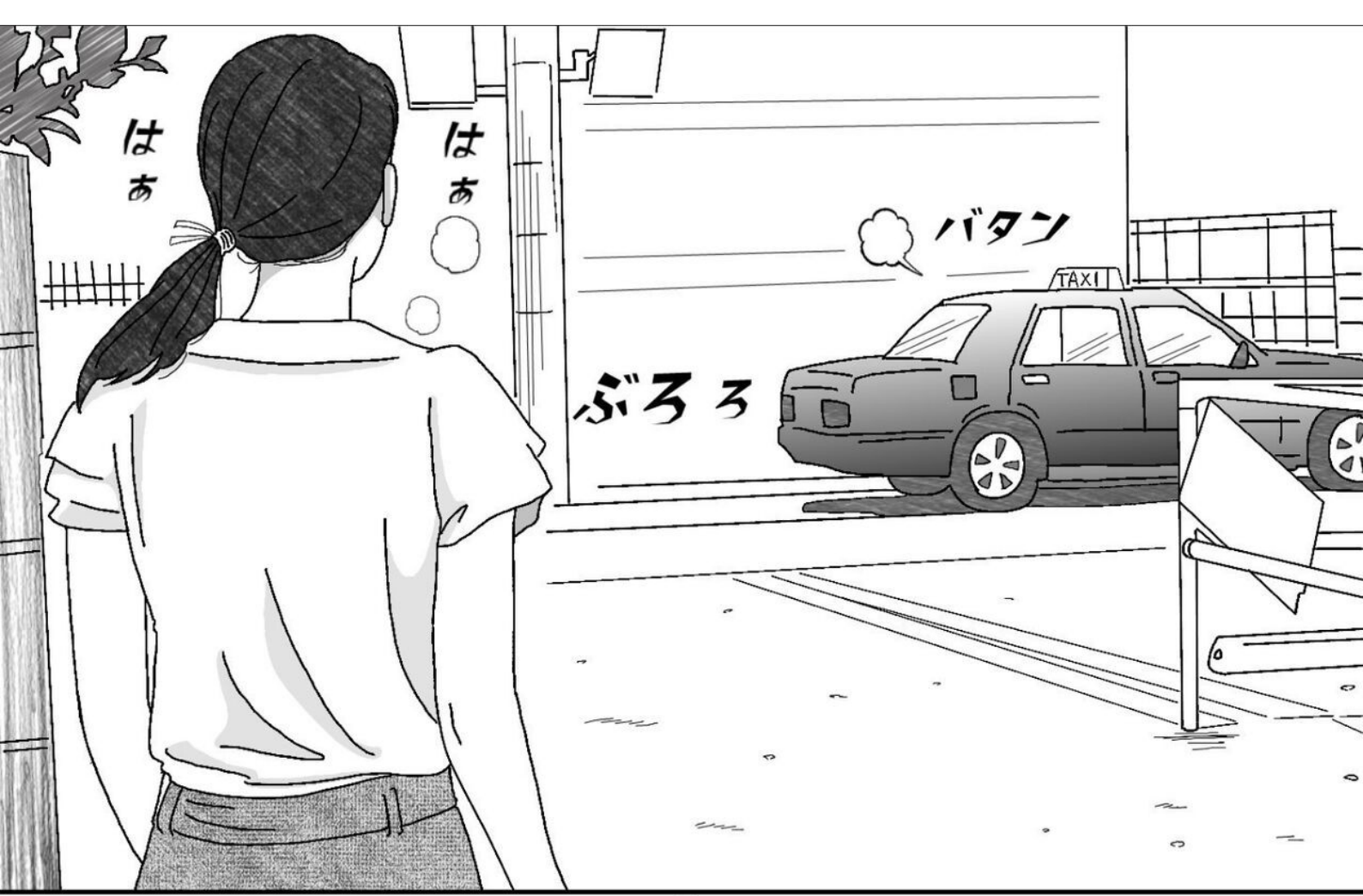
疲れてる？

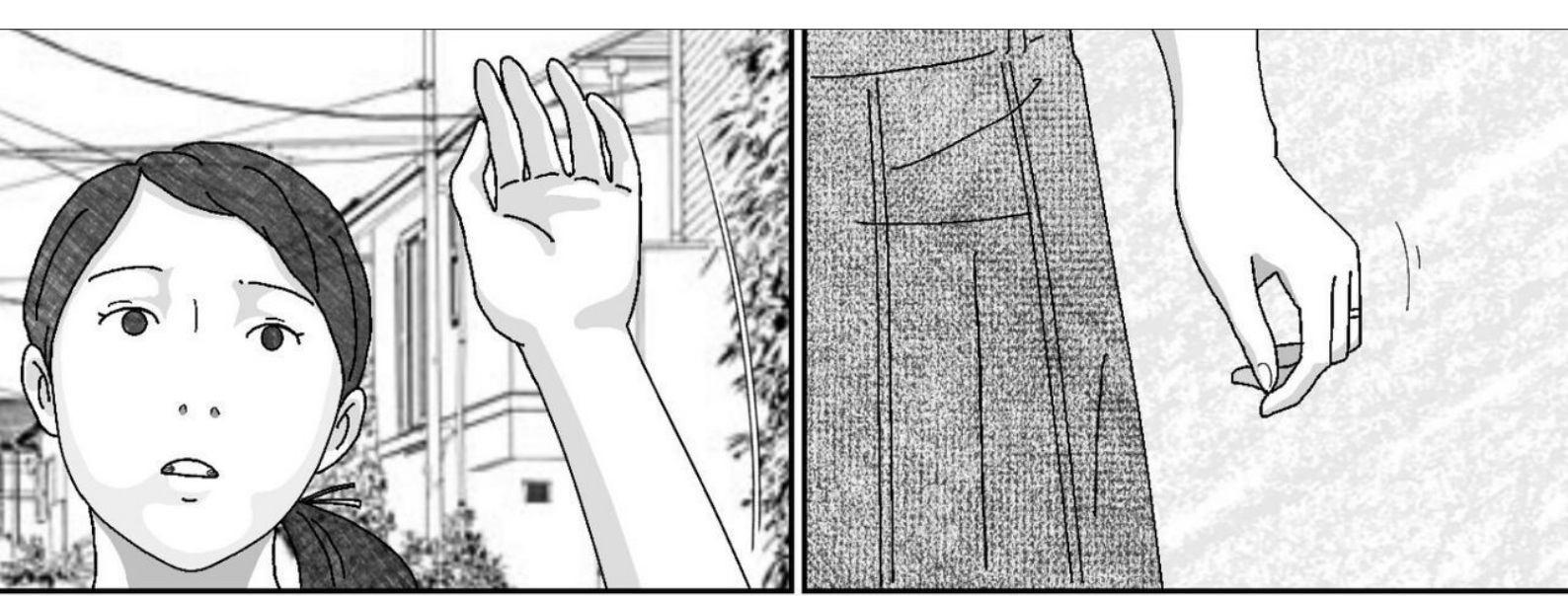
ぱち




...










麗子さんが家に来て
三年が過ぎた。
こんなに気立ての良い
美人の嫁を連れて来る
とは我が息子ながら
感謝している。

……だが、息子が
麗子さんを悲しませ
て居るといふのなら
親の私が正さないと
いけない。



それなのに息子を
しかるにしかれない
私が居るのです。
麗子さんへの込上げて
来る欲望……。

マグマのように、
今にも噴火寸前で
もう親であろうが
なんだろうが
麗子さんとセックス
がしたい。



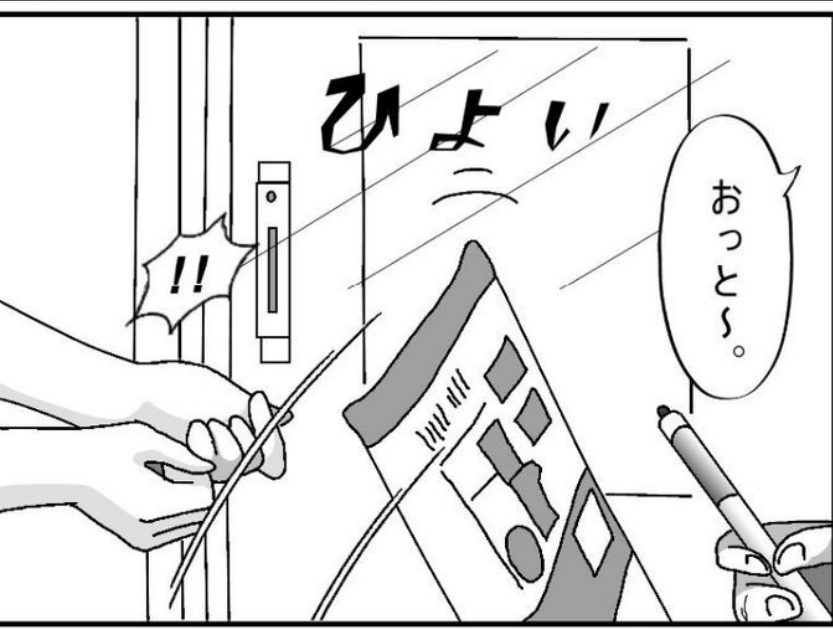
小包です。

はい、どちら様
ですかー？



あつ、どうも！
今日も綺麗ですね。
奥さんみたいな人と
不倫してみたいな。

サインしたいので
早く下さい。



おっと。



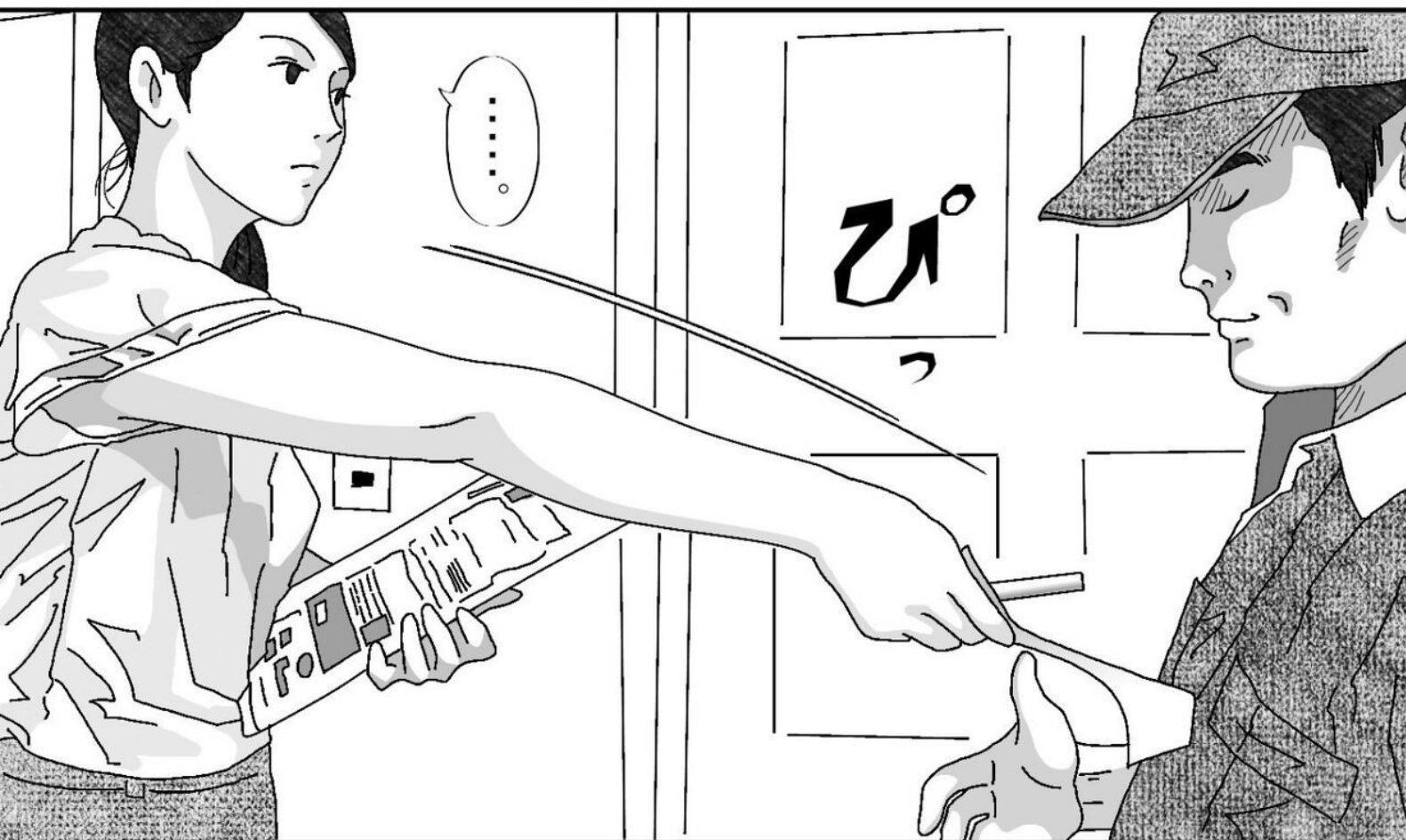
あ、すいません
ハイ！

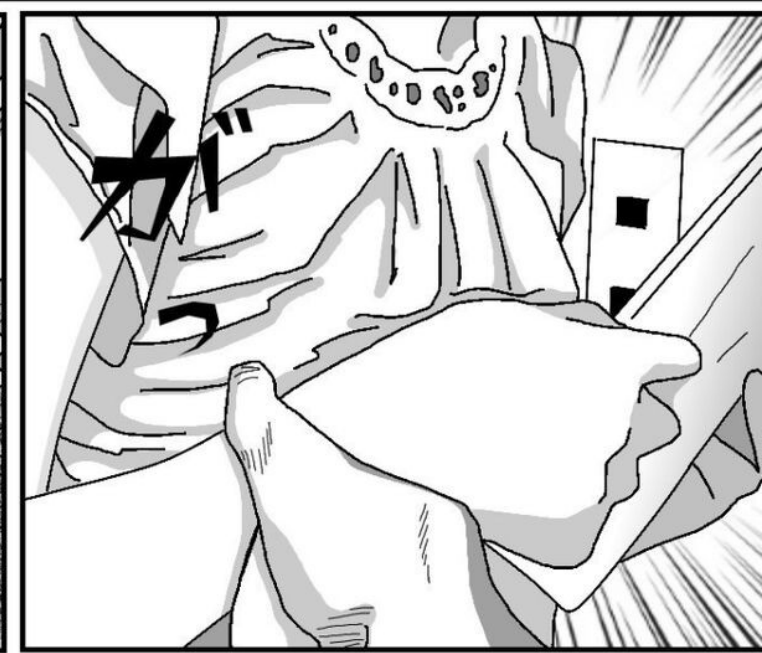
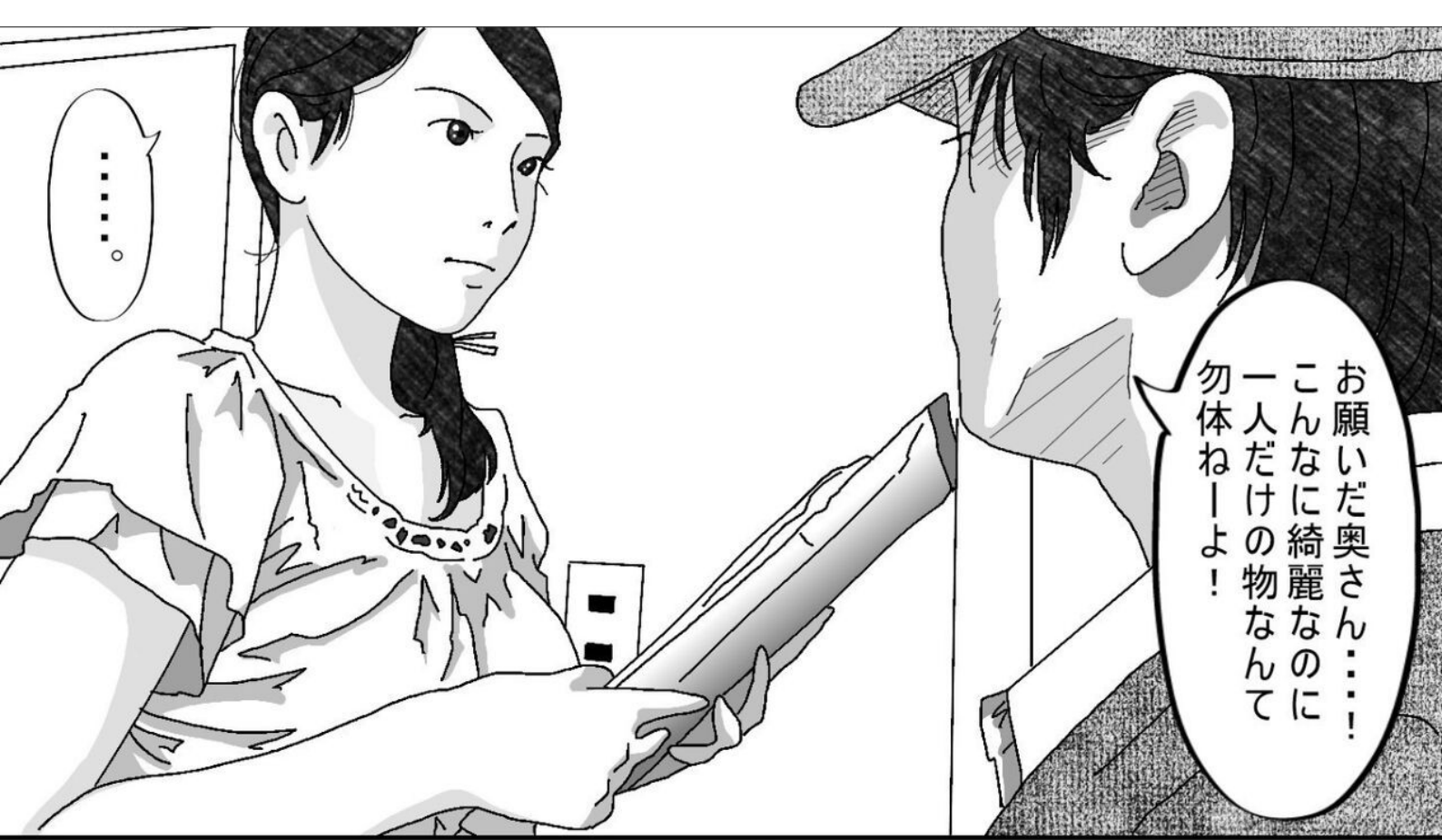


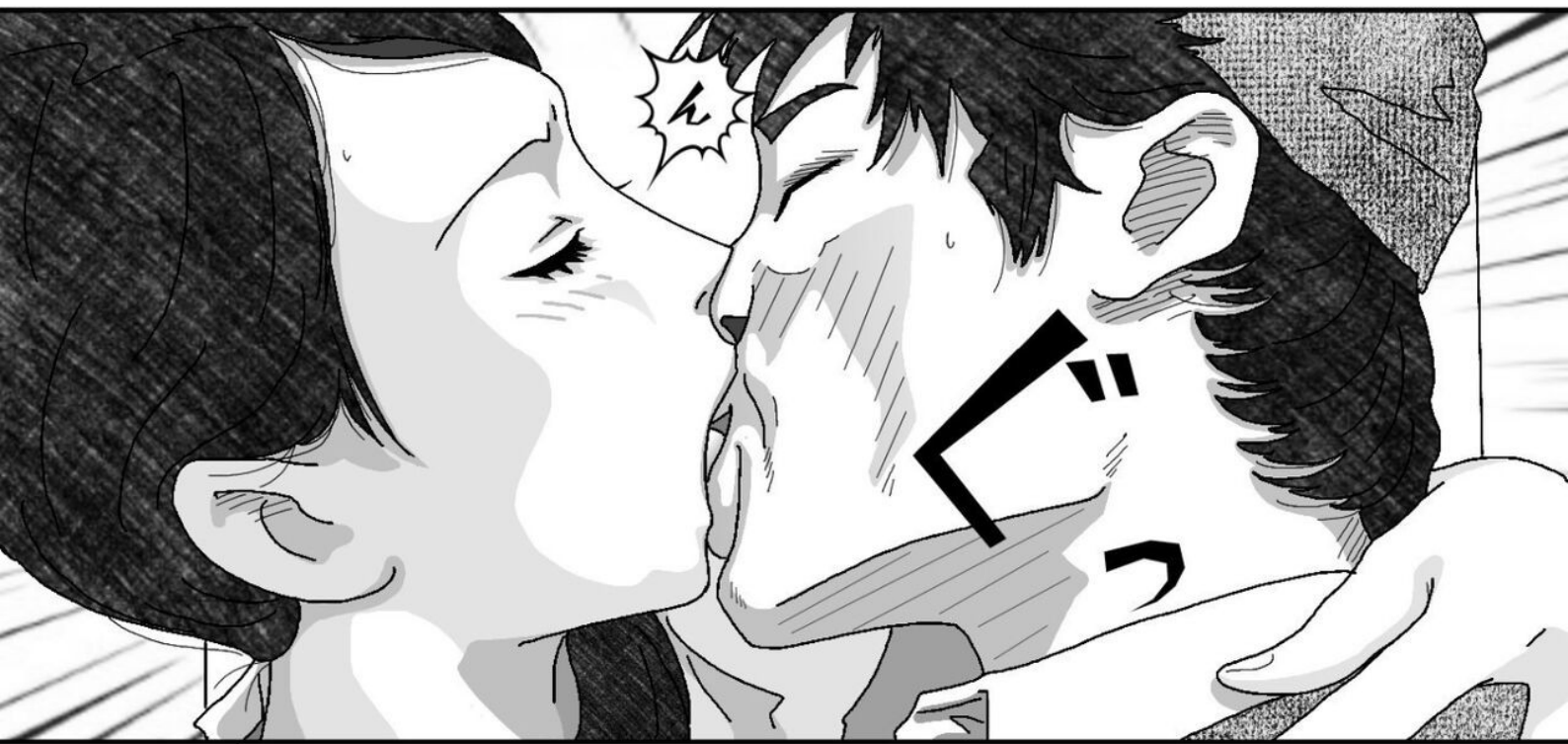
そうやってツンツン
してる顔凄くソッソ
ルんだけどなあ。



何なんですか？









奥さん……、
俺のしゃぶって。

ん ふうん
ぶちゅちゅ
じゅる



……早く舐めて。

すっ
はあ
はあ



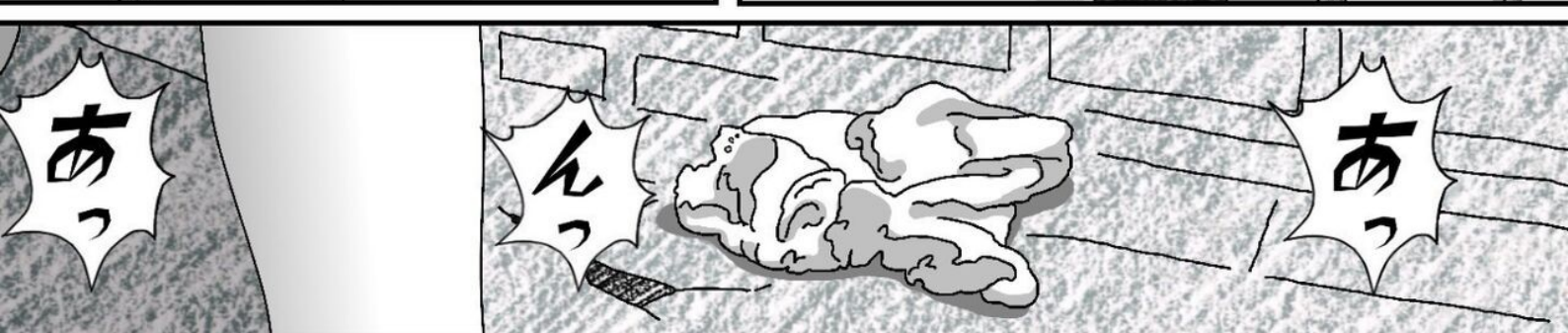
ぶるん



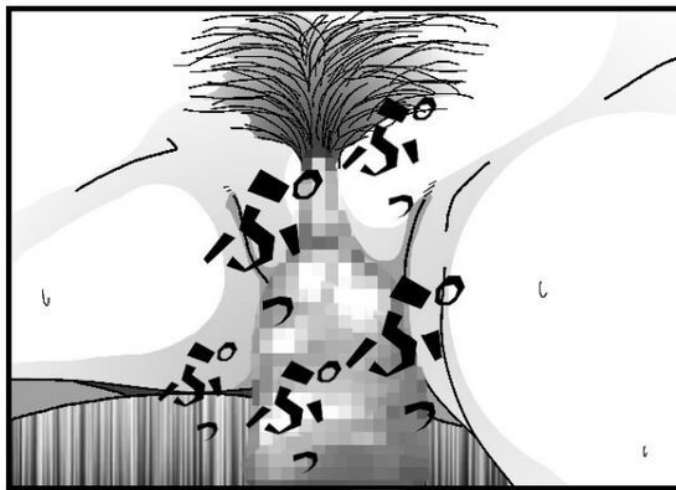
ぐっ



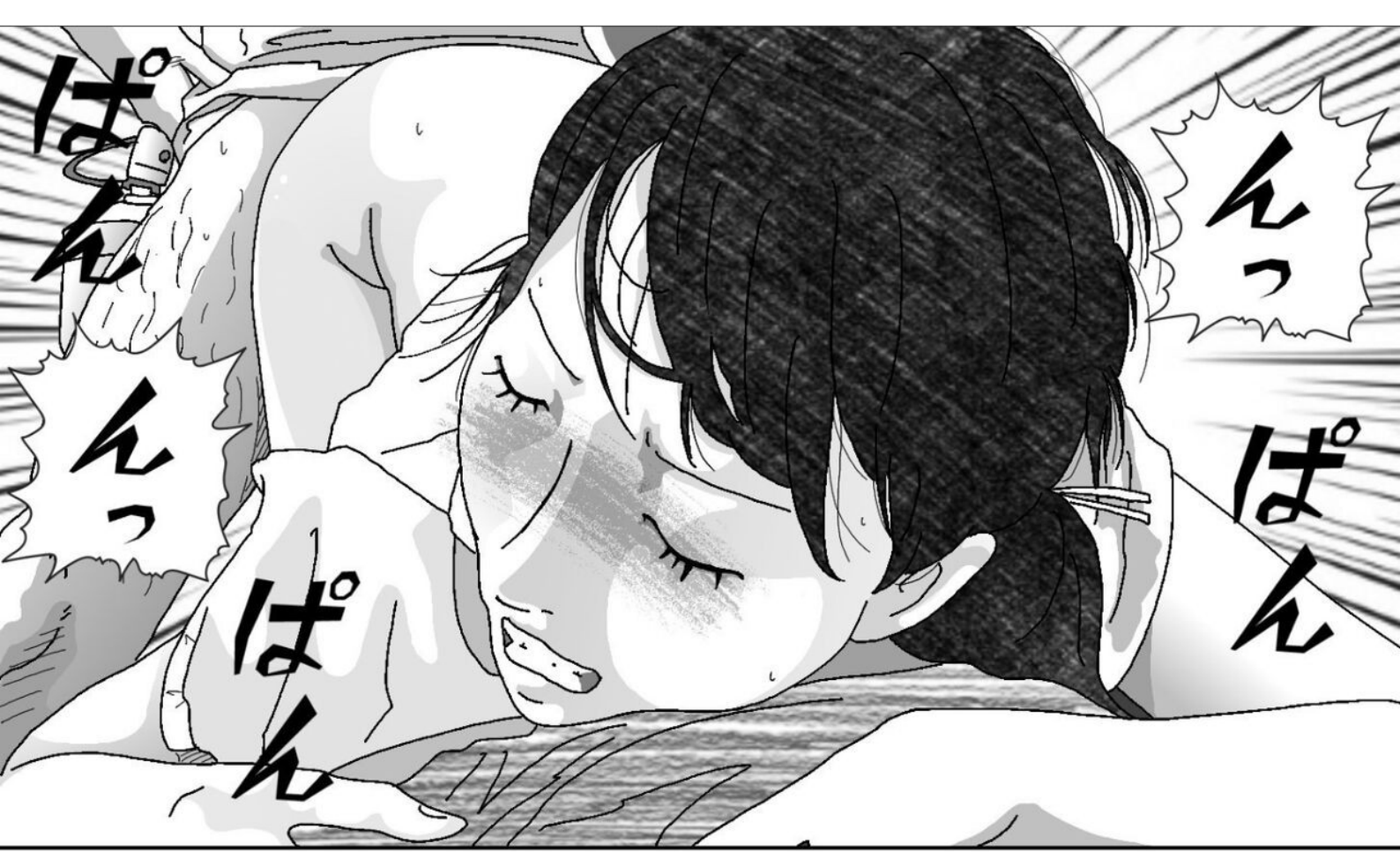








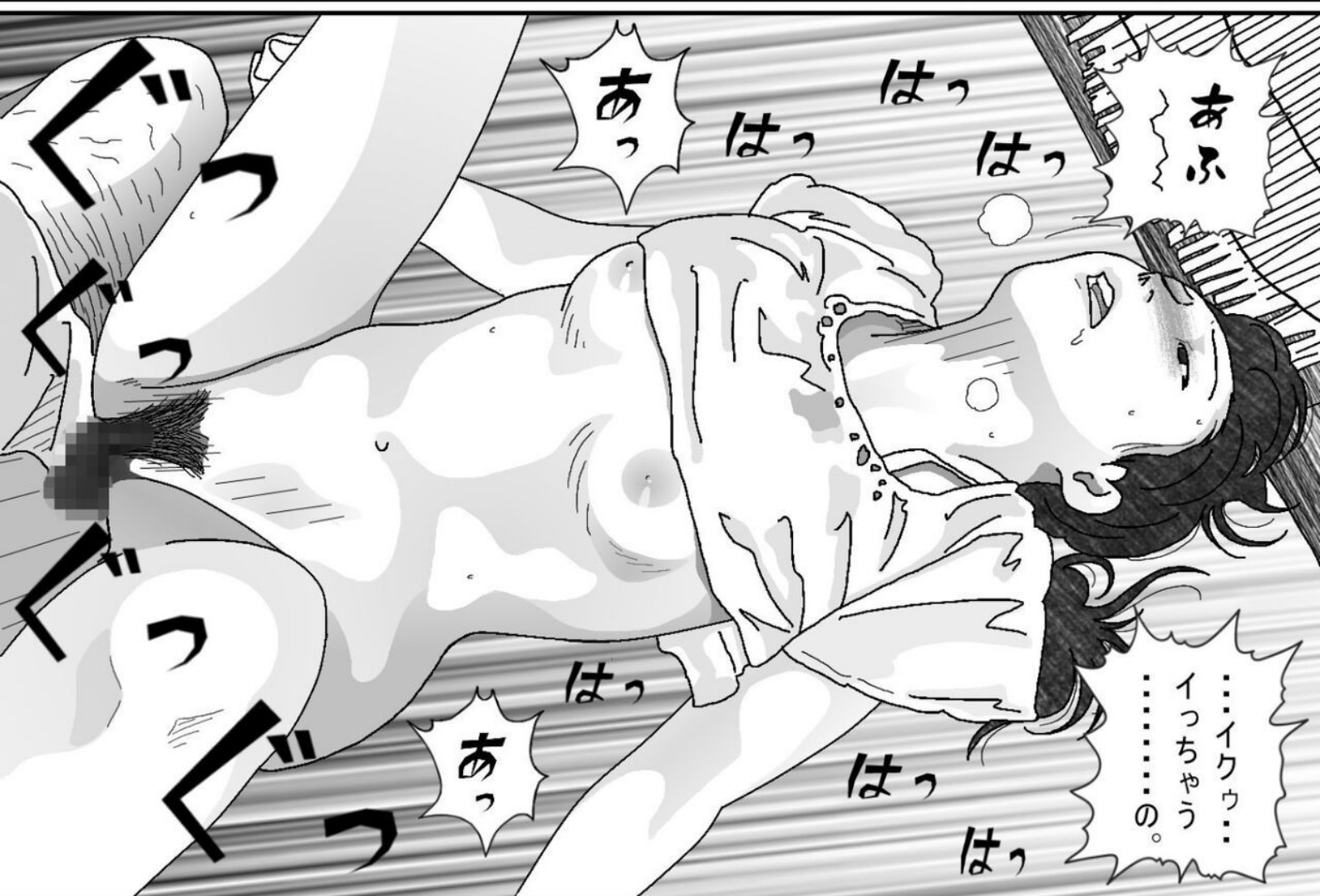




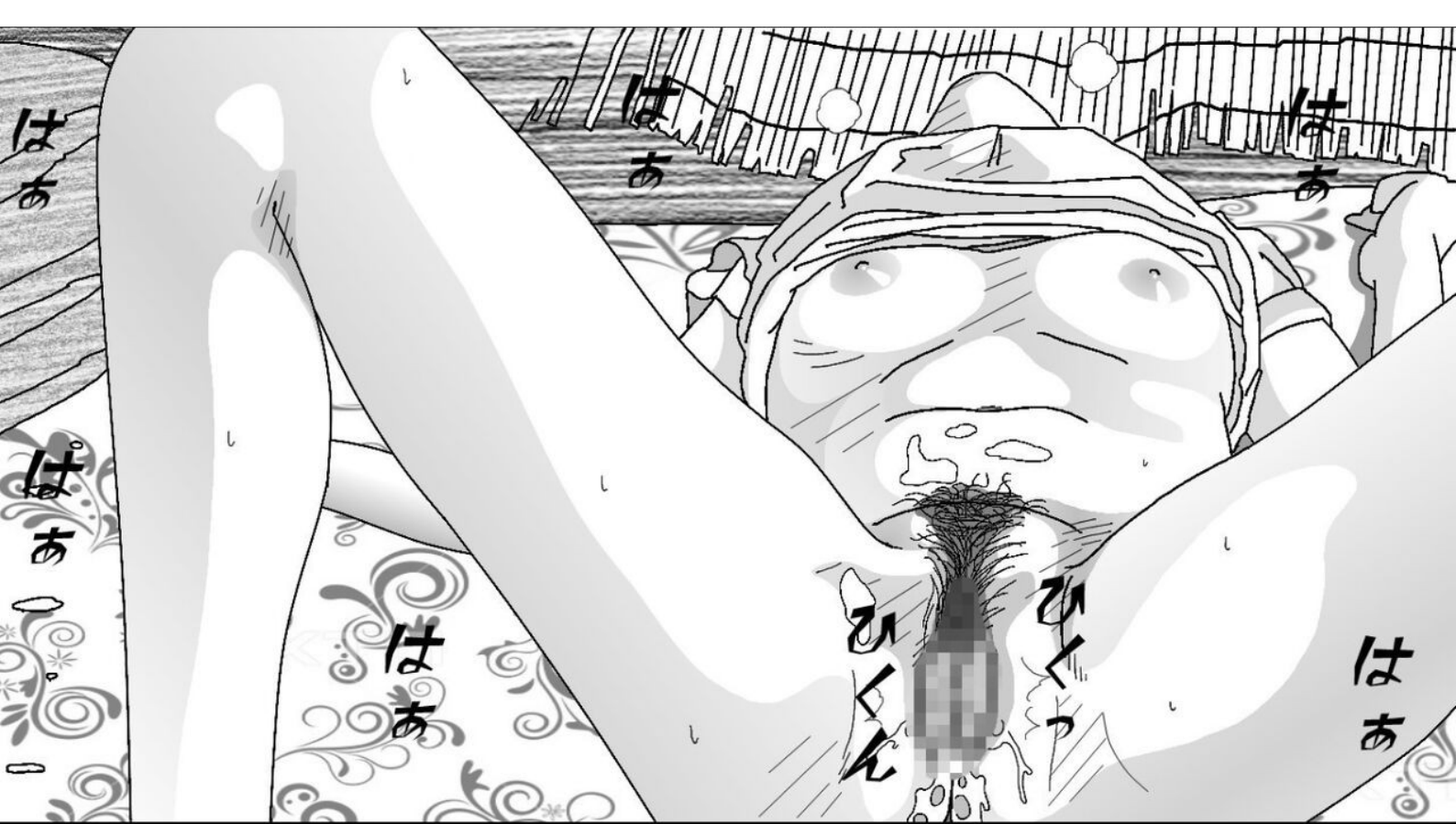


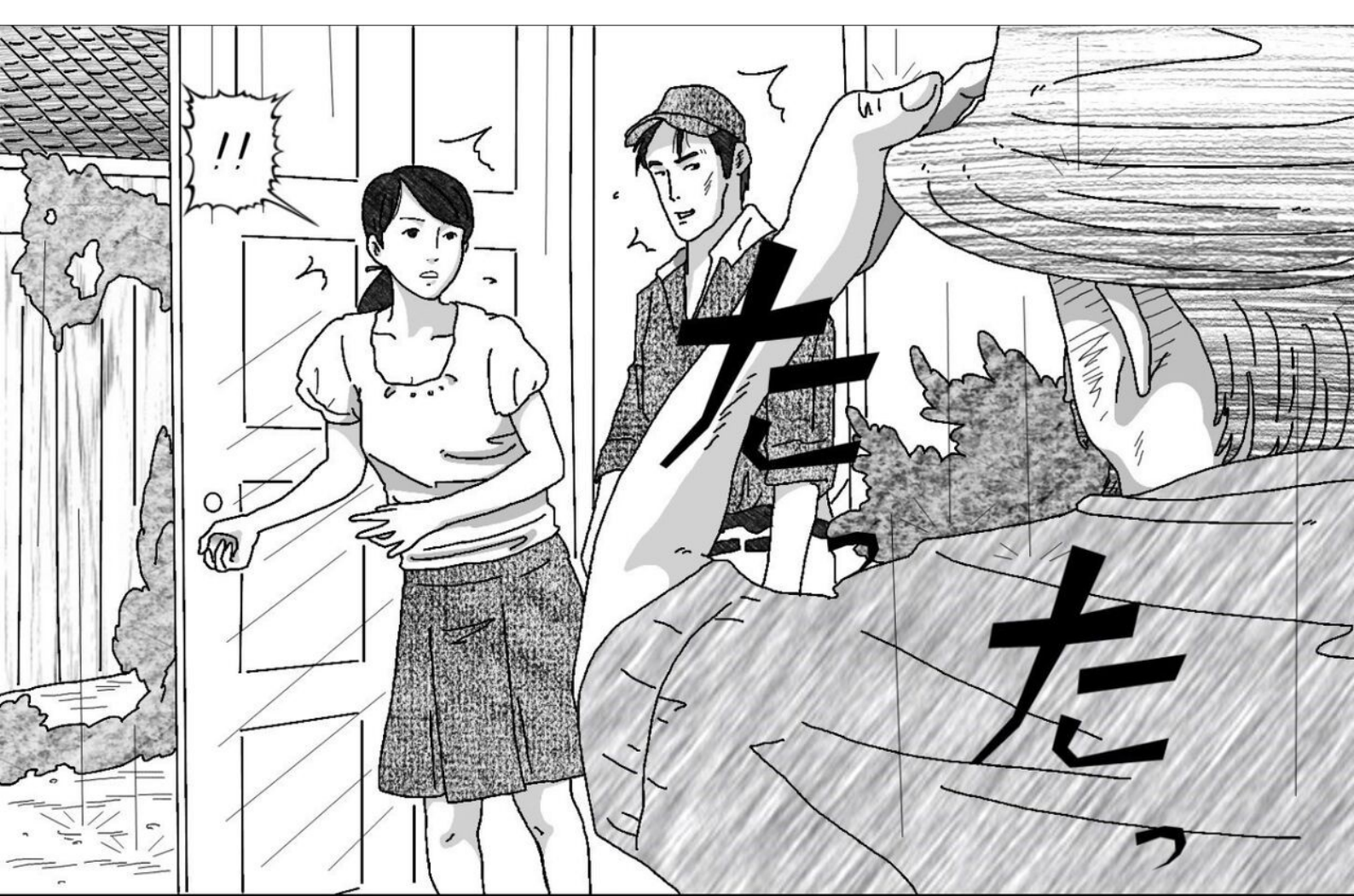
どうだい？
奥さん。
子宮にゴングン
当たってるぜ！

…奥に
当たって
…気持ち
…いい！



…イクウ…
イっちゃうの。

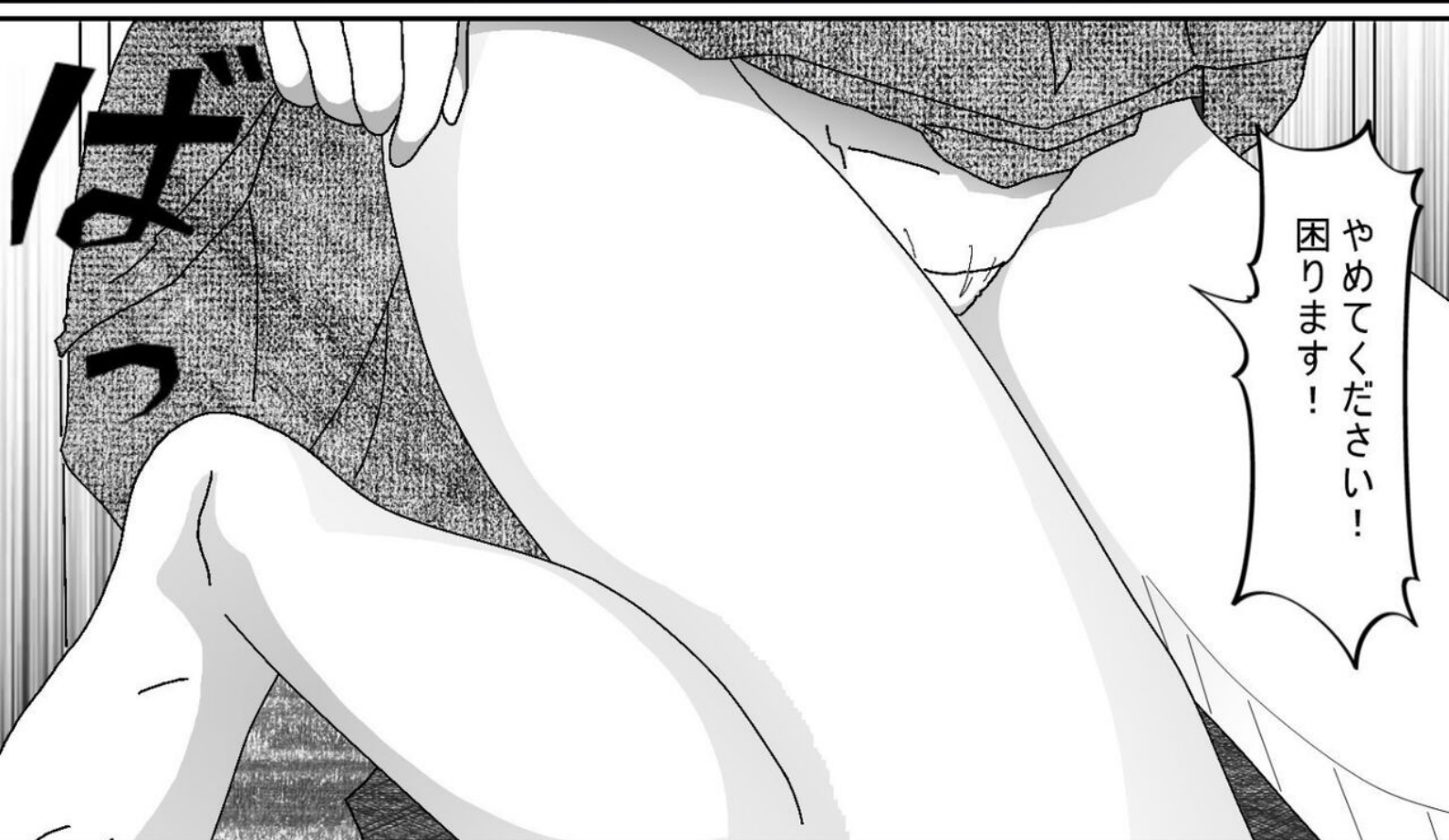


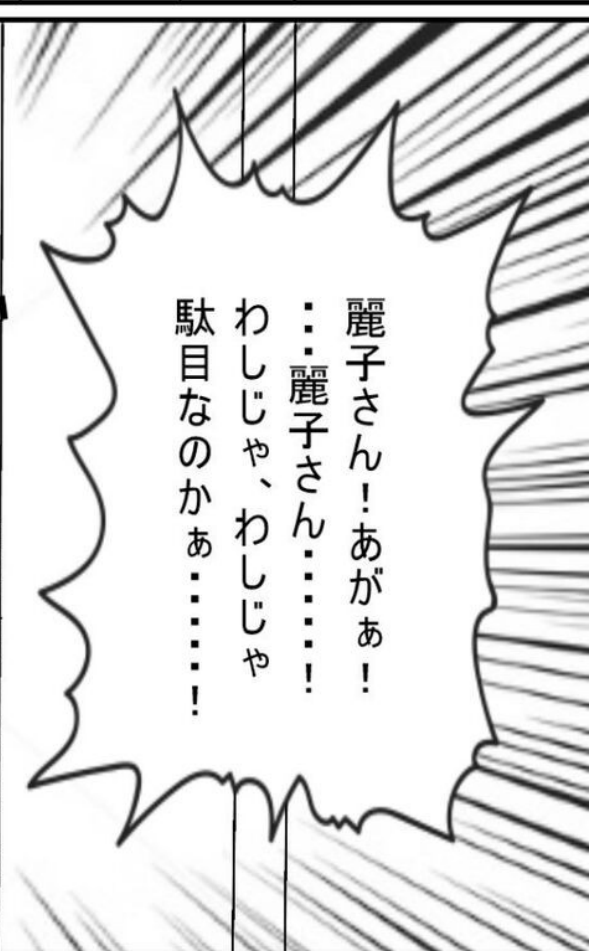


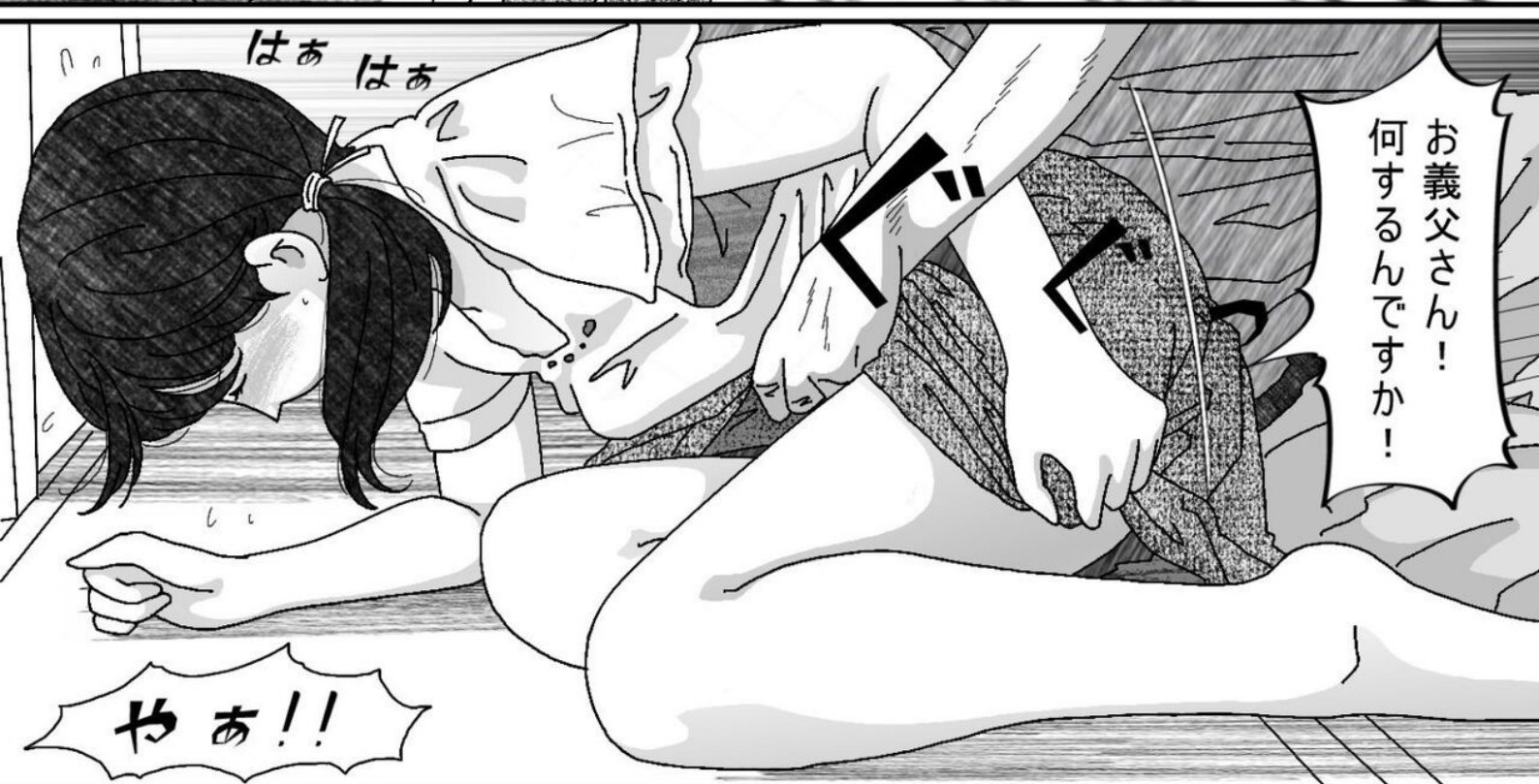
















...頼む!
麗子さん!

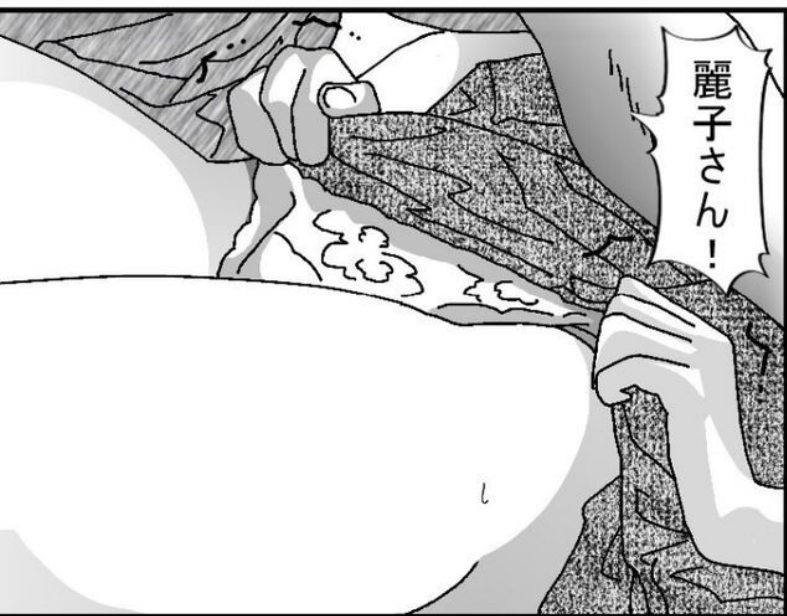
あぁ...!
やぁぁ!
やめて
下さい!

はあ

はあ

はあ

はあ



麗子さん!



はあ

だめえ

はあ

くたあ



...もう、
知らない
.....

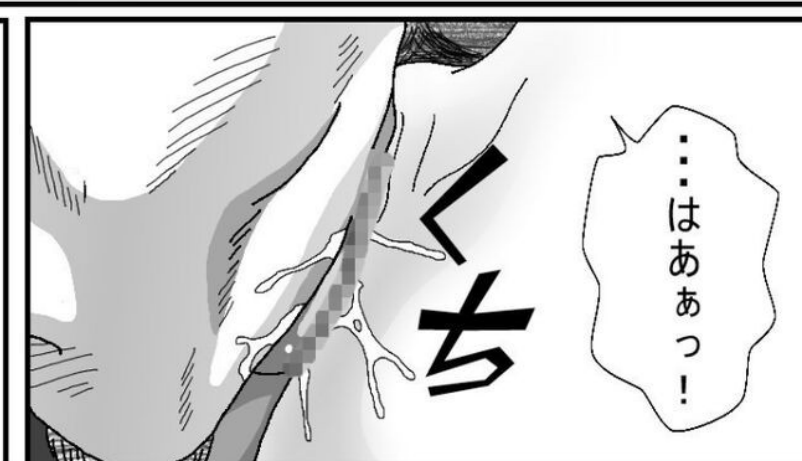
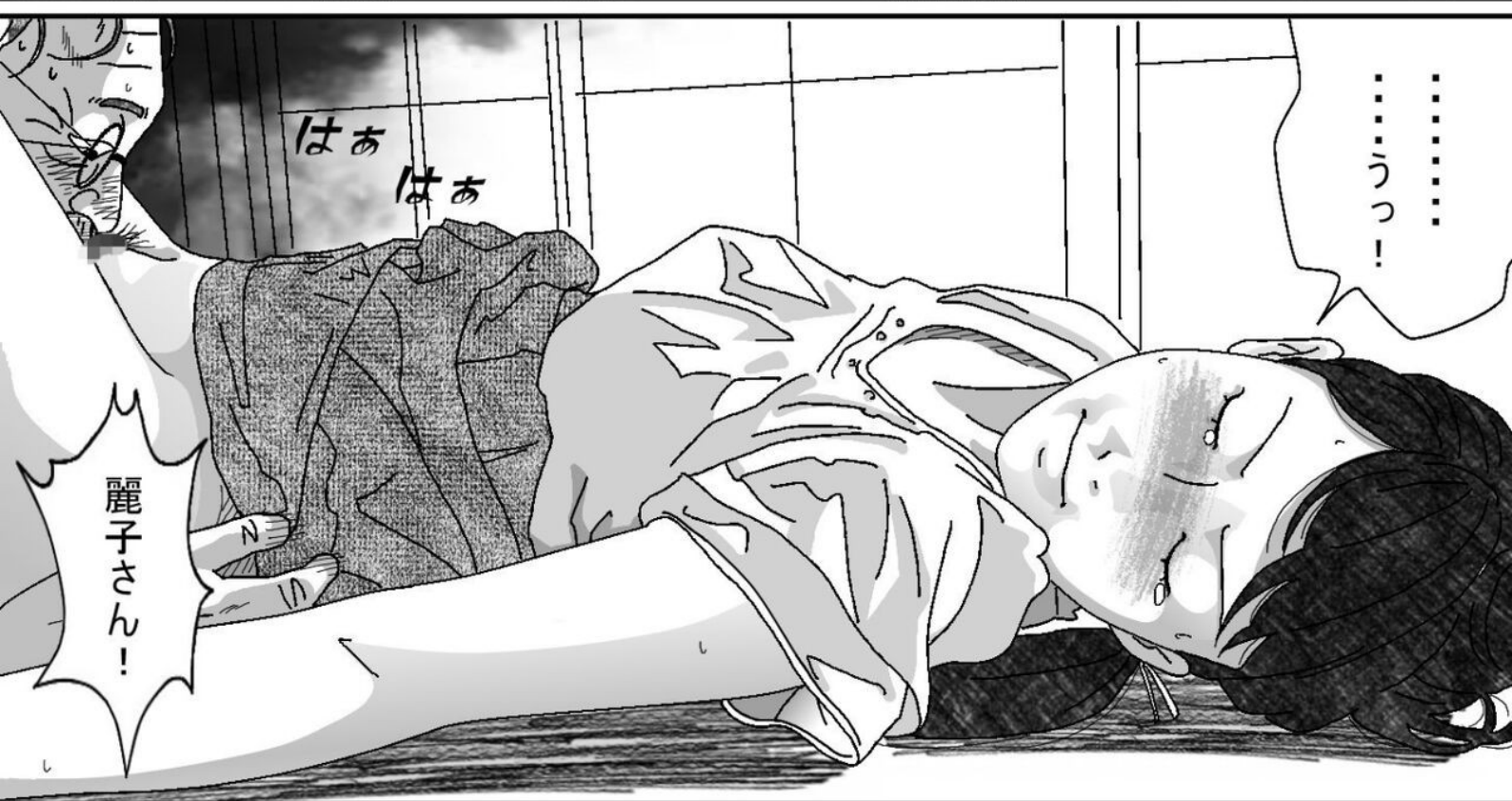
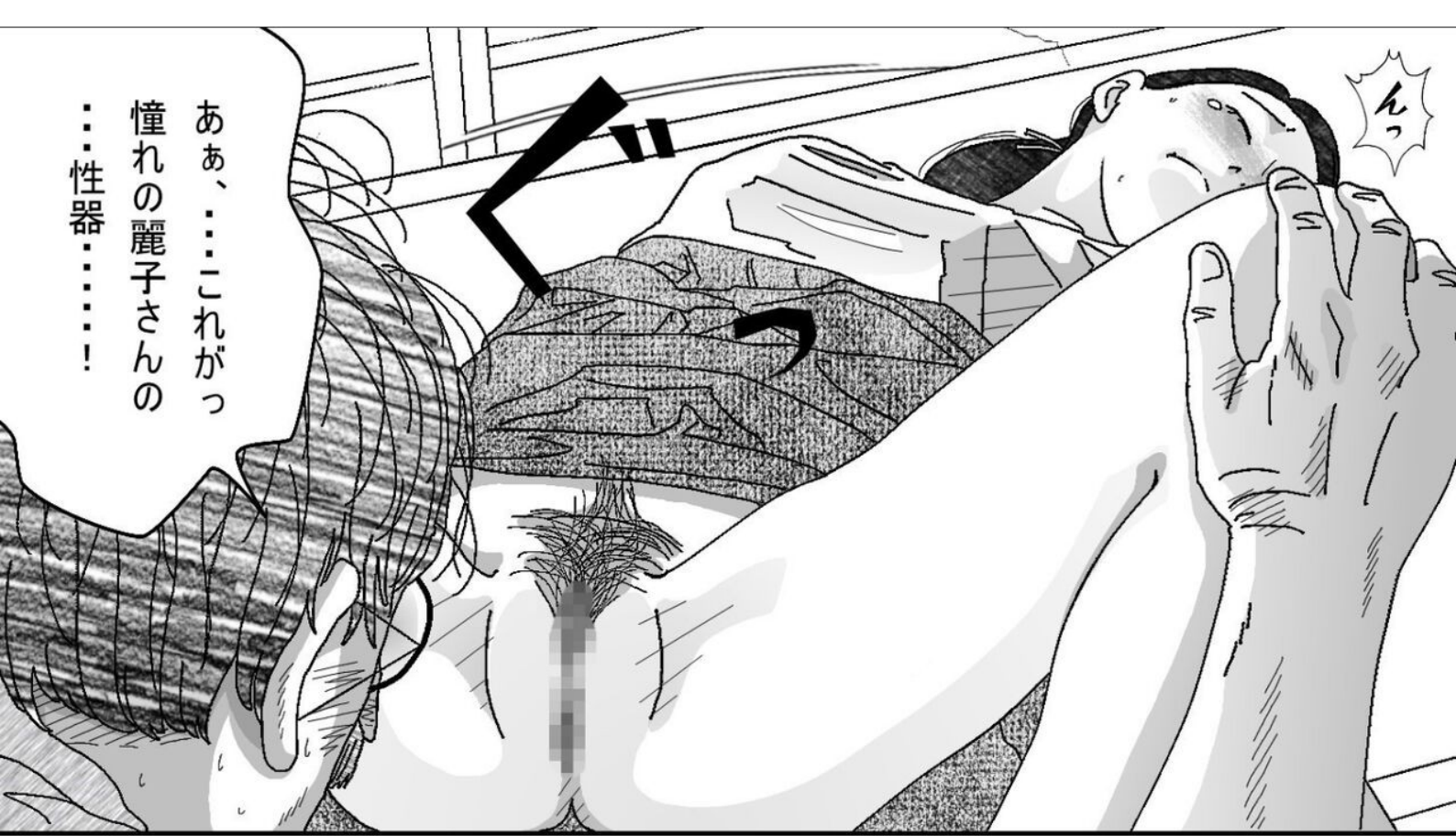


はあ

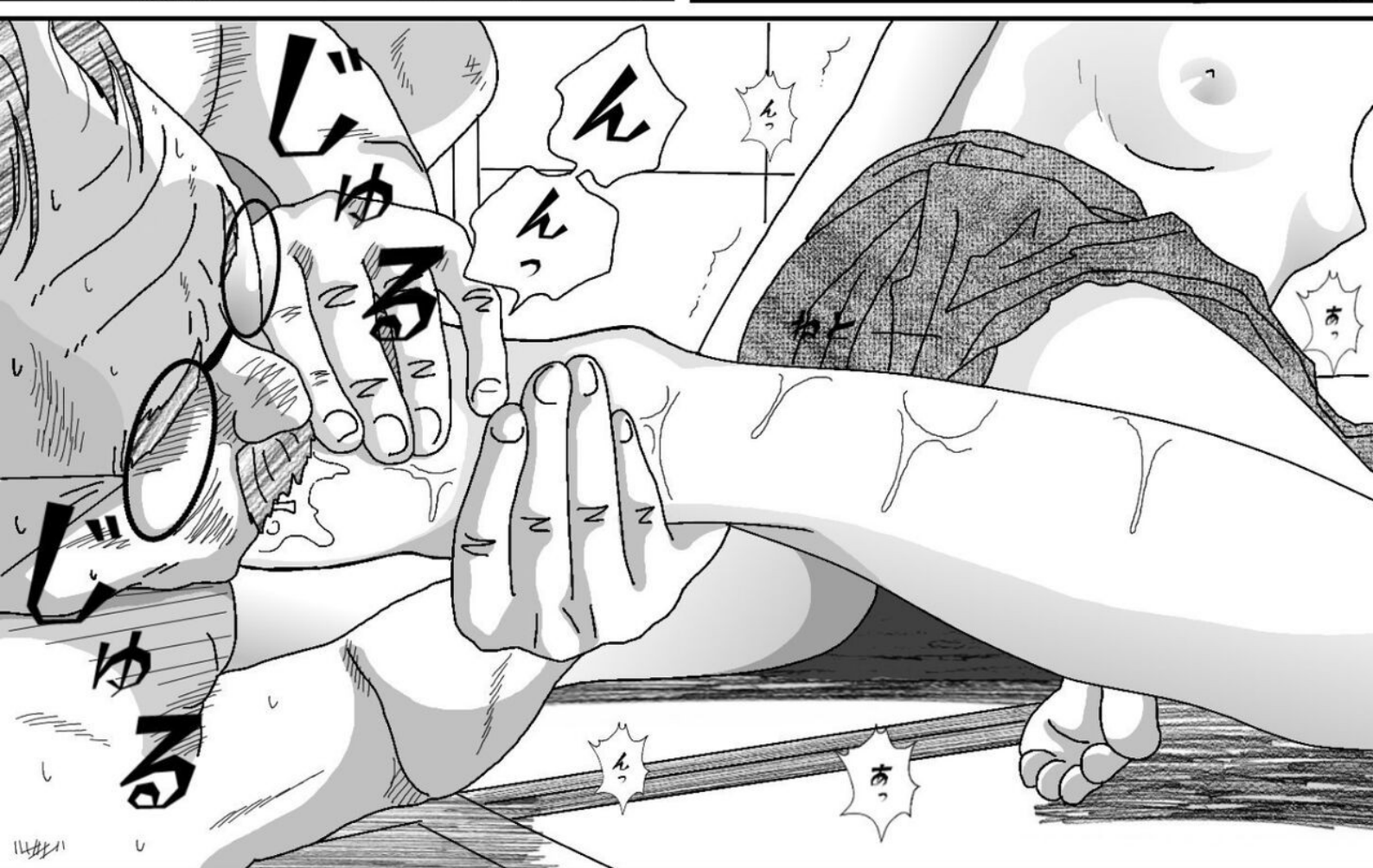
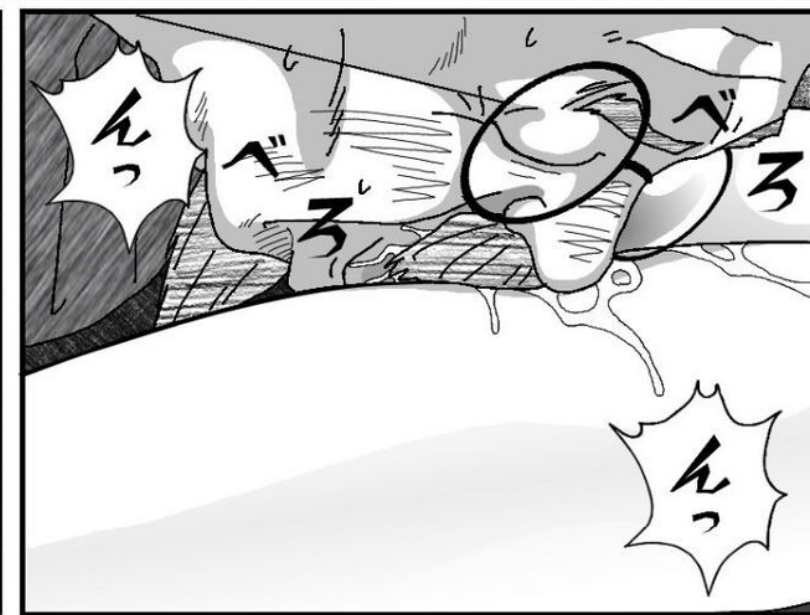
はあ

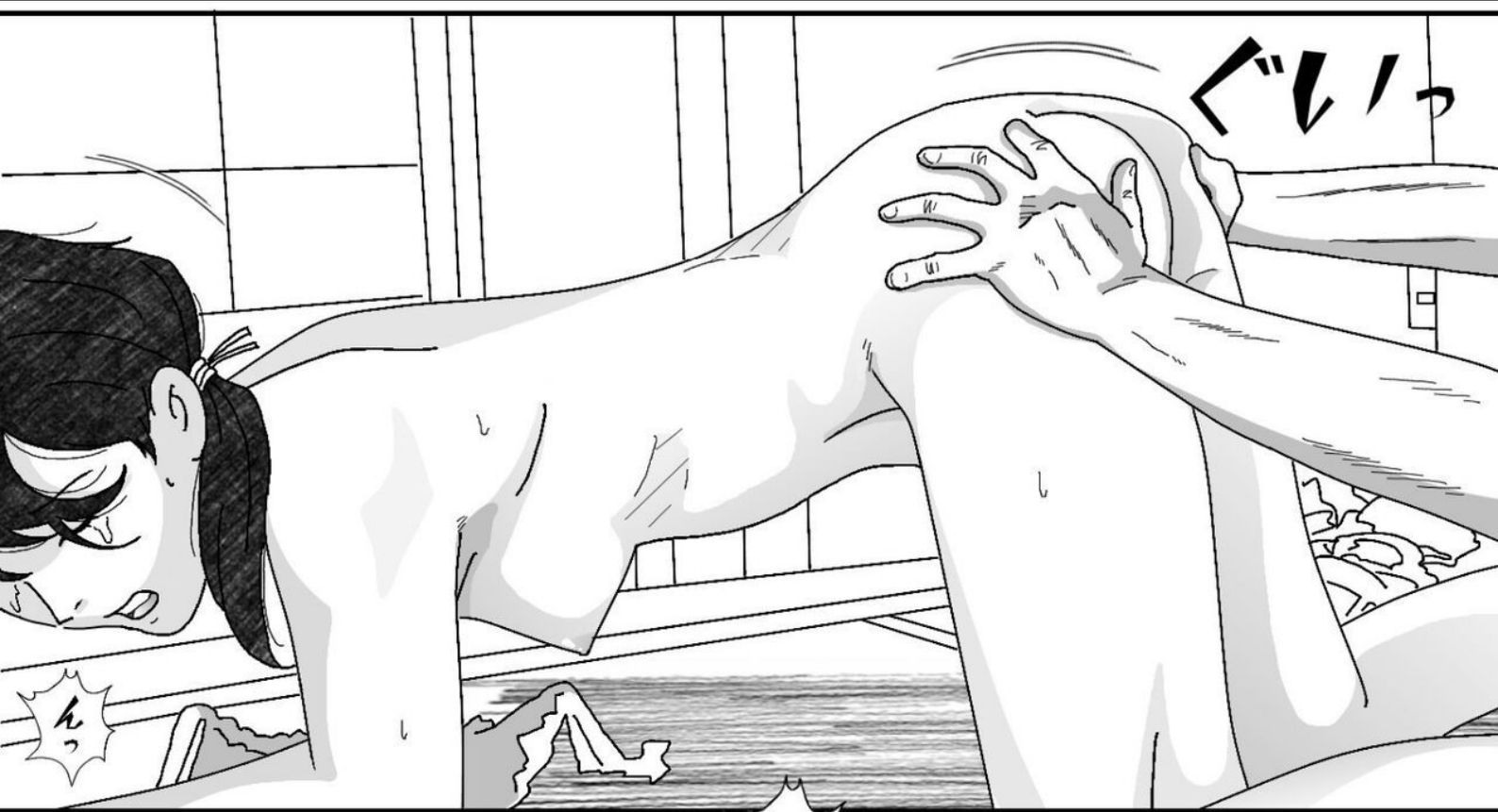
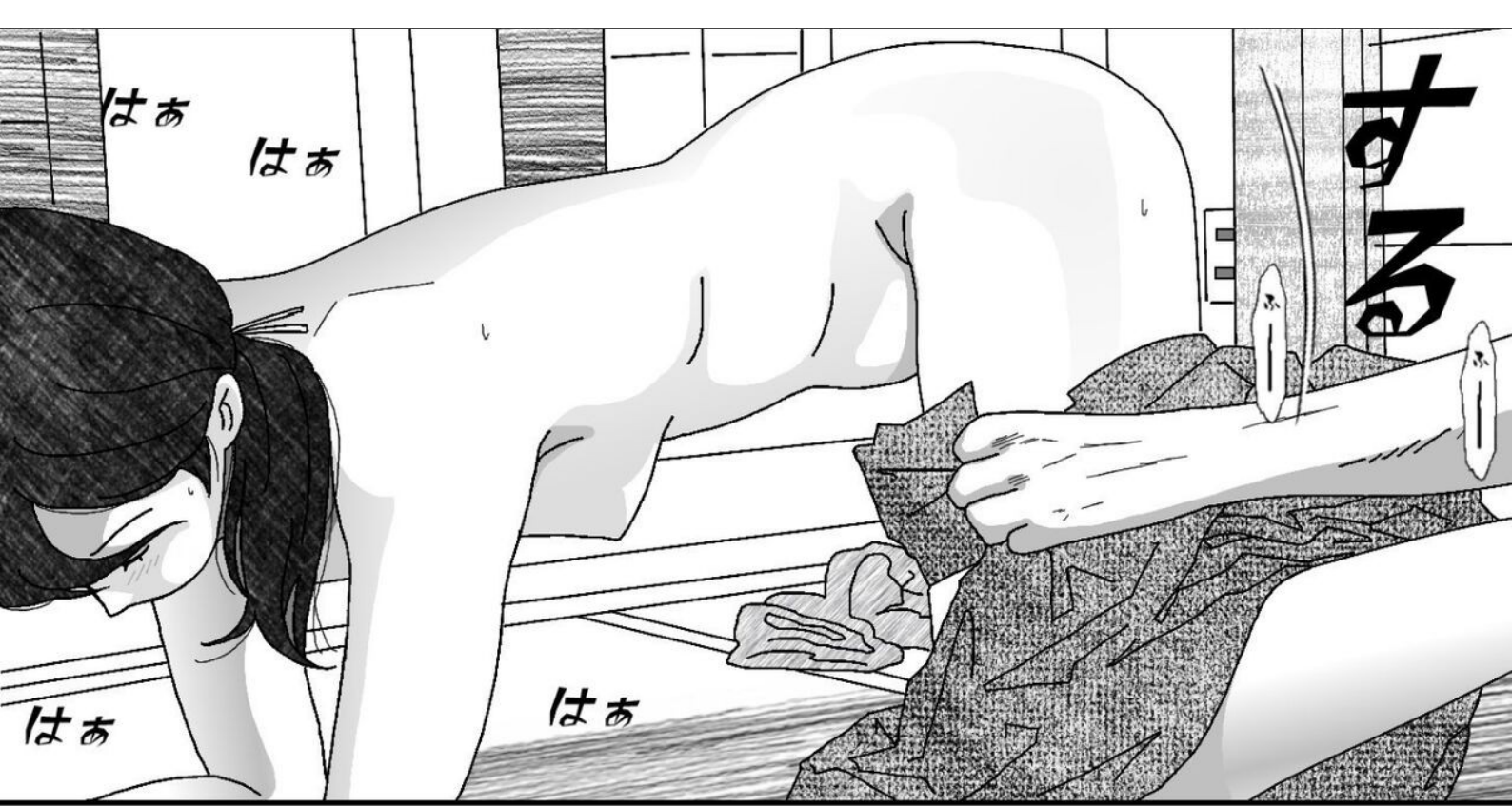
す

あ











美味しい!
麗子さんの
マロロ!

あー

じゅる

じゅる

じゅる

あ

ん



わしのも気持ちよく
しておくれ……!!

ずい

包茎……

はあ

はあ



さあっ!
麗子さん!
ほれっ!



お義父さん
ちよっと臭過ぎ
ます……。



臭っさらい……

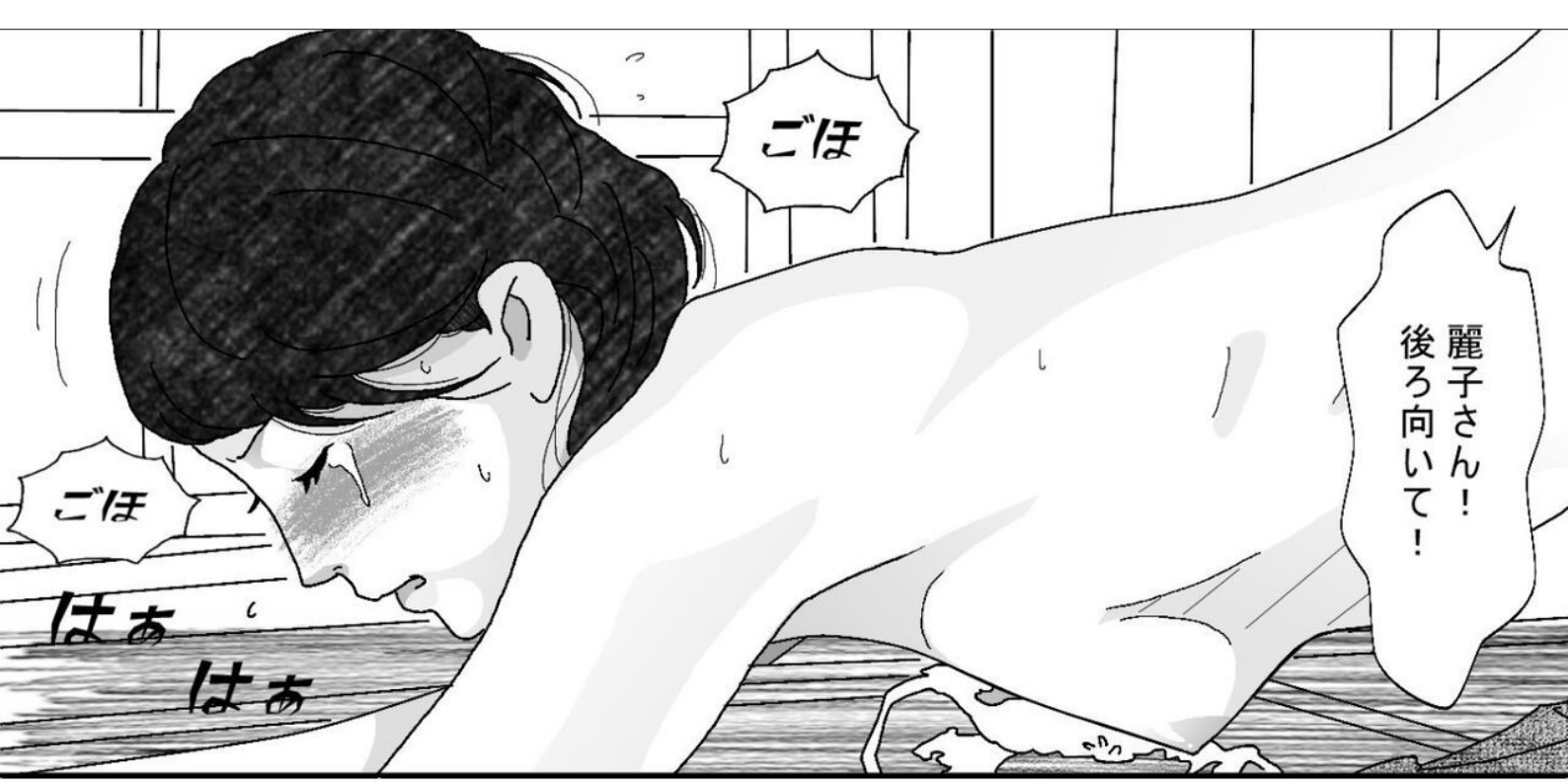


：白くて
臭いのいっぱい
付いてる……。

ほら！舌を
使って綺麗に
してっ！

何じゃ、わしが
風呂嫌いなのを
知ってるだろ。





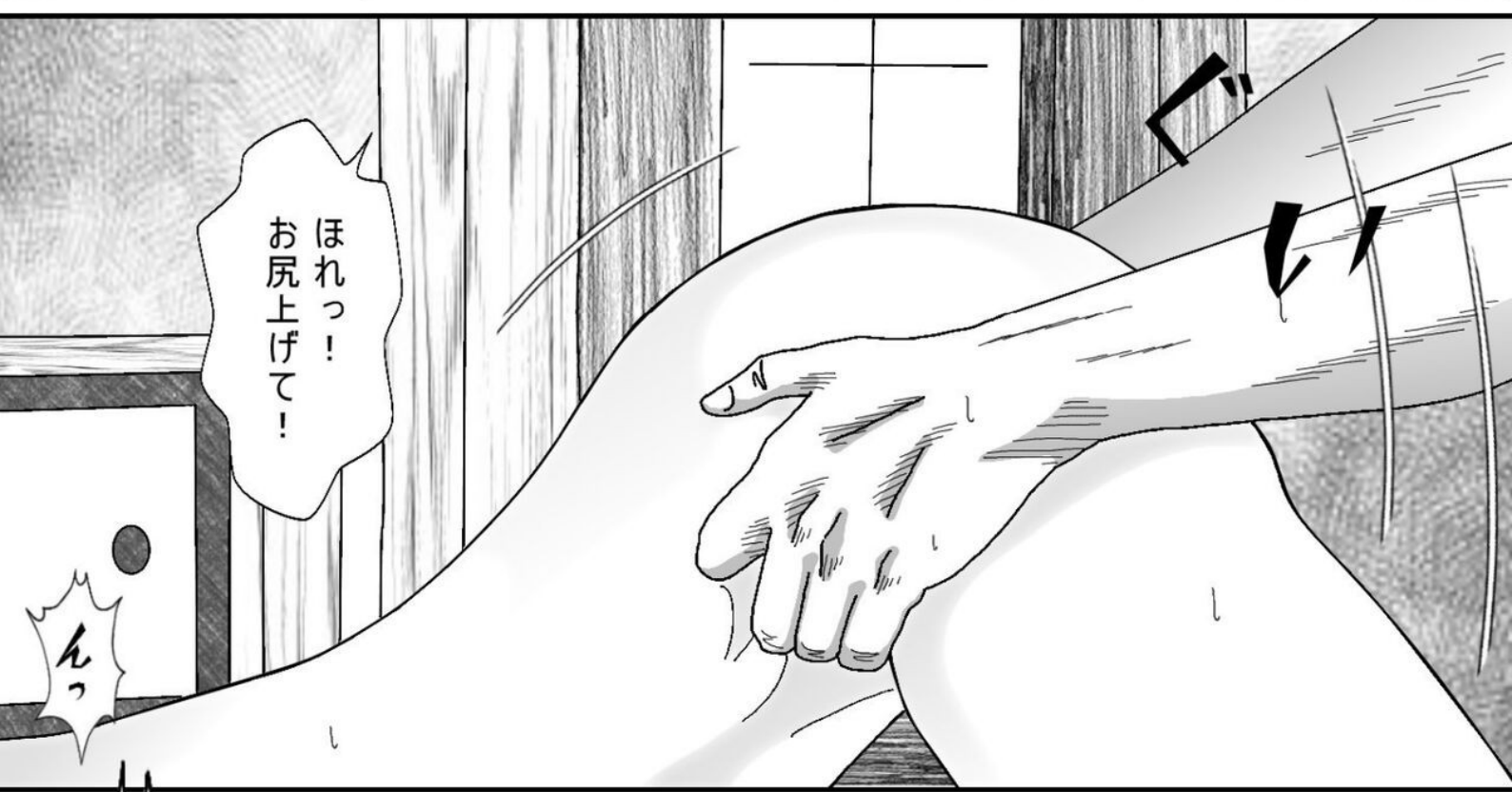
ごほ

麗子さん!
後ろ向いて!

ごほ

はあ

はあ



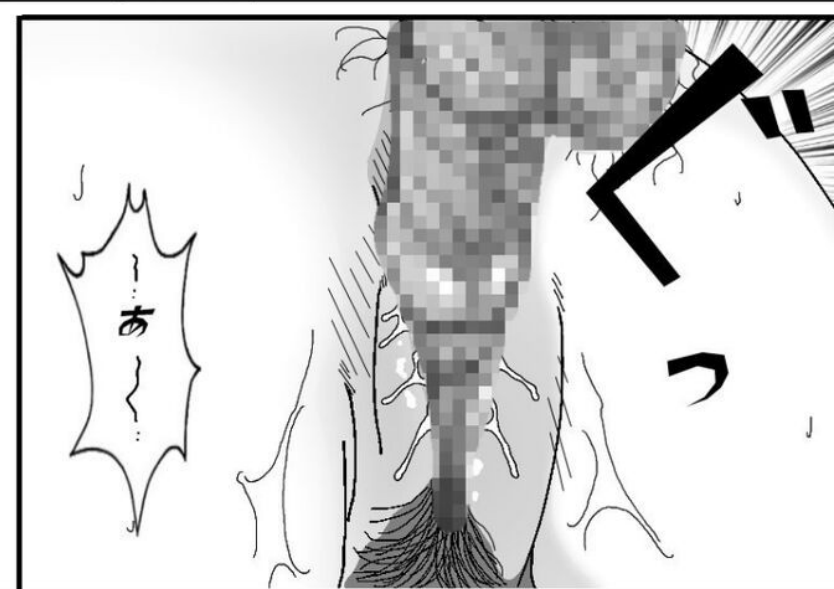
ほれっ!
お尻上げて!

んっ



んあっ

ずぶ



あ



どうじゃ？
麗子さん！



きつ気持ちいい
...イクっ!!



気持ちいい
じゃろ！
麗子さん！



いくっ!!

